BANKER'S ふるさと納税

～企業版ふるさと納税～

・近畿地方
・中国地方
・四国地方
・九州地方

まちづくりの応援団として、未来をカタチにする。

地域再生計画

おまとめBook

RCG
Regional Company Group

企業版ふるさと納税とは？

企業版ふるさと納税とは、国が認定した地方公共団体の地方創生事業に対し企業が寄付を行った場合に、
その寄付について法人関係税を税額控除する仕組みです。

POINT 1

寄付金額は、
全額損金参入 が可能です。

さらに

POINT 2

法人関係税の
税額控除（寄付額の最大6割）
を受けられます。

寄付をすることで法人関係税の税額控除につながり、
SDGsを通じた企業価値の向上・地方創生に貢献もできる仕組みです！

寄付の流れ

1 ご相談・お申込み

企業様→銀行またはRCG

対象事業や寄付金額が
決定しましたら、
各自治体の寄附申出書を
ご提出頂きます。

2 ご寄附

企業様→自治体

自治体から払込票が
届きますので、
寄附の払い込みを
お願い致します。

3 受領書の交付

自治体→企業様

着金確認後、
自治体から受領書を
発行・送付いたします。

4 税申告のお手続き

企業様→税務署

受領書を使用して、
税申告のお手続きをお願いいたします。
（顧問税理士がいらっしゃる企業様は、
税理士へお渡しください）

BANKER'S ふるさと納税
連携自治体

（2025.6.16現在）

1	京都府	福知山市	21	鳥取県	岩美町	41	徳島県	海陽町	61	沖縄県	沖縄市
2	京都府	宮津市	22	鳥取県	南部町	42	徳島県	美馬市	62	沖縄県	うるま市
3	京都府	京丹後市	23	鳥取県	米子市	43	愛媛県	西予市	63	沖縄県	伊平屋村
4	大阪府	河内長野市	24	鳥取県	智頭町	44	愛媛県	鬼北町	64	沖縄県	豊見城市
5	大阪府	東大阪市	25	島根県	浜田市	45	愛媛県	宇和島市	65	沖縄県	恩納村
6	大阪府	門真市	26	島根県	松江市	46	高知県	高知市	66	沖縄県	浦添市
7	大阪府	羽曳野市	27	島根県	益田市	47	福岡県	宗像市	67	沖縄県	北大東村
8	大阪府	豊中市	28	島根県	安来市	48	佐賀県	有田町			
9	大阪府	松原市	29	島根県	出雲市	49	佐賀県	吉野ヶ里町			
10	大阪府	箕面市	30	島根県	大田市	50	長崎県	壱岐市			
11	大阪府	守口市	31	岡山県	備前市	51	長崎県	時津町			
12	大阪府	大東市	32	岡山県	井原市	52	大分県	日出町			
13	和歌山県	和歌山県庁	33	山口県	岩国市	53	鹿児島県	和泊町			
14	和歌山県	海南市	34	徳島県	吉野川市	54	鹿児島県	伊仙町			
15	和歌山県	串本町	35	徳島県	小松島市	55	鹿児島県	鹿児島市			
16	兵庫県	西脇市	36	徳島県	徳島市	56	鹿児島県	志布志市			
17	兵庫県	豊岡市	37	徳島県	佐那河内村	57	鹿児島県	いちき串木野市			
18	鳥取県	若桜町	38	徳島県	石井町	58	鹿児島県	八重瀬町			
19	鳥取県	八頭町	39	徳島県	牟岐町	59	沖縄県	那覇市			
20	鳥取県	北栄町	40	徳島県	鳴門市	60	沖縄県	与那原町			

ふ く ち や ま し

福 知 山 市

明智光秀が築いた城下町　福知山

福知山市は明智光秀が築いた、自然と歴史のあるまちです。また、最近では「鬼のまち」としても注目されているまちです。

明智光秀が築いたといわれる福知山城はその景観の美しさから「日本の歴史公園100選」や「京都府景観資産」にも登録されています。また、鬼のまちといわれる由縁は鬼伝説の本場、大江山を有することからです。この鬼伝説は酒呑童子伝説であり、鬼が主役の博物館「日本の鬼の交流博物館」もあります。

またもみじ寺やあじさい寺など花の名前が付いた愛称がつくお寺があるなど、自然にもあふれております。

出所：福知山市HP、観光サイト

資料提供
京都府　福知山市
〒620-8501
京都府福知山市字内記13番地の1
TEL：0773-22-6111

1　稼ぐ地域をつくり、安心して働けるようにする

循環型森林整備のイメージ

■循環型森林整備モデル事業

・夜久野地域でモデル的に循環型森林整備を実施。

・市内の森林整備資源情報やモデル的に実施した内容を踏まえ、今後の森林整備の方向性を示す「（仮称）福知山市森林ビジョン」を策定。

2　都市部や地域とのつながりを築き、福知山市への新しいひとの流れをつくる

＃福知山城チャレンジ
「スペクタクル新作能光秀×甲冑隊」

■福知山城天守閣管理運営事業

大河ドラマの主人公となった明智光秀が築城した本市の歴史的シンボル「福知山城」の活用。

■丹波漆等伝統文化活用・支援事業

本市の伝統文化である「丹波漆」、「丹後和紙」、「由良川藍」の技術の保存と継承を支援。

3　結婚・出産・子育ての希望をかなえる

■子育て応援まちづくり事業

三段池公園内カフェ整備、児童科学館キッズスペース改修等子育て世代が集い、交流できる拠点整備。

■市立学校教育内容充実「響プランFまなび」事業

子どもたちの学力向上を目指すとともに長所や特性をさらに伸ばし、この社会をたくましく生きていく力を育成。

4　人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

アクティブシティイメージ

■障害者雇用 1000 人のまちプロジェクト事業

障害のある人が、就労の機会を得て自分の仕事に誇りを持ち自立した生活を送れるよう、雇用促進、定着支援を実施。

■アクティブシティ推進事業

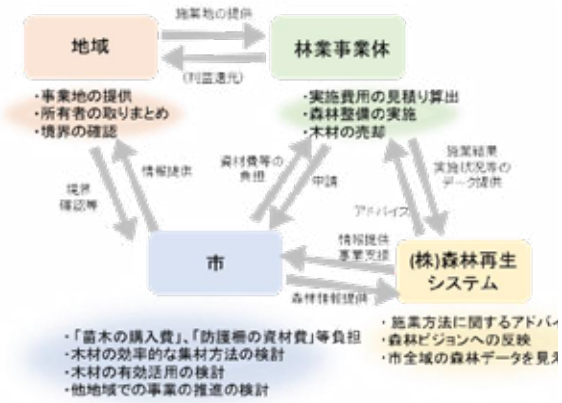
アクティブでウェルビーイング（社会的・身体的・精神的な充足感が満ちている）なまちを健康アプリなどの導入により実現。

循環型森林整備モデル事業（今年度新規事業）

〇夜久野地域において、地域と協働し、モデル的に循環型森林整備を実施

➢夜久野地域において、モデル的に循環型の森林整備を実施します。

➢循環型森林整備のアドバイスは、株式会社森林再生システム（東京都）が行い、実際に施業をする事業者の募集をまもなく開始し、9 月ごろからの施業開始を予定しています。



〇市全域の森林整備の方向性を示すため、ビジョンを作成

➢モデル実施の結果と森林データを活用し、福知山市の森林の状況に応じた市全域に循環型森林整備を波及させるための 「（仮称）福知山市森林ビジョン」を作成します。

➢作成段階で、市民の皆様と意見交換をする場を設ける予定ですので、御協力をよろしくお願いします。

林業の担い手支援事業（今年度拡充事業）

〇自伐型林業者に関するフォーラムを開催

➢令和 4 年 9 月 3 日（土）に自伐型林業に関するフォーラムを開催します。

➢NPO法人自伐型林業推進協会に委託し、「自伐型林業とは」から「実際に自伐型林業者として活躍されている方の話」などの講演を実施します。

➢「林業で生活したいけどどうすれば、、」「木を切りたいけど、何から始めれば、、」と想いをお持ちの方々、ぜひご参加ください。（詳細は後日案内します）

➢秋には、自伐型林業に関する研修も予定しています。（人数制限あり）

〇市内の林業事業体においてインターンをする学生に支援

➢本市の林業事業体において、インターン等の研修で林業を学ぶ学生に対し、宿泊費又は交通費の補助を行う制度を 6 月に開始しました。

➢福知山市の林業事業体の活動を体験していただき、就職につなげていただけるよう支援します。

森林経営管理事業（継続事業）

〇レーザ測量結果を活用し、森林の境界明確化を実施

➢森林管理が遅れている理由の1つに「境界が不明瞭」であることが挙げられ、大きな課題となっています。

➢昨年度、森林航空レーザ測量を実施した「河守・河西地区」（森林面積：約 1,358ha）において、データを活用し、森林境界明確化を実施します。

➢レーザ測量データを活用することで、机上で、地形や樹種、樹齢等を確認できるメリットがあります。

➢今年度は、新たに 7 地区（測量面積 7,220ha）のレーザ測量を実施し、データを取得します。

これらの事業は、令和元年度から譲与が開始された森林環境譲与税を活用して取り組んでいきます。

（参考）本市の譲与額

令和元年度 33,069 千円, 令和2年度 70,272 千円, 令和3年度 73,017 千円, 令和4年度（予定）94,626 千円

みやづし
宮津市

自然と文化の架け橋
海園都市みやづ

「海の京都」と呼ばれる、京都府北部にある海に面した町で、日本三景「天橋立」で知られています。歴史は古く、約2200 年前の天橋立の形成とともに人が住み始め、奈良時代には、政治・経済・文化の中心として栄えました。

四季折々の美しい景色と豊かな海産物・農産物はもちろん、古来より人々の崇敬を受ける寺社、かつての城下町や北前 船の寄港地を偲ばせる町並みは、国内外問わず多くの人を惹きつけています。

出所：宮津市HP、観光サイト

資料提供
京都府　宮津市
〒626-8501
京都府宮津市字柳縄手345-1
TEL：0772-22-2121

いま、私たちがしたいことはコレ！

国内サポーター：
地域元気宣言の
京都北都信用金庫

01 しごとをつくり、安心して働けるようにする

豊かな地域資源を活かし、あらゆる産業が連携しながら地域に活力を生むことで、所得が向上し働きやすく暮らしやすい、地域経済力が高まるまちづくりを進めます。

- 住む人も訪れる人も満足度の高い観光のまちづくり
- にぎわいと活力にあふれ全ての世代が誇りを持って働けるまちづくり
- 農林水産業が魅力あるビジネスとして営み続けられるまちづくり

02 みやづを担う次代の人づくり

宮津の次代を担う若者が宮津に住みたい、住み続けたいと思えるよう、ふるさとに愛着を持つ次世代や地域で活躍する「人」を育成するとともに、その人々が活躍できるまちづくりを進めます。

- ふるさとに愛着を持つ次世代の育成
- 地域で活躍する人材の育成

03 みやづへの人の流れをつくる

大学や地域等との連携などによる関係人口の創出やシティプロモーションの促進等により宮津への人の流れをつくるとともに、移住希望者への対応を強化することにより本市への転入を増加させます。

- 関係人口の創出
- ＵＩＪターン受入促進体制の充実強化
- シティプロモーションの促進

04 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若者層の転出によって構造的に子どもを産み育てる層が少ないことが少子化の大きな要因であることから、若い世代が結婚から子育てにいたる希望を実現できる環境づくりを進めます。

- 出産・子育てしやすいまちづくり
- 学校教育環境の充実

05 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

市民一人ひとりが安心して心豊かに暮らしていけるよう、地域交通の充実や地域コミュニティの活性化、市民協働、地域で活躍する団体の活性化等を進めます。京都府、近隣市町との連携により、地域全体の経済成長、高次の都市機能、生活関連機能の確保・充実等が図られるよう取り組みます。

- 持続可能な地域づくり
- 京都府北部地域連携都市圏の形成と多様な主体との連携促進

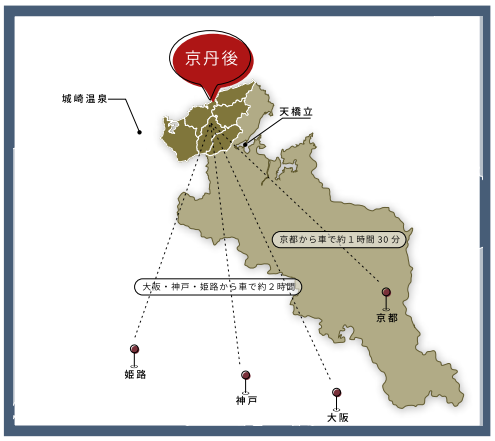
宮津市まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：宮津市HP

きょうたんごし
京丹後市

“わ”ごころ輝くまち　京丹後

「海の京都」と呼ばれるエリアの最北端に位置する京丹後市。西は山陰海岸国立公園、東は丹後天橋立大江山国定公園に指定された風光明媚な景観は古くから人々に愛されてきました。

ユネスコ世界ジオパークに認定された山陰海岸ジオパークの海岸線は絶景で、丹後半島一周のドライブやサイクリングが人気。気候風土に恵まれ、四季折々に魚介類や野菜・果物が豊富にとれ、土地に根付いた郷土食は素朴でありながら、滋味にあふれています。



出所：京丹後市HP、観光サイト

資料提供
京都府　京丹後市
〒627-8567
京都府京丹後市峰山町杉谷889
TEL：0772-69-0001

01 「はぐくむ」ーまちの将来を担う人材育成のまちづくりー事業

・京丹後市未来創生人材育成プロジェクト

京丹後市は、大学がないため高校卒業後の若者の9割以上が市外へ流出。Uターンも低く人口減少の要因です。そこで市は、若者の地元定着・Uターン促進のため、2020年10月に「京丹後市未来チャレンジ交流センターroots」を設置。高校生や若者が地域や大学生と交流し、まちづくりに挑戦する拠点を設け、地域を知る機会や課題解決へのアプローチを支援することで、若者と地域の繋がりを深め、地元への愛着を育むことを目指します。

【主な事業】
- 京丹後市未来チャレンジ交流センターrootsの運営
- 高校生や若者が地域と繋がるためのコーディネート　など

・京たんご梨の産地を守るプロジェクト

京丹後市の果樹、特に「京たんご梨」は全国的に高評価で海外人気も高い一方、生産者の高齢化による離農で激減（2020年83名、平均年齢70歳超）し、産地維持が危機的状況です。離農時の成木を伐採してしまうため、地域にとっても大きな損失です。そこで、京都府内随一の果樹産地を守るため、新規就農者の負担を軽減するための支援制度を創設し、後継者育成、梨園地維持、生産規模拡大を目指します。

【主な事業】
- 梨園地の拡大（又は高齢農家からの継承）を行う梨農家への補助支援　など

02 「ささえる」ー安全・安心で誰ひとり置き去りにしない支え合い・助け合いのまちづくりー事業

・百歳長寿が全国平均の3倍！長寿の秘密に迫るプロジェクト

京丹後市は、男性長寿世界一（ギネス認定）の木村次郎右衛門さんが暮らした「長寿のまち」。人口あたりの100歳以上比率が全国平均の3倍超です。そこで2017年から京都府立医科大学と連携し、65歳以上の方を対象に、生活習慣など2,000項目超を追跡調査する「京丹後長寿コホート研究」を実施。血管年齢の若さや腸内フローラの特徴など、長寿の秘訣が明らかになりつつあり、将来の医療への貢献が期待されています。

【主な事業】
- 京都府立医科大学とのコホート研究

・多様な輝きを世界へ紡ぐ多文化共生推進プロジェクト

京丹後市は、約500人の在住外国人に加え、米軍関係者約160人が暮らしているなど、外国人も安心して暮らせる地域づくりが求められています。そこで市は、京都府内唯一の「多文化共生推進プラン」に基づき、国際交流協会や各種団体と連携し、「安心して生活できるまち」「言葉の壁を乗り越えるまち」「フレンドシップを育むまち」「国際色豊かでにぎわうまち」を目指し、国籍や年齢を超えた誰もが安心して社会参画できる地域づくりを進めています。

【主な事業】
- 多文化共生推進のための国際交流協会への支援
- 外国人相談窓口の設置　など

京丹後市まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：京丹後市HP

03 「かせぐ」ー多彩な資源を活かして地域経済を強靭化 かせぐ地方創生のまちづくりー事業

・新シルク産業創造事業プロジェクト

京丹後市は、湿度が高く絹織物に適した地域であり、「丹後ちりめん」の国内最大の産地です。300年以上の歴史を持つ伝統産業ですが、生産量は最盛期の3%にまで縮小し、原料の生糸は海外依存。国内の養蚕業も衰退しています。そこで市は、絹産業を未来へ継承するため、「絹」を核とした新産業創出を目指し、川上にあたる養蚕業とシルクの機能性に着目。織物業に加え、ヘルスケア・メディカル産業など幅広い分野への展開を図り、地域経済の活性化を目指します。

【主な事業】
- 原材料の安定的な確保のため、無菌周年養蚕の手法を活用した京丹後産の養蚕体制の整備
- シルクの素材としての機能性に着目した、多様な用途への展開と製品開発　など

・日本一の砂浜海岸づくりプロジェクト

京丹後市は、ユネスコから「山陰海岸ジオパーク」に認定された美しい海岸線を持つ一方、漂着ごみが深刻化（過去3年で450t）。そこで「日本一の砂浜海岸づくり実行推進会議」を設立し、市民・観光客と連携した清掃活動や啓発を通じて、持続可能な「SDGs観光」を推進し、美しい海岸を次世代へ繋ぎ、賑わいを創出し、日本一の砂浜海岸づくりを目指します。

【主な事業】
- 一斉クリーン作戦などの砂浜海岸の保全への支援
- 未来earthクリーンへの支援　など

04 「つなぐ」ーまちの宝を未来につなぐ持続可能なまちづくりー事業

・地域の「夢」を応援するプロジェクト

京丹後市にある225の集落では、限界集落が10年で3倍に増加。人口減少と高齢化で地域機能の低下が深刻です。地域行事や里山の維持が危ぶまれる中、地域が主体的に課題解決に取り組むための自主財源確保が急務です。そこで、全国・企業の皆様からの寄附を募り、地域活動を支援することで、地域自らが主役となり持続可能な地域づくりを目指します。

【主な事業】
- 新たな地域コミュニティ組織への補助

・京丹後の煌めく魅力「文化財」を未来へつなごうプロジェクト

京丹後市は、丹後半島の歴史文化を未来へ繋ぐため、「京丹後市文化財保存活用地域計画」を策定（令和4年度文化庁認定）。11のストーリーに基づき文化財の保存・活用を推進。特に令和9年3月に迎える丹後震災100年に向けた丹後震災記念館の油彩画補修や、日本海側最大の網野銚子山古墳の環境整備を実施。指定文化財の修理・保全事業等を通じ、文化財の継承と活用を積極的に進めています。

【主な事業】
- 丹後震災記念館の絵画修繕
- 網野銚子山古墳のソフト事業の展開　など

京丹後市まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：京丹後市HP

かわちながのし
河内長野市

みんなで創ろう 潤いめぐる
緑と文化の輝くまち 河内長野

河内長野市は大阪府内で3番目に広い面積を有し、市域の大部分は砂岩地帯、肥沃な土壌と内陸性の湿潤温暖な気 候があいまって、稲や野菜、果樹の栽培に適しています。その環境を活かして栽培したすだれ、しいたけ、もも、みかん、天野酒等が特産品です。

また、つまようじの取り扱い量が国内において大きな シェアを誇っており、市内にはつまようじの製造工程、世界50か国以上のつまようじを展示している、つまようじ資料館があります。

また、盆踊りが盛んな河内長野市では季節になると聞こえてくる「河内音頭」、河内長野独自の「長野音頭」といった文化があります。

出所：河内長野市HP、観光サイト

資料提供
大阪府　河内長野市
〒586-8501
大阪府河内長野市原町一丁目1番1号
TEL：0721-53-1111
TEL：0721-55-1435

大阪府河内長野市　サッカーチームと連携したまちの魅力向上事業

背景

河内長野市南花台地区は、ニュータウン開発から４０年が経過し、当時入居した世代は７０歳を超えるなど、少子高齢化・人口減少が進んでいます。

課題

「まちの担い手の減少」「地域コミュニティの縮小」「公共交通や商店等の減少」など、全国の開発団地における共通の課題をもっています。

目的

「住み慣れた場所で生きがいをもって、多世代が交流しながら暮らし続けることができるまちづくり」を目標に**全国の開発団地の再生モデル**となることを目指します。

これまでの取組

生活応援プロジェクト

買い物や庭の草引きなど高齢化に伴う日常の困りごとを住民同士の助け合いで解決する取組み。

南花台モビリティ「クルクル」

生活応援から発展した住民主体の移動支援。
運行の負担軽減や安全性向上に向けて、開発団地では
全国初となる住民主体の自動運転による運行を行っています。

事業内容

開発団地の再生モデルに取り組む南花台で、ＵＲ団地集約跡地に**なでしこリーグ**所属のサッカーチームの**ホームスタジアム**を建設します。

得られる成果等

ニュータウンの中心部にサッカースタジアムを建設するのは、全国でもあまり例がありません。
しかし、スタジアムの活用はもちろん、サッカーチームの本拠地となることで、チームを応援することによる多世代の交流、選手がまちづくりに参画することによる新たな地域活動の創出など様々な効果による団地再生を図ります。
さらに、女子選手の活躍から、すべての女性が輝く社会の実現、ジェンダー平等の実現へと繋げたいと考えています。

寄附をするメリット等

企業に求めるもの等

・企業版ふるさと納税等を活用した寄附のご支援
・団地再生モデル事業のパートナーとしての参画
・すべての女性が輝く社会づくりへの支援・協力

企業のメリット

1．社会貢献（SDGsの達成など企業としてのPR）
2．市との新たなパートナーシップの構築
3．スタジアムや市ＨＰでの企業様のご紹介

南花台地区は昨年、内閣府のスーパーシティ型特区構想に応募するなど、様々なチャレンジングな取組みを進めています。

ひがしおおさかし

東大阪市

中核市／ラグビーのまち
夢と活力あふれる元気都市・東大阪

東大阪市は、製造業の事業所数が国内で5番目に多く、事業者密度では国内1位とモノづくりが盛んなまちです。

また、東大阪市は日本で初めて作られたラグビー専用のグラウンド「東大阪市花園ラグビー場」があることからラグビーのまちでもあります。ここは、全国高等学校ラグビーフットボール大会の会場としても有名であり、国内ラグビー文化の聖地と言われています。

お百度参りで有名な石切劔箭神社があり、周辺には多くのグルメ、お土産・占いのお店が立ち並ぶ石切参道商店街、その先には、ハイキングやパワースポット巡りなど様々な楽しみ方ができる生駒山と観光にも力を入れているまちです。

出所：東大阪市HP、観光サイト

資料提供
大阪府　東大阪市
〒577-8521
大阪府東大阪市荒本北一丁目1番1号
TEL：06-4309-3000

いま、私たちがしたいことはコレ！

国内サポーター：
徳島大正銀行

～東大阪から大阪・関西万博へ～

HANAZONO EXPO
HIGASHIOSAKA

イベント終了後、報道関係、公共団体、民間企業などから問い合わせ多数
自治体としての万博の取組みが注目される

↓

2025年に向けて
2023年、2024年も
HANAZONO EXPOを
開催予定

関係機関の機運醸成、東大阪市のブランド力向上

↓

大阪・関西万博の盛り上げは東大阪市から！

HANAZONO EXPOと関わることによるシナジー効果

- HANAZONOEXPOを実証のフィールドとして活用
- 産学公共創のもと万博につながる事業の実施
- 東大阪市の企業や大学とのマッチング

かどまし
門真市

「ちょうどいい」まち　かどま

門真市は、大阪府の北東部に位置し、周囲は大阪市・守口市・寝屋川市・大東市と隣接している、人口約12万人のまちです。

東西が約4.9km、面積が約12.3㎢と、市域が比較的小さくまとまり、大きな起伏がなく、平坦な土地であることが特徴です。

このため、高齢者や障がいのある人などにとっても暮らしやすく、市内や本市の周辺に行くときも、車を利用せずに徒歩や自転車、公共交通機関を利用することで、便利で快適に暮らすことができます。

出所：門真市HP、シティプロモーションサイト

資料提供
大阪府　門真市
〒571-8585
大阪府門真市中町1-1
TEL：06-6902-1231

第2期人情味あふれる！笑いのたえないまち実現事業

1.出産・子育てがしやすく、子どもがたくましく育つまちの実現

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援により、安心して出産・子育てができる環境づくりや、少子化に伴う児童の減少による教育環境の変化に対応し、門真の将来を担う子どもたちが多様な経験を積み、個性や能力を開花させながら、コミュニケーション能力と、グローバルな視点を持って、たくましく育つ環境をつくります。

【具体的な事業例】

・保育士等確保事業（子育て分野）
・教育のICT環境整備事業（教育分野）

2.地域の中で活き活きと、健康で幸せに暮らせるまちの実現

地域福祉を支える担い手の確保・育成や、交流や見守り活動、支援の場など、様々なネットワークの構築を推進し、地域の中で支え合える環境づくりや、市民の健康づくりや地域で活躍できる機会の充実を図り、子どもや若い世代、高齢者、障がい者など、みんなが健康で幸せに暮らせる環境をつくります。

【具体的な事業例】

・スマートシティ推進事業（行政管理分野）
・地域コミュニティ活性化事業（地域振興分野）

3.安全・安心で快適な住まいと環境のあるまちの実現

老朽化する公共施設等をはじめとするまちの基盤の再整備や密集市街地解消を推進し、充実した都市機能と良好で快適な住まいと環境づくり、また、増加する空き家に係る対策や防犯体制の強化、地震等の自然災害への危機管理体制の強化を図り、犯罪や災害に強い安全・安心な環境をつくります。

【具体的な事業例】

・密集市街地整備事業（まちづくり分野）
・防犯対策事業（危機管理分野）

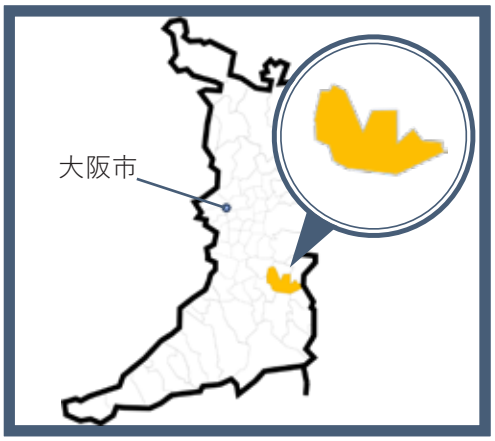
4.誰もが活躍できる賑わいと活気のあるまちの実現

産業の振興・雇用創出を図り、働く場が身近にありワークライフバランスを実現できる職住近接の環境づくりや、高齢化が進む中、市内の文化資源を生かしつつ文化芸術の振興・推進を図り、地域での学びの場や人が交流する場を創出し、人の温かさや利便性の高い交通網など本市の強みを最大限に活かすことで、まちの活力と賑わいを創出します。

【具体的な事業例】

・商業振興補助事業（産業振興分野）
・総合体育館運営管理事業（地域教育振興分野）

はびきの し
羽 曳 野 市



ワインと世界遺産のまち、はびきの

『古事記』・『日本書紀』に登場する古代の英雄、ヤマトタケルノミコト。

「羽曳野」という名前は、没後白鳥となったヤマトタケルがこの地に舞い降り、天高く飛びさった様子が「羽を曳くが如く」だと伝わる、「白鳥伝説」に由来しています。

羽曳野市には、白鳥伝説とゆかりの深い白鳥陵古墳、我が国最大級の応神天皇陵古墳をはじめ、大小合わせて多くの古墳があり、堺市・藤井寺市と合わせて49基が「百舌鳥・古市古墳群」として、令和初の世界遺産に登録されました。

肥沃な大地を活かした果物造りも有名で、特にぶどうを元に作られる「大阪ワイン」は特産品。ここでしか味わえない逸品です。

出所：羽曳野市移住情報サイト、大阪はびきの観光局HP、羽曳野市教育委員会

資料提供
大阪府　羽曳野市
〒583-8585
大阪府羽曳野市誉田4-1-1
TEL：072-958-1111

羽曳野市

いま、私たちがしたいことはコレ!

戦略の柱	重点項目	横断的視点
戦略の柱１ 羽曳野で結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	① 結婚・妊娠・出産に対する支援 ② 子育てに対する支援 ③ 子どもの学びに対する支援 ④ 社会全体で子どもを支えるための環境整備	◆多様な人材の活躍を推進する ◆新しい時代の流れを力にする
戦略の柱２ 羽曳野に新しい人の流れと雇用を創り出す	① 歴史文化や地域特有の資産を活用した観光の振興 ② 移住・定住の促進 ③ 地域の宝の発掘･活用による地域産業の再生 ④ 地域経済の活性化を担う地元企業や店舗等への支援 ⑤ 地域農業の活性化	
戦略の柱３ 羽曳野でいきいきと安心して暮らせる環境を整える	① 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」・日本遺産「竹内街道」の保存・活用 ② 交流拠点の形成 ③ 安全で安心して住み続けられる持続可能なまちの実現に向けた環境整備 ④ 民間事業者や大学等の多様な主体との連携 ⑤ シティプロモーションの推進 ⑥ DX の推進	

誰もが便利で快適に暮らせる社会をめざし、デジタルの力を活用

羽曳野市まち･ひと･しごと創生推進計画
資料提供:大阪府　羽曳野市

とよなかし

豊中市

と、ともに、とよなか

豊中市は、大阪北部（北摂）に位置し、大阪都市圏の中でも、早くから郊外住宅地として発展している、人口約40万人が暮らすベッドタウンです。緑あふれる大きな公園、豊かな心を育む文化施設、「子育てしやすさNO.1」を掲げる子育てしやすい環境、多彩な市民活動。豊中では人が出会い、語らい、音楽を奏でるようにひびきあい、たくさんの笑顔が生まれています。人と人とのふれあいやつながりは、いつの時代も豊中の魅力の源泉です。たくさんの仲間とともに、一人ひとりのあなたとともに、これからも「暮らしの舞台」として選ばれるまちをめざします。

また、約13,000の事業所がある産業のまちとしても有名です。他にも、空港や鉄道、主要幹線道路など、あらゆる交通網が整備されており、豊中から全国に向けて抜群の交通アクセス性を持っており便利で快適に暮らすことができます。

出所：豊中市HP、観光サイト

資料提供
大阪府　豊中市
〒561-8501
大阪府豊中市中桜塚3丁目1番1号
TEL：06-6858-5050
FAX：06-6858-8686

子育てしやすさNO.1へ

Toyonaka City

螢池図書館リニューアル工事
～誰もが行きたくなる「わたしの図書館」へ～

螢池図書館

事業概要

螢池図書館では、子ども・子育て世帯、若者など、これまで図書館を利用しにくかった層や、既存の利用者など誰もが行きたくなる「わたしの図書館」をめざし、リニューアル工事を行います。リニューアル後は、誰でも飲食しながら図書館資料を閲覧できるスペース、自学自習室、新刊や話題図書がいつでも読める閲覧用書棚などを設置します。

教育ＤＸによる個別最適な教育環境
～子どもたち一人ひとりに応じた教育の実現～

イメージ図

事業概要

一人ひとりの学習状況をＡＩが分析し、それぞれの理解度に応じた問題が出題される「ＡＩドリル」を市立学校の全児童生徒の一人一台タブレット端末へ導入します。また、別々に管理されている各種データを統合し一元的に管理する機能や、ダッシュボードでの可視化・分析、心のケア機能を有する統合データベースを構築し、児童生徒に合わせた個別最適な教育環境を実現します。

庄内よつば学園開校に向けて
～つながる力・まなぶ力・つくる力を育みます～

庄内よつば学園の開校イメージ

事業概要

庄内地域の小・中学校小では、小規模校化が進行し、人間関係の固定化や教育活動の制約などの課題を改善するため、小・中学校を再編し、新たな施設一体型義務教育学校を２校設置する「庄内地域における『魅力ある学校』づくり計画」を平成29年（2017年）8月に策定しました。令和5年（2023年）4月に、１校目として庄内さくら学園が開校し、令和8年（2026年）4月には、２校目の庄内よつば学園が開校する予定です。

南部地域に病児保育施設を作ります
～病気でも笑顔になれるやすらぎの空間を～

病児保育のイメージ図

事業概要

病児保育事業は、保護者が就労している場合等において、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に病気の児童を一時的に保育する事業です。豊中市では病気の児童を受け入れる病児保育施設が市内に中部２か所と北部１か所の合計３か所あり、令和７年度に南部にて病児保育施設を新たに１か所開設する予定です。

学校教育活動徴収金無償化事業
～修学旅行費や副教材費等を無償化！ ～

無償化対象の一例（ドリル等の副教材）

事業概要

修学旅行費や副教材費等は学校教育活動上必要不可欠でありながら、保護者の負担となっています。豊中市では、学校教育活動徴収金（保護者負担費）の無償化を進めることで、保護者の経済的負担感を軽減し、子どもたちの学びの水準を確保します。令和５年度は、修学旅行費等の無償化を実現しました。令和６年度からは、ドリル等の副教材費や調理実習等の実習費など、無償化の範囲を広げます。

『学びの多様化学校』の設置
～誰一人取り残さない学びへのアクセスを～

島田小学校の跡地を活用し、学びの多様化学校を設置します

事業概要

豊中市では、子どもたちの新たな学びの場として、令和9年（2027年）4月に学びの多様化学校を設置します。学習意欲はあっても学校に通えない不登校傾向にある生徒にとって選択肢の一つとなる学校です。学校の設置により、これまでの未然防止、早期発見・早期対応、創造活動などの取り組みとあわせて、豊中市の不登校支援施策が一層充実することになります。

いま、私たちがしたいことはコレ！

原田緑地の整備

～新たな観光・交流スポットの創出～

原田緑地整備イメージ

事業概要

大阪国際空港に千里川土手を挟んで隣接する原田緑地において、水とみどりと空を一体的に体感できる緩衝緑地を整備します。カフェやバーベキュー施設、キッチンカーなどが集まるマルシェ・イベント広場、ドッグラン、エアアスレチック、円形状の展望・芝生広場、大屋根を備えた屋根付広場などのにぎわい施設を整備します。令和7年（2025年）8月に一部開園、令和9年（2027年）3月に全面開園をめざしています。

担当者コメント

千里川土手は、飛行機の写真撮影の聖地として知られ、世界最大級の旅行プラットフォーム「トリップアドバイザー」から「エクセレンス認証」を受け、多くの人が訪れています。また、様々なテレビなどの撮影にも利用され、注目度が高まっています。千里川土手と一体的に整備する豊中市の新たな観光・交流スポットの創出を応援してください！

ご協力お願いします！

服部天神駅前広場整備事業

～にぎわいを創出する広場づくり～

服部天神駅前広場の完成イメージ

事業概要

本事業は平成３０年から事業化に向けた検討を進め、令和７年度末に駅前広場の供用開始を予定しています。駅前広場整備により、交通結節点としての機能強化や駅利用者の安全性・利便性の確保とともに、地域の顔として魅力的な広場空間の確保を目指しています。

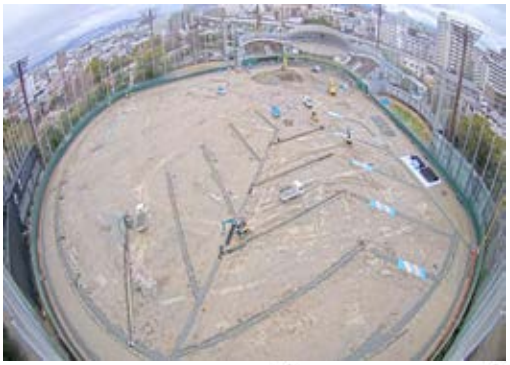
担当者コメント

安心・安全に利用できる空間の確保や交通結節点としての機能強化だけでなく、賑わい創出などのよりよい駅前広場整備となるように取り組んでいます。誰もが使いやすく居心地のよい駅前広場が、新たな交流の創出につながっていくと考えています。新たな地域の顔を一緒に創りましょう！

私たちが担当します！

豊中ローズ球場大規模改修工事

～高校野球発祥の地・豊中がパワーアップ～



改修中のグラウンドの様子

事業概要

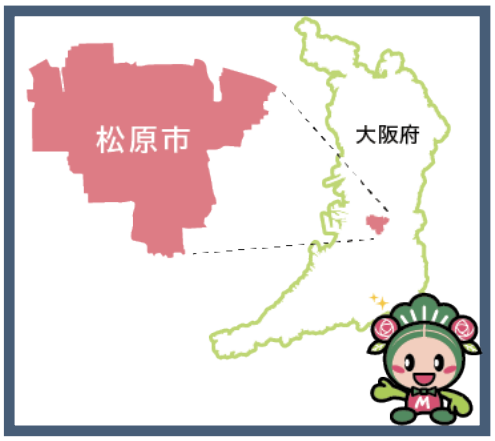
豊中ローズ球場は昭和４３年にオープンし、平成８年のリニューアルから、２７年が経過しました。グラウンドの土壌と芝生の新調、ナイター照明とスコアボードのＬＥＤ化、防球ネットの増設等、老朽化に伴う施設・設備の更新と安全対策を中心とした改修を行います。また、高校野球にまつわる記念品や歴史を伝えるパネルを設置する「高校野球発祥の地・豊中ミュージアム」を新設し、高校野球発祥の地を広く周知する施設へパワーアップします。

担当者コメント

毎年熱戦が繰り広げられている、全国高校野球選手権大会。前身である全国中等学校優勝野球大会が初めて開催されたのは、現在の豊中市玉井町３丁目にあった豊中グラウンドです。より安全・快適になる豊中ローズ球場（曽根南町）に高校野球発祥の地・豊中ミュージアムを新設し、豊中の魅力をさらに発信していきます。みなさまのご支援よろしくお願いいたします！

高校野球発祥の地を盛り上げます

まつばらし
松原市



”スケボーのまち　まつばら”で賑わい創出

松原市は、大阪府のほぼ中央に位置する面積約16.66㎢、人口約11万7千人のコンパクトな住宅都市です。古くは日本最古の官道が、現在においても高速道路網が充実し、南大阪の交通の要衝となっています。

そんな松原市には、安心・安全で子育てしやすい住環境や、市内外から人が集まる大型商業施設、スケートボード施設、歴史と個性溢れる神社など、様々な魅力があります。

多くの企業の皆さまに、本市の魅力や本市の事業を知っていただけますと幸いです。

資料提供：大阪府　松原市

資料提供
大阪府　松原市
〒580-8501
大阪府松原市阿保１丁目１番１号
TEL：072-334-1550

01 「スケボーのまち まつばら」まちづくり事業

松原市は、市内に２拠点あるスケートボード施設を中心に、スケートボードを通じた地域活性化に取り組んでいます。本市が「スケボーのまち まつばら」として全国的に認知され、たくさんのとりわけ若い世代のかたに「選ばれるまち」となり、地域の賑わい創出と発展につなげていくことを目指しています。

「スケボーのまち まつばら」の実現に向けて、スケートボード施設の運営、スケートボードコンテンツを活用したイベントや学校等での体験会開催、情報発信等にご支援をお願いいたします。

02 市制施行70周年記念事業

松原市は、令和7年2月1日に市制施行70周年を迎え、記念の年を祝う様々なイベントを行っています。

その一つとして、令和7年中に複数回の「まつばランタンフェスティバル」を開催します。参加者それぞれの想いを込めたランタンを夜空に打ち上げ、70周年をともに祝います。

また、令和7年は大阪・関西万博の開催年でもあります。大阪に注目の集まるこの機会に、松原市民だけでなく、万博に来場された市外・海外のかたにもランタンフェスティバルに訪れていただき、70周年を迎えた本市の魅力を広く発信したいと考えています。

本市のより一層の地域活性化に向けてご支援をお願いいたします。

資料提供：大阪府　松原市

03 生涯を通じて「安心」して暮らせる「まち」をつくる事業

犯罪や事故、災害に対する心配が少なく、若い世代が安心して子どもを産み育てることができる地域を作るため、本市のセーフコミュニティ活動（※）や、災害対策にご支援ください。

（※）セーフコミュニティ活動について
本市は、WHOが推奨する「セーフコミュニティ国際認証」を受けています。セーフコミュニティとは「けがや事故は、偶然ではなく予防できる」という理念の下、様々なデータをもとに地域の安全診断を行い、設定した重点課題について住民と協働でPDCAサイクルを運営する取組です。

04 誰もが「健やかに」暮らし、若い世代が結婚・出産・子育ての希望をかなえ、未来を担う「ひと」をつくる事業

市民の健康づくりや「ひとりで子育てをさせない」地域社会づくりを進めるとともに、子どもの学力や豊かな心と健やかな体の成長を図る取組、またインターナショナルセーフスクール（※）等の児童・生徒が安心して学ぶことができる環境づくりに取り組んでいます。

（※）インターナショナルセーフスクールについて
体および心のケガの原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安全で健やかな学校づくりを進める活動であり、WHOが推奨する国際認証の一つです。本市では市内小中学校の全校が国際認証を取得しています。

05 多様な「魅力」の創出と若者の働く意欲に答えるられる「しごと」をつくる事業

「行ってみたい」「住んでみたい」「暮らし続けたい」と感じられるまちとなるよう、移住・定住促進や、観光・文化・芸術・スポーツ等の魅力の発掘・発信等を行い、活力を生み出すまちづくりに取り組んでいます。

資料提供：大阪府　松原市

みのおし
箕面市

みどりと子どもを育むまち「箕面」

箕面市は、大阪北部に位置し、人口約13万９千人の住宅都市です。大阪都心部へ電車や車で約30分とアクセス抜群な立地でありながら、日本の滝100選にも選ばれた「箕面大滝」や明治の森箕面国定公園といった豊かな自然に囲まれています。

ゆずは接ぎ木で栽培されるのが一般的ですが、箕面市北部の止々呂美（とどろみ）地区では、種から育てる「実生ゆず」が栽培されています。「実生ゆず」は種から15～16年もの時をかけて育てられる希少なゆずです。香りが高く、大粒なのが特徴です。

勝尾寺は、「勝運の寺」「勝ちダルマの寺」として知られ、全国から勝運を祈る参拝者で溢れる関西屈指の由緒あるお寺です。境内は四季折々の花が咲き乱れ、特に秋の紅葉は絶景です。

出所：箕面市HP、観光サイト

資料提供
大阪府　箕面市
〒562-0003
大阪府箕面市西小路4-6-1
TEL：072-724-6905

共に創る　輝く箕面市！

企業版

ふるさと納税対象事業

その1 健康寿命の延伸

新病院などを核とする健康医療の一大拠点とし、年を重ねても誰もがいきいきと元気に過ごせる健康寿命の延伸に取り組みます。

その2 文化芸能・国際交流の振興

学術や文化芸能・国際交流の新たな拠点となる大阪大学開学、市立図書館、生涯学習センター、文化芸能劇場がオープン。箕面市の文化芸能の創造と振興、多文化共生の推進に取り組みます。

その3 ベンチャー企業の誘致・創業支援

鉄道延伸により、大阪都心に約20分でダイレクトにアクセスできる船場地域の立地特性を最大限に活かし、ベンチャー企業の誘致・創業支援に取り組みます。

その4 豊かな自然環境の活用と環境保全の実現

大阪都心部に近接していながら、美しい山並みや豊かなみどりに囲まれた恵まれた自然環境を活かし、箕面の滝や山林の保全、自然観察イベントの開催など、豊かな自然環境の活用と環境保全の実現に取り組みます。

その5 鉄道、バスなどの公共交通の充実

令和5年度に延伸した北大阪急行線とそれに伴うバス路線網の再編を行うことにより、公共交通利便性を飛躍的に向上させ、住宅都市としての魅力をさらに一層高める取り組みを行います。

その6 その他の地方創生プロジェクト

その他、箕面市が取り組むさまざまなプロジェクトに寄附金を活用させていただきます。

企業版ふるさと納税でSDGs達成に貢献しませんか？

箕面市まち・ひと・しごと創生推進計画

もりぐちし

守口市

いつまでも住み続けたいまち
守口暮らしやすさがちょうどえぇ⤴

守口市は、大阪平野のほぼ中央部に位置し、古くは農地が大部分を占め集落が点在していましたが、大阪市に隣接する西部地域から市街地が発展し、特に高度成長期には一挙に市街地が拡がりました。また、早くから大手家電メーカーの企業城下町として発展を遂げるとともに安定した税収を背景に各種行政サービスを充実させ、公共施設や都市基盤の整備を進めてきた結果、現在では日常生活を支える基本的な施設整備は一定の到達点に達し、成熟した都市としての機能を備えるに至っています。
市の面積は12.71㎢と、大阪府内では７番目に小さく、コンパクトな市域となっています。淀川を除くほぼ全域が市街地で、そこに約14万人の市民が暮らしており、かつては人口急増による超過密都市であり、今も可住地人口密度は全国有数です。一方、市域は概ね平坦であり、自転車での移動がしやすくなっています。市内の交通機関は、大阪市中心部まで約15分の京阪電車、大阪メトロや、大阪国際空港まで約35分の大阪モノレールが縦横に走り、主要道路は、国道1号・阪神高速道路・近畿自動車道などが整備され、各都市を結ぶ交通の要衝となっています。

出所：守口市HP

資料提供
大阪府　守口市
〒570-8666
大阪府守口市京阪本通　2丁目5番5号
TEL：06-6992-1221

いま、私たちがしたいことはコレ!

01 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる事業

若い世代(中学生、高校生、大学生、社会人等)が、進学・就職・結婚・出産・子育て等のライフイベントを様々なタイミングで、どのようにしたいかという将来の希望を描く機会を支援し、また、理想とする数の子どもをもち、家族で協力して、気持ちにゆとりをもって子育てができる環境や経済的な負担の軽減など、男女がともに仕事と子育てを両立できる環境を整える事業。

02 若い世代に守口の「まちの魅力」を広く伝える事業

守口市の持続可能な発展のため、SNSやインターネット等も通じて、「まちの魅力」を広く発信するために、守口市を実際に訪れたことがない若い世代が、守口を訪れる機会を創出し、若い世代が実際(リアル)の守口の魅力にふれることを通じて、守口についてのより良いイメージを形成し、将来、転居を考える時に、転居先の候補として本市が選択肢となるような状況を増やしていく事業。

03 子育てファミリー世帯の守口定住を促す事業

家族の成長に合わせて住み替える時に、有望な候補として「守口」を選ぶ子育てファミリー世帯を増やしていくため、様々な守口の「まちの魅力」を実感し、もりぐちライフを楽しみ、家族との良き思い出を増やすことで、守口のイメージや守口への愛着、守口市民であることの誇りを高める事業。

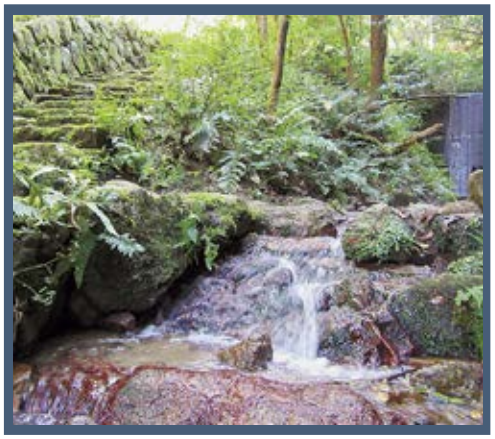
04 良いイメージをもって守口を誇りに思う子どもを増やし、育てる事業

守口市が力を入れてきた様々な取組において、市民の皆さんの認知度が低いため、自分が生まれ育った守口において、様々な取組が行われ、子育て等がしやすい環境にあることを若い世代に伝えていくことにより将来の守口への再居住(守口回帰)につなげていく事業。また、市立学校をより良くするために、「学力の向上」や「いじめや不登校への対応」等、よりよい活動を展開し、その成果をしっかりと発信することにより若い世代の再居住や子育てファミリー世帯の守口定住を促していく事業。

守口市まち・ひと・しごと創生推進計画
出所:大阪府　守口市

だいとうし

大東市



日本一元気なまち　大東をめざして

大東市は大阪都心までのアクセスが非常に良いという利便性と、市の３分の１が山間部という自然豊かな環境を兼ね備えた人口約11万6千人の「ほどよく都会で住みよいまち」です。
織田信長よりも先に天下人となった、三好長慶の居城である国史跡「飯盛城跡」までのハイキングなども都心から日帰りで楽しめます。

また、大東市は全国に先駆けて公民連携事業や子育て施策を打ち出してきたまちでもあります。なかでも、市営住宅の建て替えとエリア再開発を民間主導で実施した「morinekiプロジェクト」は、国内初の取組として注目され、今や、子育て世代をはじめとする多くの人々が訪れる場所となっています。
子育て施策では、妊娠期から子どもが18歳になるまでの子育てに関する窓口「ネウボランドだいとう」をいち早く創設し、市内の大学とも連携しながら、充実の子育て環境を提供しています。

これからも大東市は、人、地域、企業など多様な人々のつながりや、支え合いを大切にしながら、それぞれが強みを発揮し、輝けるまちづくりを進めていきます。

出所：大東市HP

資料提供
大阪府　大東市
〒574-8555
大阪府大東市谷川1丁目1番1号
TEL：072-872-2181

大東市の地方創生プロジェクト（寄附対象事業）

1．危機管理の徹底を推進する事業

災害に強い都市環境の整備と地域防災力の向上を図るとともに、人の力とＩＣＴの効果を掛け合わせ、災害対応能力の相乗的な向上を図ります！

◆デジタル技術を活用した危機管理
◆災害備蓄品の供給
◆安全な避難環境の整備　など

2．エリアの価値を高める都市整備と都市空間を創出する事業

大東が持つポテンシャルを磨くとともに、発信力を強化し大東でしか味わえない楽しくて快適な空間を創出することでエリア価値を高め、「大東ファン」を市内外に増やします！

◆老朽化施設の再編とあわせたエリア再生
◆環境にやさしいまちづくり
◆文化・歴史に対する市民の誇りの醸成と次世代への継承　など

3．健康寿命の延伸を図る事業

年齢に関わらず社会に様々な形で参画し、生きがいや楽しみを持つことで、心も体も健康に暮らせるまちを構築します！

◆検診（健診）受診率の向上
◆フレイル対策
◆AIやICTを活用した見守り　など

4．確かな学力の向上と教育環境の充実を図る事業

大東ならではの彩り豊かな教育機会の創出によって学びの個別最適化を図り、一人ひとりの学ぶ意欲を喚起します！

◆学力向上に向けた学校と家庭の教育力の向上
◆特色ある教育の創出
◆学校以外の学びの場の創出　など

5．出産や子育ての安心と魅力を創出する事業

個人の価値観に応じた出産・子育てに対する主体的な選択を応援し、
「**子育てするなら、大都市よりも大東市。**」を体感できる取組を推進します！

◆親と子の健康の保持・増進
◆多様な子育てニーズへの対応
◆安全な子育て環境の構築　など

6．チャレンジする人と産業を後押しする事業

ものづくり産業と教育機関の集積地という強みをいかし、柔軟性と強靭性を備えた重層的な産業基盤の構築を図ります！

◆市内大学と連携した産業技術の向上
◆産業競争力の維持・強化
◆新しい財やサービスの創出につながる成長産業へのチャレンジ支援　など

7．行政サービス改革を推進する事業

民間事業者や市民の「発想力」や「資金力」と、行政が有する「資源」を融合させ、強靭な財政基盤を確立するとともに、デジタル化時代にふさわしい行政サービスの実現に向けた改革を行います！

◆ICTを活用した行政サービスの提供
◆ICTを活用した業務の効率化や高度化
◆効率的な公共施設等の維持・管理　など

大東市では、これら７つを柱にまちづくりを進めています

大東市の地方創生の取組を支援していただける企業様を募集しています！

制度の詳細ページ

大東市マスコットキャラクター「ダイトン」

大東市まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：大阪府大東市HP

わ か や ま け ん

和 歌 山 県

知らないオドロキが色々色々 聖地リゾート！！！！！　和歌山

南北に長く、山・海・川の大自然に恵まれた和歌山県は『古事記』や『日本書紀』にもつづられた神話の舞台となった地があるなど、文化・歴史的に恵まれた風土を持っています。

　また、大自然を生かした特色ある産業も発達しており、世界の中でトップの地位を築いている企業や、世界から注目される技術が今もなお生み出されています。さらに、全国1位の産出額を誇る果実や、優良材の生産県としても全国的に知られています。瀬戸内海と太平洋に面した土地柄を生かした水産業も盛んです。

　このように恵まれた風土を生かして、さらなる県経済の発展を進め、県民の暮らしをより豊かにするため、「積み重ねてきた施策をさらに発展」させ、「時代の流れに的確に対応」しつつ、「新たなことに果敢に挑戦する」姿勢で、力強い新たな発展を目指します。

出所：和歌山県HP

資料提供
和歌山県
〒640-8585
和歌山市小松原通一丁目1番地
TEL：073-432-4111

いま、私たちがしたいことはコレ!

01 ひとを育む事業

子育て施策をより一層充実することで、県民みんなが子供を産み育てやすいと感じ、子供たちが将来の夢や目標の実現に必要な資質・能力を身につけるとともに、県民みんながそれぞれのライフスタイルに応じて楽しく元気に活躍し、故郷への愛着と誇りをもち続ける和歌山をめざす事業

【事業内容】

- 未来を拓く子供を育てる環境づくり事業
- みんなが活躍できる社会づくり事業 等

02 しごとを創る事業

多様でバランスのとれた産業構造を築き上げ、外的経済ショックにもしなやかに適応できる力を備え、各産業が積極的に海外へ進出するとともに、生産性・収益性を高めることで雇用を生みだし、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む新たな人の流れを創りだす和歌山をめざす事業

【事業内容】

- 時代を先導するしなやかな産業構造の実現事業
- 県内企業の成長力強化事業
- 第４９回全国育樹祭開催支援
- 観光振興事業
- 時代の潮流を踏まえた産業の新しい発展事業 等

03 いのちを守る事業

地震・津波・風水害等の災害による「犠牲者ゼロ」をめざした防災対策を一層充実するとともに、住み慣れた地域で質の高い医療サービスが受けられるよう医療体制を充実し、犯罪や交通事故の少ない環境を整備することで、安心して暮らせる和歌山をめざす事業

【事業内容】

- 自然災害対策事業
- 医療充実と健康の維持事業
- 安全な社会の実現事業 等

04 くらしやすさを高める事業

良好な生活環境を保ち、３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）や省エネルギー、再生可能エネルギー利用を進めるとともに、福祉サービスを充実し、高齢者や障害のある人が自分らしく暮らし、子供たちが育った環境に左右されることなく成長できる環境を整備することで、快適で楽しく暮らせる和歌山をめざす事業

【事業内容】

- 快適な生活環境の実現事業
- 支え合う福祉の充実事業 等

05 地域を創る事業

人口減少等が進む中、住民自らが主体的に考え、行政と一体となった地域づくりを推進し、また、コンパクトな都市や暮らしやすい中山間地づくり、交通ネットワークのさらなる充実を進めるとともに、各地域の自然・歴史・文化を固有の魅力として磨き上げる等、魅力的な地域を創造する和歌山をめざす事業

【事業内容】

- 活力と魅力のあるまちづくり事業
- 地域をつなぐネットワーク事業 等

和歌山県まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：和歌山県HP

和歌山県

いま、私たちがしたいことはコレ！

和歌山県PRキャラクター
「きいちゃん」

具体的な取組事例は
以下のとおりです

０１　ひとを育む

・**こども食堂**への支援
・県立高等学校での**eスポーツ**取組支援
・**ゲームクリエイターによるコミュニティ構築**支援　etc

０２　しごとを創る

・**外国人材**の受入整備
・多様で健全な**森林の育成**
・第４９回**全国育樹祭**開催支援
・**農林漁業と地域の持続可能性**を高める取組の推進
・**民間ロケット**発射場を核とした地方創生プロジェクト
etc

０３　くらしやすさを高める

・保護収容された犬猫の返還譲渡の推進
・**地域猫対策**の推進　　etc

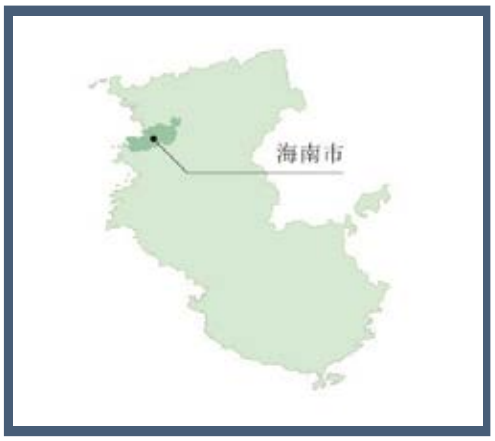
０４　地域を創る

・**移住・定住**促進支援
・和歌山**ワーケーション**推進支援
etc

＊詳細なプロジェクト内容については、下記QRコードよりご覧いただけます。
＊メールでの申請が可能です。（申請書は県HPよりダウンロードができます）
＊上記以外の取り組みにつきましても、随時ご相談承ります。
＊お問い合わせ先：和歌山県地域振興部地域政策局地域振興課
TEL：073-441-2426／MAIL：e1001001@pref.wakayama.lg.jp
URL：https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020200/d00204504.html

和歌山県まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：和歌山県

かいなんし
海南市



元気・ふれあい・安心のまち

　海南市は、和歌山県の北西部に位置する、四季を通じて温暖な気候に恵まれた市で、市域の西側が紀伊水道に面しており、天気がよいと四国や淡路島などを望むことができます。

　南部では、みかんやビワ栽培、東部では桃の栽培が盛んです。特に、蔵出しみかんは下津町地区の名産品で、全国的に知られています。

　特産品は、紀州漆器、家庭用品、お酒が特に有名です。令和２年には、図書館機能を核とした複合施設「海南nobinos（ノビノス）」がオープン。令和５年には地元の様々な地域資源とその魅力を発信する道の駅「海南サクアス」が開駅。

　さらに令和8年度春のオープンに向けて、地域防災拠点と多世代が集う居心地の良い都市公園としての二面性を持つ「海南市民防災公園及び海南市体験学習館」の整備を進めており、にぎわいの創出や魅力の向上に取り組んでいます。

出所：海南市HP

資料提供
和歌山県　海南市
〒642-8501
和歌山県海南市南赤坂11番地
TEL：073-482-4111

01 安定した雇用を創出するまちづくり事業

雇用の受け皿を今後も維持するとともに、拡大を図っていく。また、若年層の市内就職促進に向けて、商工業や農業などの地場産業の振興を継続的に図るとともに、若年層のニーズに合った雇用対策や情報発信、多様な働き方への支援などを推進する。

02 海南市への新しいひとの流れをつくるまちづくり事業

本市の魅力向上や認知度向上など、移住・定住意欲の醸成に取り組むとともに、進学時に転出した若年層のUターン居住や住宅取得世代の転入を促進する。また、本市の多彩な資源を積極的に活用しながら、交流人口の増加とともに、地域づくりの担い手となる関係人口の増加を図っていく。

海南市ＰＲキャラクター
海ニャン

03 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり事業

出産・子育て支援を継続して実施するとともに、より多くの人に子育て支援を利用してもらうための情報提供を行う。また、合計特殊出生率と婚姻数の増加を図るために、個人の考え方や生き方を尊重した上で、出会いの場の提供や仕事と子育てが両立できる環境づくり、結婚・出産・子育てに関する意識づくりを図りながら、更なる結婚促進や出産支援に取り組む。

04　時代にあった地域をつくるまちづくり事業

中心市街地のにぎわいの創出や南海トラフ地震・津波などの災害、人口減少・少子高齢化に対応していくため、効率的かつ計画的な行政運営を継続しながら、行政と市民等が協働して様々な地域課題の解決に取り組む地域社会を形成することで、誰もが安心・安全で便利に暮らせるまちづくりを推進する。

海南市民防災公園及び海南市体験学習館について

令和8年度春のオープンに向けて、整備を進めております。

- ■02 海南市への新しいひとの流れをつくるまちづくり事業
- ■04　時代にあった地域をつくるまちづくり事業

【全体面積】約16.36ha

・既存のわんぱく公園をリニューアル。

・歴史や文化を学び防災を体験できる施設「体験学習館」を新設。

・平時は、市内外からの多くの誘客と周辺施設との相乗効果を生み出す公園、
大規模災害時は、受援活動拠点や応急仮設住宅用地等として活用を想定する二面性を持つ都市公園。

まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：海南市

くしもとちょう

串本町

絆のものがたりを紡ぐ町

本州最南端・太平洋に面し、大自然に恵まれた陽光降り注ぐ串本町。東京都の八丈島とほぼ同緯度に位置する町です。海岸線はこの地方の特色であるリアス式海岸で、奇岩・怪石の雄大な自然美に恵まれ、吉野熊野国立公園の指定を受けています。

鰹のケンケン漁発祥の地としても知られ、昔から漁業を中心に栄えた、温暖な気候と恵まれた自然、そんな気候風土が生み出す人情豊かな人柄のまちです。

出所：串本町HP、観光サイト

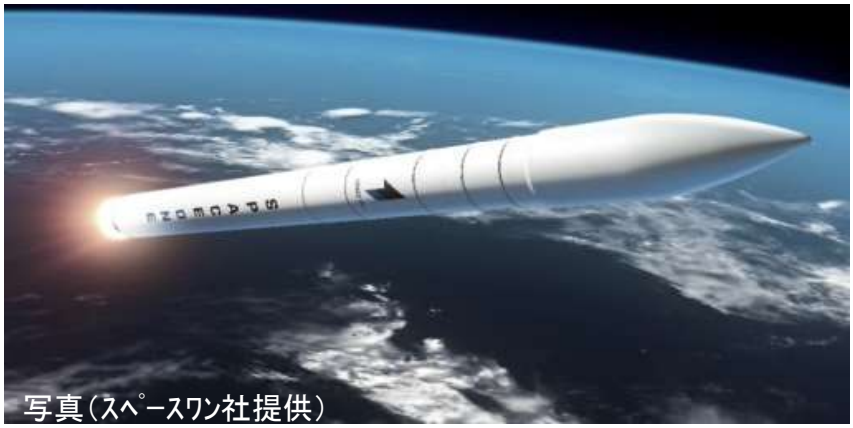
資料提供
和歌山県　串本町
〒649-3592
和歌山県東牟婁郡串本町サンゴ台690番地5
TEL：0735-62-0555

和歌山県串本町

☆ロケット推進事業☆

串本町は、和歌山県の紀伊半島に位置する本州最南端の町で、人口は約1.4万人、基幹産業は漁業と観光業です。
串本町では、民間初のロケット射場である「スペースポート紀伊」が建設され、環境整備が進められています。このロケット発射場を活かした地域活性化に取り組むため、「ロケット推進事業」に対する寄附を通じて協働していただける企業様を求めています！

本州最南端のまちから
ロケット最先端のまちへ


写真（ｽﾍﾟｰｽﾜﾝ社提供）

写真（ｽﾍﾟｰｽﾜﾝ社提供）

ロケット推進事業の主な取組

☆ロケット打上げ見学場の整備
ロケット打上げを良い条件下で見学できるよう、見学場を整備します。
☆映像コンテンツの充実
ロケットの打上げ映像等、8K映像コンテンツを作成します。
☆ロケット打上応援イベント
最高な眺めが望めるスポットに観光客を集約させ、プレミア感を創出するロケット打上応援イベントを実施します。
☆宇宙ワークショップ
ロケット打上げによる機運醸成を図るため、宇宙に関するワークショップを実施します。
☆宇宙ふれあいホールSora-Miruの運営管理
「宇宙をもっと身近に」というコンセプトのもと、宇宙やロケットを身近に感じ、学ぶことができる体験型施設として、多くの人に宇宙やロケットの魅力を届けます。

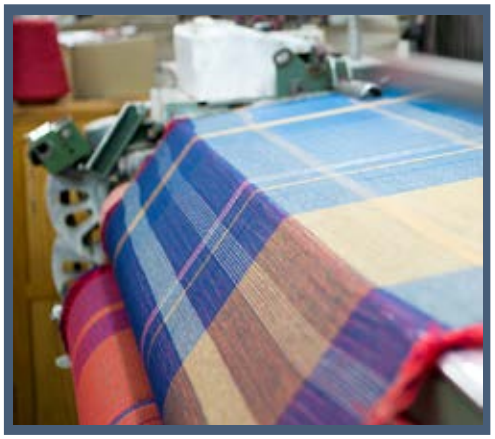
寄附金の使途

いただいた寄附金は、ロケット推進事業を通じて、未来を担う子供たちにロケット打上げを見ていただき、その魅力を多くの人に伝えるための施設整備のみならず、イベントの企画・運営の経費に使用させていただきます。

企業様のメリット

公式ホームページへ企業・団体名を掲出させていただきます。

にしわきし
西脇市



人輝き　未来広がる　田園協奏都市

西脇市は兵庫県のほぼ中央部、東経135度と北緯35度が交差する「日本列島の中心・日本のへそ」に位置しています。

毎年夏の風物詩である「日本のへそ西脇夏まつり」をはじめとした各種イベントの開催や、全国のへそ・中心を名乗る市町村で結成している「全国へそのまち協議会」での交流するなど、“へそ”をテーマにしたさまざまなまちづくりを展開しています。

令和3年には、国の「SDGs未来都市」に選定され、日本経済新聞社が実施した「全国SDGs先進度調査」では、人口5万人未満の自治体を対象とした総合ランキングで3回連続の1位となるなど、SDGsの理念を踏まえたさまざまな取組みを推進しています。

出所：西脇市HP

資料提供
兵庫県　西脇市
〒677-8511
兵庫県西脇市下戸田128番地の1
TEL：0795-22-3111
FAX：0795-22-1014

西脇市

いま、私たちがしたいことはコレ！

＝ＳＤＧｓ未来都市※＝
兵庫県西脇市

※西脇市は令和３年５月、「ＳＤＧｓ未来都市」に選定されました！
ＳＤＧｓ未来都市とは、ＳＤＧｓの理念に沿い持続可能な開発を実現しつつ、経済・社会・環境の３つの側面から新たな価値を創出する取り組みを進める都市や地域の中から、特に優れた取り組みを提案する自治体として、内閣府が選定するものです。

東経135度・北緯35度の交差点「日本のへそ」に位置する西脇市は、豊かな自然に恵まれた人口約４万人のローカルシティ。地方創生ＳＤＧｓの実現に向けて、日本の真ん中でチャレンジするプロジェクトを応援してください！

自然と人にやさしい循環型農業プロジェクト

▸▸▸ *ブランド牛 × 循環型農業 × 地産地（外）消 × ６次産業化*

- 特産のブランド牛（黒田庄和牛）を起点とした、循環型農業を確立しています。
- 直売所での「地産地消」、農業・醸造に携わる「人材誘致・育成」、高付加価値化による「持続可能な農業」を進めます。
- オリジナルの循環型農業の推進を通じて、食材の提供や自然環境の保全に貢献します。

スマートウエルネスシティ推進プロジェクト

▸▸▸ *ＩＣＴ × 健康 × 子育て*

- 誰もが健やかに生きがいを持って、心豊かに暮らせる「健幸（けんこう）」なまち（スマートウエルネスシティ）を目指します。
- 筑波大学大学院・久野譜也教授監修の下、科学的根拠に基づいた運動プログラムの実践や、歩いてためる健幸ポイントの導入で、市民の健康寿命を延ばします。
- 出産や子育てへの不安軽減のため、妊娠期～子育て期の女性限定の「心身の健康づくり教室」を開催し、運動メニューと相談交流の場を提供します。

未来を拓く次世代育成プロジェクト

▸▸▸ *子ども × 教育 × ＩＣＴ*

- 将来を見通しにくい社会に立ち向かい、ＳＤＧｓの視点で物事を考え、自ら未来を切り拓いていく力を持つ子どもたちを育成します。
- グローバルな交流ができるよう、外国語指導助手の充実や英語検定受験料の助成などに取り組みます。小・中学校に一人一台のタブレット型パソコンを導入し、ＩＣＴを活用した教育を進めます。
- 地域の知の拠点（茜が丘複合施設みらいえ）の図書を充実します。

詳しくは、西脇市ホームページをご覧ください。

【問合せ】西脇市役所　市長公室　政策推進課
0795-22-3111　seisaku@city.nishiwaki.lg.jp

- Challenge to SDGs by local city -

とよおかし

豊岡市

小さな世界都市

豊岡市は、2005年4月1日、兵庫県の北東部に位置する1市5町（豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町）が合併してできたまちです。北は日本海、東は京都府に接し、中央部には円山川が悠々と流れています。海岸部は山陰海岸国立公園、山岳部は氷ノ山 後山那岐山国定公園に指定され、多彩な四季を織りなす自然環境に恵まれています。2005年9月には、国の特別天然記念物・コウノトリが放鳥され、今では日本の野外に300羽以上のコウノトリが暮らしており、人里で野生復帰を目指す世界的にも例がない壮大な取組みが着実に進んでいます。産業は、農林水産業、観光業などが盛んです。特に観光業では、全国的に有名な城崎温泉をはじめ、西日本屈指の神鍋高原スキー場、但馬の小京都・出石城下町などを有し、年間を通じて多くの観光客が訪れています。また、地場産業としては、全国の4大産地の一つである「かばん」や出石焼などの生産が行われています。

出所：豊岡市HP

資料提供
兵庫県　豊岡市
〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
TEL：0796-23-1111

小さな世界都市
-Local & Global City-
TOYOOKA

ー兵庫県豊岡市「地方創生推進計画」の取組についてー

「暮らすなら豊岡と考え、定住する若者を増加させる」事業

ア　「豊岡の暮らしの『豊かさ』が内外に知られている」事業
イ　「多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている」事業
ウ　「いきいきと暮らす女性が増えている」事業
エ　「豊岡で人々が世界と出会っている」事業
オ　「子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている」事業
カ　「結婚したいと思う人が結婚できている」事業

特にPRしている事業3つはこちら！

1　イ「多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている」事業

豊岡のブランド力を活かした高付加価値化を進め、地域経済を強力に活性化させることを起点として、支える人材の育成、労働人口の流入を促進し、転出者の抑制とUIターン者の増加につなげます

本市では、人口減少の抑制を全力で図るべく、さまざまな量的緩和策を講じています。しかしながら、量的緩和策が功を奏したとしても、人口減少は依然として続き、地域活力を削ぐ力が今後も増大し続ける状況にあります。そのため、人口減少トレンドの極力の緩和に加えて、地域活力を維持する対策を同時に進める必要があり、地域社会・地域経済・地域文化のあり様の質的転換による地域活力の維持を同時に追い求めています。

本事業では、基盤産業である鞄、農業等の各分野の経済的な発展とそれを支える人材の育成のための施策を展開し、豊岡の魅力を認めるUIターン者の増加とその定着、関係人口の増加を目指します。

【寄附金の使途】
・内発型産業育成事業
・豊岡鞄ブランドPR推進事業
・IT企業誘致推進事業　等

2　ウ「いきいきと暮らす女性が増えている」事業

豊岡市では、ジェンダーギャップ解消を図り、若い女性に選ばれるまちづくりを推進しています

豊岡市の人口減少の最大の要因は、10代の大幅な社会減にあり、進学等で転出した若者のうち、20代で戻ってくる割合を男女別でみると、女性は男性の約半分です。なぜ豊岡が若い女性たちに選ばれないのか。その要因の１つは、豊岡市が男性中心の社会であり、ジェンダーギャップの解消が進んでいないことだと考えています。女性が補助的役割のみに甘んじ、能力を磨き、発揮する機会もないとすると地域経済・地域社会にとって大きな損失で公正さにかける状態と言わざるをえません。

本市では、次世代により良い未来を引き継ぐため、男だから、女だからを超えて、暮らし方や働き方といった文化を時代に適応させ、互いに尊重し、支え合う社会を築き上げようとする、ジェンダーギャップ解消に向けた取組みを進めています。

【寄附金の使途】
・ジェンダーギャップ解消推進事業
・子育て中の女性の就労促進事業　等

3　エ「豊岡で人々が世界と出会っている」事業

豊岡固有の魅力をさらに磨いて世界の人々とつながり、あわせて優れた人材を内外から受け入れて、豊岡で世界の一流と出会う機会を広げます

大都市への一極集中を解消し、地方創生を実現するためには、若い人たちにとっての「豊岡に暮らす価値」を圧倒的に高め、豊岡市が「突き抜けた魅力あるまち」となることが必要です。

豊岡市では「深さをもった演劇のまちづくり」に取り組むことでその実現を目指しています。

本市には、片岡愛之助さんを座頭として歌舞伎公演が行われている近畿最古の芝居小屋「出石永楽館」や、国内最大級のパフォーミングアーツ（舞台芸術）のアーティスト・イン・レジデンス（滞在制作）施設である「城崎国際アートセンター」があり、2020年には、パフォーミングアーツと観光を連動させた、日本で初めてのリゾート型、回遊型の演劇祭を目指して「豊岡演劇祭」がスタートしました。毎年９月に開催される演劇祭では、周遊促進、公共交通の実証実験、地域通貨の導入、観光事業と連動したプログラム醸成、市民参加のプログラムやワークショップ開発など、地域社会への還元に取り組むほか、芸術文化観光専門職大学の学生も実習として運営に携わっています。

豊岡市内の小・中学校、高校では、性別や年代を超え対等な関係の中で自分を主張し、他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力の育成を目指し、演劇的手法を用いたコミュニケーション教育を実施しています。さらに、学力の基礎として重要な非認知能力（やり抜く力、自制心、他者と協働する力等）向上のため、小学校低学年を対象に演劇ワークショップを実施しています。

このように、単に演劇があり、アーティストが溢れ、演劇を楽しむことができるまちにとどまらず、社会や生活の多様な場面に、演劇や演劇的なものの考え方が染み込んだまちを「深さをもった演劇のまち」として掲げ、取組みを進めています。

【寄附金の使途】
・豊岡演劇祭協同開催事業
・インバウンド誘客推進事業
・出石永楽館歌舞伎開催事業　等

©igaki photo studio

わかさちょう

若桜町

緑と清流のまち
人と自然が織りなす素晴らしい故郷

鳥取県の南東端に位置し、町域には山地が多く、観光業が主産業です。標高1510mの秀峰の氷ノ山は夏は登山客、冬はスキー客が集まります。

歴史を感じる昔ながらの風景とあたらしい感動が出合うまち、若桜町。若桜の特産「ジビエ」を使った商品などが充実しています。

出所：若桜町観光ガイド

資料提供
鳥取県　若桜町
〒680-0792
鳥取県八頭郡若桜町大字若桜801番地5
TEL：0858-82-2211
TEL：0858-82-0134

01 すべての人にやさしいまちづくり事業

- 若年世代や子育て世代を中心とした住環境の整 備を進め、豊かな自然のなかでのびのびと子育てできるよう、切れ目のない子育て支援を行います。
- わかさこども園と若桜学園の魅力向上、住環境の整備などにより子育て世代に重点を置いた移住・定住を進め、転入者の増加と転出者の減少による地域の活性化に努めます。
- 交通利便性の向上や買い物支援、豊かな自然環境の保全、福祉の充実、見守り体制の強化など、高齢になっても安心して暮らすことのできる 住みやすいまちづくりを進めます。
- 晩婚化や未婚化を改善し出生数を増加させるため、出会いの場の提供や住宅支援などに取り組みます。
- 高齢者や障がい者が活躍できるまちづくりを推進します。

○関連するSDGsのゴール

02 地域資源を活かしたまちづくり事業

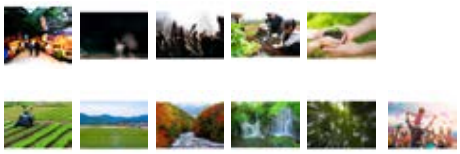
- 豊かな自然や歴史的景観、若桜鉄道などの地域資源の新たな活用策の 検討と広域自治体間連携の強化により、交流人口の増加や関係人口の 創出、地域のにぎわい創出に努めます。
- 既存の特産品の磨き上げと農林畜産物やジビエを活用した新たな特産 品の開発・販路拡大により、産業の振興と雇用の創出を図ります。

○関連するSDGsのゴール

03 豊かな自然のなかで営むしごとづくり事業

- 商工会や町内外企業などと連携し、雇用の確保と創業支援を推進します。
- 担い手の育成や農地の集積、若桜米のブランド化、間伐の促進などにより、農林業の振興と収入確保を図ります。
- 農地の維持と森林の健全化、自然エネルギーの導入により、自然環境の保全を推進します。

○関連するSDGsのゴール



若桜町まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：若桜町HP

やずちょう

八頭町

人輝き　未来が輝くまち 八頭町
～豊かな自然とともにみんなでつくる ふれあいのまち～

八頭町は鳥取県東南部に位置しています。周囲を扇ノ山など1000mを超える山々に囲まれており、これらを源流とする大小多数の河川が合流して八東川を形成し、千代川を経て日本海へ注いでいます。古くから農林業が行われており、現在も稲作を中心に、梨、柿などの果樹栽培も盛んな町です。

また、地域に不可欠な公共交通として第三セクター鉄道である若桜鉄道を運行しており、地域住民と行政が一体となって利用促進や観光化に取り組んでいます。

私たちは、自然と共生する循環型の農畜産業、廃校をリノベーションしたビジネスの拠点など…。美しい原風景と新しい暮らしや働き方が調和する、未来の田舎を目指しています。

出所：八頭町HP、八頭観光サイト

資料提供
鳥取県　八頭町
〒680-0493
鳥取県八頭郡八頭町郡家493番地
TEL：0858-76-0201
FAX：0858-73-0147

いま、私たちがしたいことはコレ！

国内サポーター：
島根銀行

誰もがいきいき活躍し笑顔あふれるまちづくり（産業振興・全世代活躍・健康増進・地域福祉）

○地域産業の振興と稼ぐ力の強化

商工会等と連携し、起業・創業や新事業展開を支援。農林水産業の担い手育成や生産性向上を促進し、地域産業の発展と良質な雇用の確保に取り組みます。

○誰もが活躍できる地域社会の構築

町民が互いに尊重し、コミュニティ活動等により協力し合うことなどを通じて地域や職場で活躍できる環境を整えます。

○生涯活躍に向けた健康づくりの推進

運動や食育等による健康づくりを進め、疾病予防や早期発見・治療につなげ、町民の健康寿命の延伸を図ります。

みんなでともに子どもの笑顔を育むまちづくり（子育て支援・人材育成・教育）

○出会いや出産、子育ての支援

若者の出会いの機会を創出し、妊娠・出産の負担軽減や保育サービスの充実を図り、安心して子育てできる環境を整えます。

○子どもを育む社会環境の整備

地域や事業者と協力し、子育て世代を支援。社会全体で子育てを応援し、子どもと安心して過ごせる環境を整えます。

○将来世代の育成と教育環境の整備

学校と地域が連携して実践的な教育を行うことで郷土愛を育み、地域の維持・発展に貢献する人材を育成します。

笑顔でつながる人と地域がふれあうまちづくり（観光振興・移住定住促進・交流推進・関係人口拡大）

○観光振興と受入環境の整備

地域資源を活かし、観光の魅力を向上。周遊しやすい環境を整備し、多様な媒体による情報発信で誘客を図ります。

○空き家活用等による移住定住の促進

移住相談会等を通じて町の魅力を発信。空き家の活用や移住体験を通じ、移住・定住を促進します。

○交流の促進と関係人口の拡大

国内外地域との交流や八頭町と関係をもつきっかけづくり等を通じて、町の認知度向上と関係人口の拡大に努めます。

※第3期八頭町まち・ひと・しごと創生総合戦略より抜粋

暮らしを支え笑顔が続く安全安心のまちづくり（地域交通維持・買い物環境等確保・災害対策）

〇地域公共交通等の確保

デジタル技術を活用し、公共交通の利便性向上や買い物環境の確保を推進。医療・介護サービスの充実を図り、安心して暮らせる環境を維持します。

〇防災・防犯対策の推進

豪雨や地震に備え、防災対策や住宅の耐震化を推進。防災訓練の実施で地域の防災力を高め、青色パトロールなどで安全なまちづくりを進めます。

寄附募集プロジェクト名

地域の未来を支えるDX推進プロジェクト

八頭町では、少子高齢化や若者の流出による地域の担い手不足が課題となっています。買い物・医療・交通の利便性確保や空き家対策など、持続可能なまちづくりのため、デジタル技術を活用したDXの取組を推進していきます。DXの力で地域の未来を創るプロジェクトに、ぜひご協力ください。

■ 産業分野取組例
・小売業のキャッシュレス化支援
・「隼Lab.」を活用したリモートワーク・移住促進
・スマート農業導入による生産性向上

■ 子育て・教育分野取組例
・母子健康手帳アプリでの育児支援
・保育業務支援システムの導入
・学校教育でのICT活用推進

■ 生活・健康分野取組例
・高齢者向けITリテラシー向上支援
・デジタル技術を活用した買い物支援サービスの提供
・健康データを活用した保健・介護サービスの質向上

■ 観光・交流分野取組例
・町民参加型メディアの創出と情報発信の実施
・デジタル技術を活用した観光PRと移住促進
・空き家のVR内覧の実施

※第3期八頭町まち・ひと・しごと創生総合戦略より抜粋

ほくえいちょう
北 栄 町

やさしい風のふくまち 北栄町
～人と自然が共生し確かな豊かさを実感するまち～

北栄町は広い海岸を保有し、自然豊かで風車がシンボリックに並ぶ風の町です。自然の中で楽しめる天然芝グラウンドや砂丘河岸沿いにキャンプ場といった優しいまちづくりに取り組んでいます。

また、秀峰・大山の山麓に広がる火山灰土壌『黒ぼく』の大地で、太陽の光と大山の雪解け水をいっぱいに浴びて育つ大栄西瓜は、2007年に栽培100年間を迎え、糖度 12度以上と大変甘く、大玉でシャリ感たっぷりでおいしいと評判です。

名探偵コナンの作者の出身地という事から、コナン通りやふるさと館があり、町全体で盛り上げています。

出所：北栄町HP

資料提供
鳥取県　北栄町
〒689-2292
鳥取県東伯郡北栄町由良宿423-1
TEL：0858-37-3111
FAX：0858-37-5339

北栄町

いま、私たちがしたいことはコレ！

国内サポーター：
鳥取銀行

01 商工業の復興事業

1. 商工業活性化の推進雇用
2. 人材確保施策の充実 等

02 未来をつくる教育の推進事業

1. 地域を支える人材の育成
2. 教育環境の充実 等

03 子どもを産み育てやすいまちづくり事業

1. 結婚・出産・子育てに安心、喜びを感じられる環境づくり
2. 子育て世代への支援と幼児教育・保育サービスの充実 等

04 観光の振興事業

1. 「名探偵コナンに会えるまち」の推進等による観光地づくり
2. 道の駅の整備
3. 広域観光の促進 等

05 環境・エネルギー施策の推進事業

1. 再生可能エネルギー等の活用によるまちづくり
2. 環境にやさしく、健康で快適なライフスタイルへの転換

06 移住定住の促進事業

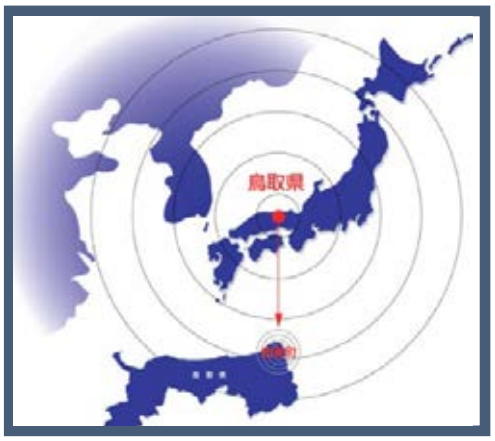
1. 情報発信・情報提供体制の構築
2. 北栄暮らしの支援・北栄暮らしの魅力向上に向けた総合的な検討 等

07 農業の復興事業

1. 農産物のブランド化の推進
2. 新たな販路開拓、農商工連携
3. 新規就農への参入支援と担い手の育成・確保
4. イチゴ産地化の取り組み

北栄町まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：北栄町HP

いわみちょう
岩美町



人が輝き海輝るきらめきつづけるまち岩美
～“心・自然・恵み”豊かさを未来へ～

岩美町は日本海に面する東西およそ15キロメートルのリアス式海岸を総称して『浦富海岸』と呼んでおり、「山陰海岸国立公園」に指定されています。また、世界ジオパークネットワークに加盟した「山陰海岸ジオパーク」の一部でもあります。
海域公園に指定されている海は、透明度が高く、暖流に乗ってきた亜熱帯魚も見られ、海水浴と併せてマリンスポーツが盛んです。
奇習“湯かむり”で有名な岩井温泉は、蒲生川沿いに古くから開けた温泉であり、優れた温泉の証明である「国民保養温泉地」に指定されているとともに、こちらもまた、山陰海岸ジオパークの一部となります。このように岩美町は、『海と山と温泉』の豊かな自然に恵まれた町です。

出所：岩美町HP

資料提供
鳥取県　岩美町
〒681-8501
鳥取県岩美郡岩美町浦富675-1
TEL：0857-73-1411
FAX：0857-73-1569

鳥取県岩美町　「地域創生推進計画」の取組について

Ⅰ　子どもを産み育てられるまちづくり

若者の出会いの場の創出等による結婚組数を増やす施策や、安心して出産、子育てのできる環境の整備に取り組みます。

【具体例】
・保育料の独自軽減
・在宅で育児を行う世帯への給付金
・乳幼児のおむつ購入費助成
・子育て支援センターへの助産師の配置
・保育施設、教育施設の充実
・ＩＣＴを活用した教育の推進
・地域の人材、資源等を活用した特色ある教育活動
・県立岩美高等学校の存続に向けた魅力化支援
・教育に必要な保護者負担の軽減　など

Ⅱ　住んでみたい、住み続けたいまちづくり

観光客及び関係人口の増加を目指して魅力ある地域づくりを進めるとともに、移住希望者に対するきめ細やかな相談体制の整備、住まいに関する支援などに取り組みます。また、若者の交流、ふるさと教育などにより郷土愛を育み、住み続けたいと思う人を増やす取組を行います。

【具体例】
・「山陰海岸ジオパーク」、「山陰海岸国立公園」を活用した観光振興や民間の取組支援
・観光施設の充実やインバウンド対策
・ＤＭＯ麒麟のまち観光局による広域観光の推進
・観光協会等と連携した各種イベント開催（浦富海岸元気フェスティバル花火大会など）
・空き家バンクを活用した住まいの確保や空き家改修等の支援
・新築、リフォームの支援　など

Ⅲ　希望を持って働けるまちづくり

担い手の確保や生産性の向上、商品の付加価値向上の取組に対する支援などにより、それぞれの産業の魅力を高め、発信するとともに、起業・就業の支援を行い、新規雇用へとつなげ、産業全体の振興に取り組みます。

【具体例】
・起業、創業、事業継続等に対する支援
・企業の設備投資や新規雇用を促進するための支援
・地元企業へのふるさと就職支援
・農業、漁業の担い手確保に向けた新規就業者支援
・農林水産業の機械、設備等の整備に対する支援
・農産物加工施設の充実
・地域資源を活用した６次産業化の支援
・道の駅「きなんせ岩美」を活用した産業振興　など

Ⅳ　みんなが元気で安心して暮らせるまちづくり

地域課題の解決に対する地域の自発的な取組への支援や多世代交流の場を創出し、地域活動を活発化させるとともに、だれもが安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

【具体例】
・町民による自発的な取組に対する支援（チャレンジサポート）
・集落の集会施設等の充実整備に対する支援
・環境保全のためのごみ減量化
・ゼロカーボンに向けた電気自動車充電設備の整備
・地域公共交通の維持、確保対策
・積雪時における交通確保のための除雪体制の整備や除雪活動に対する支援　など

岩美町まち･ひと･しごと創生推進計画
出所：岩美町HP

なんぶちょう

南部町

見てごしない、桜と蛍の舞う町南部町

南部町は人の営みと隣り合わせに、多様な動植物がにぎやかに生息している、本来の人間らしい生活を営めるまちです。そのため、自然環境がよく、毎年6月頃には蛍が見られることで有名です。

また、SDGsへの取組みが盛んなまちです。毎月ごとに図書館にてSDGsの各ゴールについて紹介を行っており、知見を広めています。特産品として、富有柿、赤梨、白ねぎを用いたねぎみっちゃん、エゴマ、ジェラート、竹するめなどがあります。

出所：南部町HP、観光サイト

資料提供
鳥取県　南部町
〒683-0351
鳥取県西伯郡南部町法勝寺377-1
TEL：0859-66-3112
TEL：0859-66-4806

01 次代へつなぐまちづくり

1. 次代へつなぐまちづくり
2. 活力ある産業で輝くまちづくり

【事業内容】
- 官民連携による魅力発信
- 起業・事業展開支援

02 豊かな里が心育むまちづくりを行う事業

1. 地域とともに未来を拓くひとづくり
2. 暮らしに学びが息づくまちづくり
3. ともに支え合い元気に暮らすまちづくり

【事業内容】
- 人権尊重社会の実現
- 保育及び学校、家庭教育の充実
- 健康づくりの推進

03 豊かな里に調和するまちづくりを行う事業

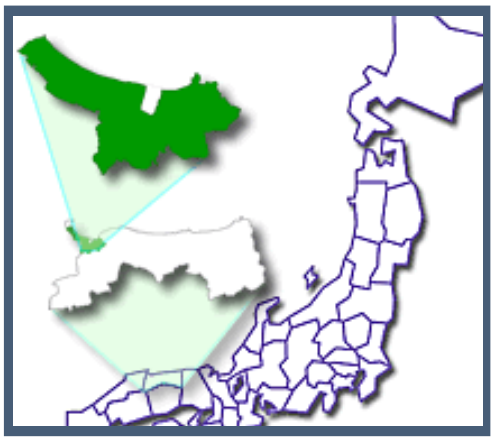
1. 暮らしやすいまちづくり
2. 住みたい、行きたい、帰ってきたいまちづくり
3. 安心安全なまちづくり

【事業内容】
- 快適な生活環境の整備
- 移住定住、交流、観光の推進

南部町まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：南部町HP

よ な ご し

米 子 市



生活充実都市・米子

米子市は山陰を代表する商都にふさわしく、高速道路と鉄道の陸路が整備され、空路と海路を有する境港市と隣接する便利なアクセス環境から、山陰の玄関口といわれております。

また、国立公園大山を仰ぎ日本海に寄り添うすぐれたロケーションに、山陰屈指の皆生温泉が湧き、「トライアスロン日本発祥の地」でもあります。昭和56年から毎年開催している「全日本トライアスロン皆生大会」には全国から鉄人が集結します。

四季を通じて海水浴、登山、サイクリング、ス キーなどのスポーツやキス釣りの聖地として知られている弓ヶ浜海岸を有しており、キスの投げ釣りや潮風と青松につつまれたシーサイドコース「米子ゴルフ場」でのゴルフなどレジャーも楽しめまるまちです。

出所：米子市HP

資料提供
鳥取県　米子市
〒683-8686
鳥取県米子市加茂町一丁目1番地
TEL：0859-22-7111

いま、私たちがしたいことはコレ！

国内サポーター：
島根銀行

01 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする事業

【具体的な事業】

1. 国内外の需要の変化を捉えた新たな市場の開拓事業
2. 地域資源を活用した成長産業の育成事業
3. 企業誘致の推進事業

02 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる事業

【具体的な事業】

1. ふるさとへの愛着や誇りをもつ人材の育成事業
2. シビックプライドの醸成と認知度の向上事業
3. 移住定住の促進事業

03 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

【具体的な事業】

1. 切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健施策の充実による乳幼児の健康と安全を守る事業
2. 保育所等の待機児童の解消を図る事業
3. 子どもの特性の早期把握及び個々の特性に応じた支援事業

04 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる事業

【具体的な事業】

1. 高規格幹線道路及び国、県道の整備促進、都市間・拠点地域間を連携する高速交通ネットワーク形成、幹線道路の機能を強化する事業
2. バス路線の再編により持続可能な公共交通体系の構築事業
3. 中心市街地と郊外の一体的な発展をめざす事業

米子市まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：米子市HP

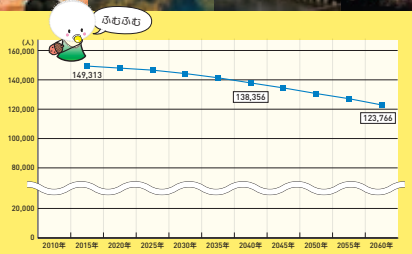
いま、私たちがしたいことはコレ！

国内サポーター：
SHIMANE 島根銀行

米子市の人口ビジョン

2015年国勢調査に基づく推計により、2040年、米子市の人口は、138,356人に、そして、2060年においては、123,766人になるという結果がでました。

この結果を、米子市の人口の将来展望として掲げ、今後、人口が減少していく状況の中で、いかに活力を維持していくかという視点に立って、各施策に取り組んでいきます。



※米子市まちづくりビジョン策定にあたりコーホート要因法により米子市が推計

市長からのメッセージ

2040年に鳥取県の人口は現在より約12％減少し、48万９千人になると推計されています。米子市においても約７％減少し13万８千人になると推計されており、これからの20年、私たちは本格的な人口減少時代を歩んでいくことになります。

また、2040年は、いわゆる「団塊ジュニア」の世代が高齢者となる時期でもあり、高齢者人口はピークを迎え、これが少子化の継続と相まって、１人の高齢者を1.5人の現役世代で支えるという、最も世代間のバランスが崩れる時代がやってきます。この時期には、若年労働力の絶対量が不足するとみられることから、これを「2040年問題」と称して各方面でその対策が議論されています。

国においては、総務省がこの2040年問題を乗り切るために「自治体戦略2040構想研究会」を立ち上げ、人口減少下において満足度の高い人生と人間を尊重する社会をどう構築するかについて議論を始めています。そこでは、「スマート自治体への転換」や「公共私によるくらしの維持」、「都道府県・市町村の二層制の柔軟化」などの課題が話し合われています。自治体そのものをスリム化しつつもその機能を維持し、様々な社会の課題を行政だけでなく、そこに暮らす人々の連携で解決を図っていくことなど、私たちは時代の変化を見据えた転換点を自ら作っていく覚悟が求められています。

米子市では、こうした時代を乗り切るため、縮小していくだけの発想に陥ることなく、中国をはじめ大きく発展するアジア諸国の成長を取り込んで地域経済の発展を図り、市民福祉を向上させながら2040年を迎えたいと思います。そのころに、米子市が輝ける地方都市であるために、これからの10年で何を成し遂げていくべきか、様々な角度から検討を重ねた中で、特に重要な項目を掲げて作成したのがこのたびの「米子市まちづくりビジョン」です。このビジョンに基づき、試行錯誤を重ねながらも個別の施策を確実に実行していくことで、米子の未来が開けるものと思います。

米子市長　伊木隆司

新たなる発展を遂げる新商都 米子を創る

米子市まちづくりビジョン

第４次米子市総合計画及び第２期米子市地方創生総合戦略

2020▶2029

1 基本目標 交通基盤の充実と人が集うまちづくり

山陰の交通の要衝、東アジアのゲートウェイとして、交通基盤の整備の充実を図るとともに、地域公共交通を中心としたコンパクトプラスネットワーク※のまちづくりを推進することにより、人が集い、活気のある交流のまち「米子」をめざします。

※都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に集約することと拠点間のアクセス確保のための公共交通の維持・充実を一体的に検討すること

基本方向
- 地域公共交通体系の確立
- 米子駅周辺整備の推進
- 中心市街地のにぎわい創出　など

2 基本目標 市民が主役・共生のまちづくり

市民の柔軟で自由な発想・活力を引き出し、共にまちづくりを推進するとともに、誰もが住み慣れた地域の中で安心して暮らせるよう、人権を尊重し、つながりを持って支え合う共生のまち「米子」をめざします。

基本方向
- 市民参加及び民間事業者等との連携協力
- 障がい者（児）福祉の充実と共生社会の実現
- 鳥取大学医学部及び米子工業高等専門学校等との連携　など

3 基本目標 教育・子育てのまちづくり

安心して子どもを生み育てられるよう、子育て支援や学校教育の充実に取り組むことにより、未来のまちづくりを担う子どもたちが健やかでたくましく育つまち「米子」をめざします。

基本方向
- 子どもの特性や発達に合わせた適切で切れ目ない支援
- 学校施設の整備・充実
- ふるさと教育の推進　など

「住んで楽しいまち」とは、誰もが生きる喜びを感じられ、人生の充実感を得ることができるまちです。人生の喜びや充実感は、人が成長し、物事が前進し、まちが発展するときに感じられるものです。

米子市では、古くから「交通の要衝」と呼ばれた地の利を活かし、人々が進取の精神で物事に挑戦し、開放的な市民性とともに「商都米子」を築いてきました。

これからの時代に、米子市が21世紀に燦然と輝く地方都市として新たなる発展を遂げるためには、米子の人々が昔から大切にしてきた「挑戦する気概」や「開放的な市民性」を基にして、市民が共に生きる新しい商都を創り上げていくことが必要です。「新商都米子の創造」とは、このような市民の気概や市民性が大いに発揮されることで成し遂げられるものと考えます。

そして、これからの新しい挑戦の中で、人々が成長し、物事が前進し、まちの発展とともに市民が生きる喜びを感じ、人生の充実感を得られる「住んで楽しいまち　よなご」を市民と共に創ります。

住んで楽しいまち よなご

～新商都米子の 創造に向けて～

4 基本目標 地産外商・所得 向上のまちづくり

地域資源や地域産業をいかしたまちづくりを推進し、地産外商の取組等によりビジネスチャンスを広げ、地域全体で所得の向上を図ることで、稼げるまち「米子」をめざします。

基本方向
- 地元企業の振興と地域産業の活性化
- 皆生温泉のまちづくり
- 農業基盤整備の推進　など

5 基本目標 歴史と文化に根差したまちづくり

米子市の歴史・文化資源を保存・活用することにより、その価値や魅力を市民はもとより多くの方と共有し、にぎわいがあって、心豊かに暮らせるまち「米子」をめざします。

基本方向
- 米子城跡の保存・活用・整備と魅力発信
- 芸術文化活動の推進
- 淀江地域における歴史・地域資源の活用　など

6 基本目標 スポーツ健康まちづくり

スポーツに親しむことができる環境づくりや健康増進、フレイル※対策等に取り組むことにより、人生100年時代に誰もがずっと元気で健康に暮らせるまち「米子」をめざします。

※加齢により心身が衰えた状態のこと。運動・栄養・社会参加により、予防できるといわれています。

基本方向
- スポーツを通じた地域の活性化
- 生活習慣病予防の推進
- 介護予防・フレイル対策の推進　など

7 基本目標 災害に強いまちづくり

公共インフラ施設など快適な生活環境の整備や豊かな自然環境の保全を図り、また、市と市民が一丸となって防災・減災に取り組むことにより、快適で災害に強い安心・安全なまち「米子」をめざします。

基本方向
- 公共インフラ施設の整備
- 地域防災力の充実強化
- 環境保全活動の推進　など

（撮影者）中海水鳥国際交流基金財団

ち ず ち ょ う

智 頭 町

みどりの風が吹く疎開のまち

智頭町

智頭町は、鳥取県の東南に位置し、南と東は岡山県に接しています。周囲は1,000m級の中国山脈の山々が連なり、その山峡を縫うように流れる川が合流し、千代川となり、日本海に注いでいます。その昔から、長い歳月を経て、あの鳥取砂丘の砂を育んだ源流のまちです。

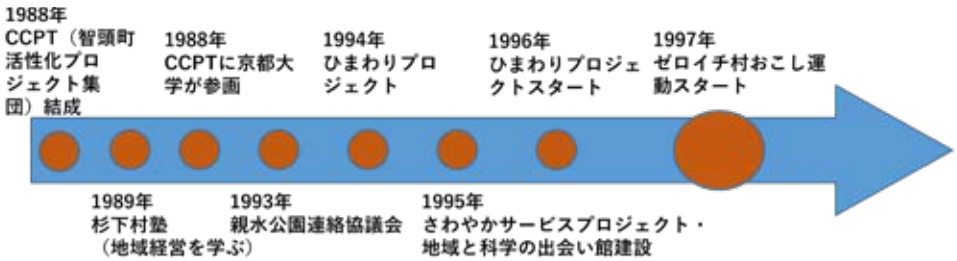
まちの総面積の９割以上が山林で、１年を通してまちを彩る植物や、美しい自然にあふれています。

出所：智頭町HP、観光サイト

資料提供
鳥取県　智頭町
〒689-1402
鳥取県八頭郡智頭町大字智頭2072-1
TEL：0858-75-4111

01 日本1/0（ゼロ分のイチ）村おこし運動

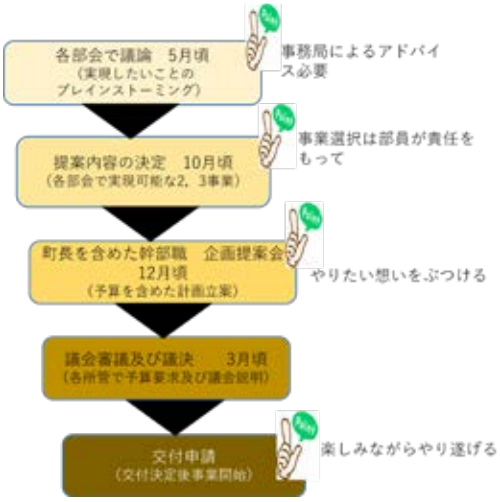
- 地域に眠っている資源を掘り起こし、磨くことで「宝」や「誇り」を作りだすだけでなく、「自分達の村は自分達で守る」という意識を醸成させることが狙い。
- 0から1、つまり、無から有への第一歩こそ村おこしの精神とするものである。保守的で閉鎖的・依存的な村社会の変革を図りながら、住民の意志に基づき、住民の参加によって行う「住民自治」を進めていくため、3本の柱により進めて行く運動。



02 百人委員会

智頭町の自立度を高めて、活力ある地域づくりを進めていくためには、町政へ住民の皆さんの声を反映していくことが必要であることから、平成２０年「智頭町百人委員会」が設置されました。

百人委員会は、住民が身近で関心の高い課題を話し合い、これを解決するための政策を行政に提案していく組織であり、智頭町ならではの住民自治の実践をめざします。



部会名	部員数	役場担当部署
商工・観光部会	18名	企画課
生活環境部会	9名	税務住民課
健康部会	6名	福祉課
林業部会	25名	山村再生課
特産農業部会	11名	山村再生課
教育・文化部会	12名	教育課
獣害対策部会	15名	山村再生課
智頭農林高校		企画課
智頭中学校		企画課

資料提供：鳥取県智頭町

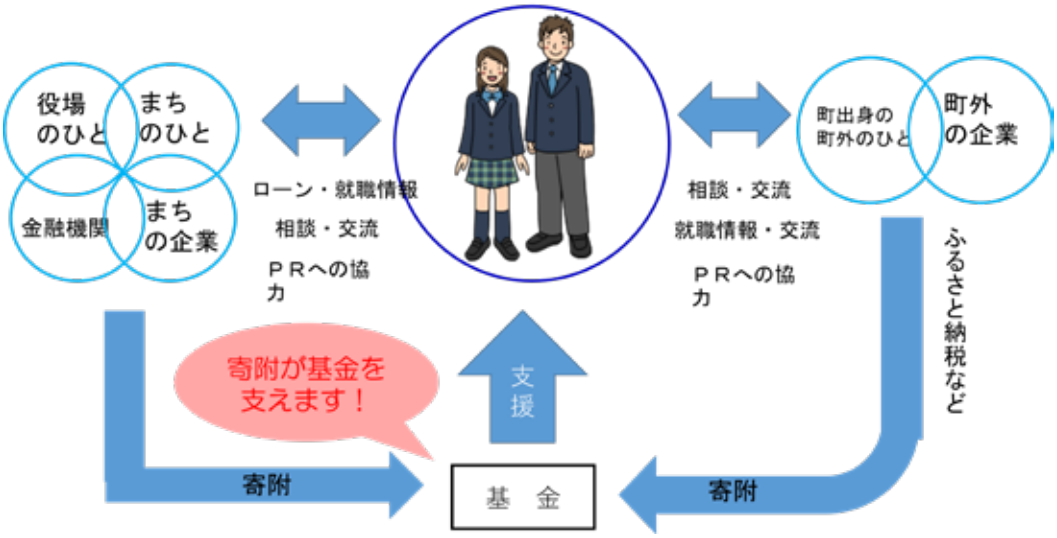
03 おせっかい奨学パッケージ

町外で生活しながら学ぶ子どもたちの生活を支援するため、おせっかい奨学パッケージを推進しています。おせっかい奨学ローンの返済相当額を町が補助。補助財源として、おせっかい奨学基金を設定しています。子供たちにメンターを付け、地域とのつながりを持ち続けてもらいながら、将来的にUターンにつなげていく取組です。

この事業を通して、本当の未来を担う若者たちとのつながりを支援していただく企業を求めています。

（6つの組み合わせ）

⓪おせっかい奨学登録制度	智頭町の中高生を登録 （現在３０名登録済※令和3年度）
①おせっかい奨学ローン	鳥取信用金庫と連携し、「奨学ローン」を提供
②おせっかい奨学金助成制度	●利子 利用者全員に全額助成 ●元金 Uターンした場合助成
③おせっかい基金造成	・地域の事業者、個人による寄付 ・企業版ふるさと納税
④おせっかい交流＆メンター制度	・役場職員メンターとのつながり ・インターンシップ →R3.8月～９月実施予定
⑤おせっかい就職＆起業支援事業	・地元就職・企業情報の発信 ・Uターンへ向けた総合的な支援



資料提供：鳥取県智頭町

はまだし
浜田市

住みたい　住んでよかった
魅力いっぱい元気な浜田
～豊かな自然、温かい人情、
人の絆を大切にするまち～

平成17年10月1日に、浜田市、金城町、旭町、弥栄村、三隅町の5市町村が合併し、新「浜田市」が誕生しました。

全国に誇れる海、山などの美しい自然と、石見神楽やユネスコの無形文化遺産に記載された石州半紙などの伝統文化、海水浴場、スキー場、しまね海洋館アクアスなど豊かな自然を活かした観光資源を有しており、また、高速道路、港湾などの都市基盤や大学、美術館をはじめとする教育文化施設が充実した、人と文化と自然の調和のとれた島根県西部の中核都市です。

出所：浜田市HP

資料提供
島根県　浜田市
〒697-8501
島根県浜田市殿町1番地
TEL：0855-25-9025
FAX：0855-22-8890

いま、私たちがしたいことはコレ！

国内サポーター：
島根銀行

01 産業振興と企業立地による雇用の創出事業

【具体的な事業】
- 農林水産業の振興
- 商工業の振興
- 観光・交流の推進
- 企業立地による雇用の推進
- 国際貿易港浜田港を活用した産業振興 等

02 子どもを安心して産み育てる環境づくり事業

【具体的な事業】
- 子どもを安心して産み育てる環境づくり
- 家庭教育支援の推進 等

03 U・Iターンや定住の促進とふるさと郷育の推進事業

【具体的な事業】
- 人がつながる定住環境づくりの推進
- 学校教育の充実
- 歴史・文化の伝承と創造 等

04 地域の特性を活かした安心して暮らせるはまだづくり事業

【具体的な事業】
- 健康づくりの推進
- 公共交通の充実
- 充実した都市基盤の整備
- 災害に強いまちづくりの推進

浜田市まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：浜田市HP

まつえし
松江市

水と緑、歴史と教育を大切にし
伸びゆく国際文化観光都市・松江

松江市は、観光スポットとして国宝松江城を保有し、京都、金沢と並び日本三大菓子、茶処として知られているまちです。また、出雲そばや島根県沖の日本海は寒流と暖流がぶつかる為、魚の種類も豊富であり、イワシ、サバ、ブリ、イカ、タイ、ノドグロ、カニ、マグロなど様々な海鮮が味わえます。

他にも様々な神社や出雲の国にゆかりのある古墳や公園といった歴史的な財産も保有しています。また、温泉も豊富であり、海岸を保有していることからも観光にはうってつけになっております。

出所：松江市HP、観光サイト

資料提供
島根県　松江市
〒690-8540
島根県松江市末次町86番地
TEL：0852-55-5555

『 夢を実現できるまち 誇れるまち 松江 』

Ⅰ しごとづくり
- RubyCityMATSUE プロジェクト 2.0 事業
- 地場農産物生産・消費拡大推進事業
- 松江水郷祭事業　等

Ⅱ ひとづくり
- 子育て AI コンシェルジュ事業
- 「夢☆未来」ふるさと・キャリア教育推進事業
- 多文化共生推進事業　等

Ⅲ つながりづくり
- UI ターン促進事業
- ミライソウゾウ会議開催事業
- 茶の湯文化振興事業　等

Ⅳ どだいづくり
- AI デマンドバス運行事業
- 子どもたちが遊びたくなる公園づくり事業
- シティプロモーション推進事業　等

Ⅴ なかまづくり
- 中海・宍道湖・大山圏域市長会事業
- 郷土行事等振興事業
- 国際博覧会観光誘客促進事業　等

MATSUE DREAMS 2030

MATSUE 起業エコシステム推進事業

松江市では、産学官金で連携した **MATSUE 起業エコシステムコンソーシアム**を設立し、オール松江で起業や新しい事業に挑戦される人を応援しています。

	R4	R5	R6	R7
新規設立法人数(社)	102	109	105	120（目標）

【事業内容】
- 起業に挑戦する仲間が集まるコミュニティ「MIX」の運営
- アイデア段階から試作までを一気通貫で支援する事業化支援プログラムの運営
- 「しまね未来共創チャレンジ（みらチャレ）」の共催

松江市総合体育館改修整備管理運営事業

本市では、**島根スサノオマジック**が 2026 年に開幕する NEW B.LEAGUE においても、引き続き松江市をホームタウンとして活躍してほしいという考えから、松江市総合体育館を **B.LEAGUE PREMIER 基準を満たすアリーナに改修**することといたしました。

【主な改修の内容】
- ●スイート・ラウンジの新設
- ●トイレの増設　●アリーナの LED 化
- ●既存トイレに温水洗浄便座を設置
- ●飲食関連施設の設置

ま す だ し
益 田 市

ひとが育ち　輝くまち　益田

益田市には清流日本一といわれる高津川があり、一級河川の中でも珍しくダムがないため、つねに新鮮で豊かな水量を湛え、たびたび増水することで川底を一掃し、清流が保たれおり、良質のコケが発生し、薫り高い鮎が生まれます。この天然の鮎は人気が高く、益田市の名産品です。

また、奥深い山中の最上流域は「ワサビ」の産地として有名です。このように益田市には水や緑の豊かな自然と、その恵みを大切に守りながら暮らす人々が織りなす、素晴らしい環境が残っているのです。

出所：益田市HP、観光ガイド

資料提供
島根県　益田市
〒698-8650
島根県益田市常盤町1-1
TEL：0856-31-0100

01 社会変化に対応できる持続可能なまちをつくる事業

【具体的な事業】
1. 次代を担う人材の育成・確保の推進事業
2. 協働のまちづくりの推進事業
3. 先端技術を活用した持続可能なまちづくりの推進事業ジェクト

02 定住の基盤となるしごとをつくる事業

【具体的な事業】
1. 次代の産業の担い手育成事業
2. 農林水産業・商工業などの活性化事業
3. 戦略的な観光の推進事業
4. 社会基盤整備による交流の促進事業

03 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

【具体的な事業】
1. 安心して結婚し、子どもを産み育てられる環境の整備事業
2. 学力の育成や教育環境の整備・魅力化の推進事業
3. 子育てや教育を支える人材の育成事業

04 益田に回帰・流入・定着するひとの流れをつくる事業

【具体的な事業】
1. U・Ｉターンの推進事業
2. ふるさと教育・ライフキャリア教育による人材育成事業

05 地域にあるものを活かし、安心して暮らせるまちをつくる事業

【具体的な事業】
1. 持続可能な地域づくりと地域を担う人材育成事業
2. 健康長寿のまちづくりの推進事業
3. 安全で安心な生活環境づくりの推進事業
4. 女性の活躍推進事業

益田市まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：益田市HP

やすぎし
安来市

人が集い未来を拓（ひら）く
ものづくりと文化のまち

安来市は島根県の東部、鳥取県との県境に位置しています。山陰における交通の要衝という恵まれた地勢において花開いた文化と産業の伝統が地域に脈々と受け継がれています。

どじょうすくいで有名な民謡安来節などの文化。山陰の覇者・戦国大名尼子氏の本拠地として栄えた歴史。世界的なシェアを有する高級特殊鋼を中心とした産業。海外からも高い評価を受ける足立美術館などの観光地。広大な農業地域として恵みをもたらす肥沃な平野。

文化・歴史・産業・自然…好奇心をくすぐるものがあふれるまちです。

出所：安来市HP、定住支援サイト

資料提供
島根県　安来市
〒692-8686
島根県安来市安来町878-2
TEL：0854-23-3000

いま、私たちがしたいことはコレ!

01 結婚・出産・子育てを支援し、女性の定着を図る事業

結婚活動への支援、子育て支援の拠点整備・包括的な相談体制の構築、放課後児童クラブの充実や保育料の軽減、子ども医療費の助成、ふるさと教育の推進等により結婚、出産、子育てを支援し、女性の定着と出生数の増加を図る事業

【具体的な事業】

- 結婚活動支援事業
- 不妊治療費助成事業
- 母子健康情報アプリ事業等

02 産業振興により、魅力ある雇用の場を創出する事業

企業誘致、企業立地の促進に向けた取組み、新規就農者の確保、地域資源を活かした観光振興や商業振興等、地域の主幹産業である鉄鋼業、農業はもとより多種多様な分野での産業振興に取り組み、市民の就業の場の確保や機会の充実を図る事業

【具体的な事業】

- 企業立地雇用促進事業
- サテライトオフィス事業
- 新規就農円滑化対策事業
- 誘客推進事業等

03 住環境を向上し、市民の定住意識を高める事業

公営住宅の整備や民間賃貸住宅家賃助成等による住宅の確保、道路ネットワークの整備や公共交通の充実、まちなかの利便性の向上や地域医療の確保・充実による住みよい環境の整備を行うとともに定住サポートセンターを設置し移住相談体制や情報発信の強化を行い、定住の促進を図る事業

【具体的な事業】

- 公営住宅整備事業
- 道路改良事業
- 定住サポートセンター事業
- 遠隔診療・遠隔相談事業等

04 多種多様で魅力的な地域を形成する事業

地域コミュニティの担い手の確保や育成、地域の拠点づくり、防災体制の整備により、市民が安心して暮らせる持続可能な地域づくりを行い、市民の安来市への愛着度を高めることに資する事業

【具体的な事業】

- 地域づくり推進事業
- 自主防災組織支援事業
- 出張市役所サービスの導入事業等

安来市まち・ひと・しごと創生推進計画
出所:島根県　安来市

いずもし
出雲市

だれもが笑顔になれるまち

出雲市は島根県東部に位置する人口約172,000人（令和7年3月末）のまちです。

全国的には『縁結びのまち』として有名で、毎年旧暦の10月「神在月」には全国の神様が出雲の地に集まります。海や山や湖に包まれているため、豊かな自然が暮らしのすぐそばにあります。

また、子育て施設や病院、ショッピングモールへのアクセスもしやすく、近年は住みやすいまちとして子育て世代の皆さんに選ばれています。

出雲市では「誰もが笑顔になれるまち」の実現に向け、「みんなが活躍する」「地域の魅力を活かした」「持続可能な」まちづくりに取り組んでいます。

出所：出雲市HP、出雲縁結びプロモーション

資料提供
島根県　出雲市
〒693-8530
島根県出雲市今市町70番地
TEL：0853-21-6614

いま、私たちがしたいことはコレ！

国内サポーター：
島根銀行

01 出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する事業

農林水産業や観光産業などにおいて地域資源を生かした産業の活性化や、地場中小・小規模企業の振興施策の推進により、地場産業の経営基盤の強化を図り、若者にとって魅力ある多様な雇用の場を創出する事業
また、市内事業所の人材確保の取組を支援する事業

【具体的な事業】
- 新規就農者の確保と多様な担い手の育成
- 「出雲」のブランド力を活用した商品の販売促進　等

02 出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる事業

移住希望者等に対し積極的に情報発信を行い、認知度向上やイメージアップを図るとともに、就職支援をはじめとした支援体制の充実や空き家の利活用等により移住・定住の促進を図る事業
また、出雲の魅力ある観光資源を効果的に組み合わせた取組を展開する等、何度でも訪れたい観光のまちを目指す事業

【具体的な事業】
- UIJターン＆定住応援事業
- 観光誘客の推進　等

03 出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる事業

出会いの場の創出など結婚を望む方への支援や、ライフステージに沿った相談体制の整備、子育てに要する経済的負担の軽減など、安心して子どもを生み、育てられる環境の充実のほか、教育環境の充実、ワーク・ライフ・バランスの確保等、若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえることに資する事業

【具体的な事業】
- 縁結びプロジェクト（結婚支援）の推進
- 妊娠、出産、子育てへの切れ目ない支援の充実　等

04 活力にあふれ、住みやすさ№１のまちづくりを進める事業

防災・減災に向けた取組の推進、高齢者や障がい者の社会参加への支援、多文化共生社会の実現に向けた取組の推進、スポーツ・芸術文化の振興を通したまちの魅力の創出、地域の未来を担う人材の育成、中山間地域の活性化、交通ネットワークの確保、未来に向けた脱炭素社会の実現、環境保全の推進、若者の夢や希望がかなえられる、高齢者、障がい者、外国人住民の誰もが生き生きと活躍できる、そしてどこに住んでいても安全、安心に暮らせるまちづくりに資する事業

【具体的な事業】
- 多文化共生社会の実現に向けた取組の推進
- 地域住民による地域課題解決に向けた取組に対する支援　等

まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：出雲市

おおだし
大田市

子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち“おおだ”

大田市は島根県の東西の中央部の日本海側に位置しており、県西部の「石見文化」と県東部の「出雲文化」が混在する文化的共通性を持ち、中世から近世にかけて石見銀山の盛衰に大きな影響を受けた地域です。
数多くの史跡や文化財が残っており、「石見銀山遺跡とその文化的景観」は日本では鉱山・産業遺跡として初の世界遺産に登録されました。
また、大山隠岐国立公園に属する三瓶山がもたらした様々な”めぐみ”により構成される日本遺産「石見の火山が伝える悠久の歴史～”縄文の森”“銀（しろがね）の山”と出逢える旅へ～」や、地域の伝統芸能でありながらも、時代の変化を受容し発展を続けてきた”神楽”によって構成される日本遺産「神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見地域で伝承される神楽～」など、多くの地域資源にあふれるまちです。

出所：島根県　大田市

資料提供
島根県　大田市
〒694-8502
島根県大田市大田町大田口
1111 番地
TEL：0854-82-1600

ア　多様で活力ある産業をつくる事業

若者の定住を促進するため、魅力ある働き場を創出する

(ア) 地域経済が活性化する環境づくり
- a. ＪＲ大田市駅前周辺の中心市街地の活性化
- b. 大田の魅力ある「食」による経済活性化

(イ) 企業の振興による活力ある地域づくり
- a. 中小企業・小規模企業の振興
- b. 新産業・新ビジネスの創出
- c. 起業・創業の推進
- d. 事業継承の推進

(ウ) 世界から愛される観光都市づくり
- a. 三瓶山観光戦略の再構築と石見銀山遺跡の活用
- b. 受け入れ環境整備、サービスの充実と効果的な情報発信
- c. 観光人材の育成と体制づくり
- d. インバウンド（訪日外国人旅行）対策の推進

(エ) 稼ぐ農林水産業による地域経済の活性化
- a. 農業・畜産業・漁業の生産振興と生産基盤の整備
- b. 循環型林業の推進と林業・木材産業の成長産業化
- c. 担い手の確保・育成
- d. 特産品づくりと6次産業化・販路拡大

(オ) 若者を引きつける多様な働き場の創出
- a. ＩＴ企業・製造業などの企業誘致
- b. インフラ環境の充実

(カ) 未来を担う産業人財の育成と雇用確保
- a. 地域経済をけん引する経営者の育成
- b. 企業を支える人財の育成と雇用確保対策

大田の「大あなご」

産業づくり

イ　ふるさとを愛する豊かな心をつくる事業

ふるさとへの愛着と誇りを醸成し、地域の魅力を次世代につなげる

(ア) ふるさと愛と生き抜く力を育む学校教育の推進
- a. 教育の魅力化
- b. 教育機会の確保
- c. 教育環境の整備・充実

(イ) 主体的に地域を担う人材の育成
- a. 学校・家庭・地域がともに進める人材の育成

(ウ) 自然、歴史、伝統文化の継承と魅力向上
- a. 自然、歴史、伝統文化の活用
- b. わが里を愛する意識の向上と人材育成

(エ) 芸術文化の振興
- a. 交流を育む芸術文化活動の推進

(オ) スポーツ活動を通じた心身の健康と充実したスポーツライフの推進
- a. 多様なスポーツ活動の推進

(カ) ふるさとの自然と文化を活用した交流の推進
- a. 山村留学の推進
- b. 関係人口の拡大

「夕日の舞」福光海岸

山村留学センター

豊かな心づくり

住みよい
暮らしづくり

ウ　だれもが住みよい暮らしをつくる事業

子育てしやすい環境や安心して暮らし続ける環境を整備する

(ア) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり
- a. 結婚支援、妊娠・出産の支援
- b. 保育環境の整備と充実
- c. 一人ひとりに合った子育て・子育ち支援

(イ) 生涯を通じた健康づくり
- a. 市民一人ひとりの健康づくりと地域全体で取り組む健康づくり

(ウ) 地域を守る医療体制の充実
- a. 地域医療の確保・体制の充実

(エ) 地域の支え合いの中で安心して暮らし続けることができる社会実現
- a. 地域福祉の推進
- b. 高齢者福祉・障がい者福祉の推進

(オ) 心豊かに誇りをもって共に暮らせる社会の実現
- a. 人権施策の推進
- b. 男女共同参画社会の実現
- c. 多文化共生社会の実現

おおだ子育てにかかる総合支援拠点施設（仮称）イメージ

持続可能な
まちづくり

エ　協働・共創により持続可能なまちをつくる事業

UIターン者の定住を促進するとともに、協働・共創による持続可能なまちづくりを進める

(ア) 小さな拠点づくりの推進
- a. 地域課題解決の仕組みづくり
- b. 地域運営組織の育成
- c. 拠点施設の整備

(イ) 移住・定住の推進
- a. 若者・女性の定住促進
- b. ふるさと回帰への取り組み
- c. さまざまな媒体や機会を利用した情報発信
- d. 空き家バンクの活用促進

(ウ) 災害に強いまちづくりの推進
- a. 消防・防災体制の充実と強化、防災意識の啓発

大田市まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：島根県　大田市

びぜんし
備前市

備前×美膳 BIZEN×BIZEN
海とみどりと炎のまち
～ひとが元気、笑顔あふれる～

備前市は、備前焼の産地として知られ、耐火煉瓦の製造やカキ養殖業が主幹漁業として盛んな都市です。古くから焼物のまちとして発展してきた備前市は、今、ファインセラミックなど、未来を見つめた製品の開発 に力を注いでいます。現在、耐火物の生産量は、全国生産量の約3割強を占めています。

瀬戸内海国立公園をはじめとする風光明媚な景観や備前焼、旧閑谷学校などの伝統文化、さらには山海の豊富な幸など、素晴らしい資源に恵まれています。

出所：備前市HP

資料提供
岡山県　備前市
〒705-8602
岡山県備前市東片上126番地
TEL：0869-64-3301

岡山県 備前市

みんなでつくる「教育のまち」プロジェクト

目的

・子どもや子育て世帯を応援する社会が形成され、地域の人に見守られながら、子どもが健やかに育っていくまちを目指します。
・市民一人ひとりが楽しく学び、成長し、教育（人づくり）を担い、人口減少の抑制やまちのにぎわい（地域活性化）を目指します。

事業内容

・英語教育の推進事業
・ＧＩＧＡスクール構想の推進（ICT事業）
・放課後児童クラブ新設事業
・「こども応援フェスタ」開催
・「総合芸術文化祭」開催

成果

子育て支援・教育で地域に活力を

- 安定的で質の高い教育
- 多世代交流
- 安心・平等な子育て環境
- まちの魅力度向上

ご賛同いただける企業の皆様、ご支援よろしくお願いします！

01 英語教育推進事業

【事業予算額：14,702千円】
外国語教育環境を効率的に活用するため、ALT全校配置のメリットを活かした授業を一層推進する。今年度、新たに保育園、認定こども園へのALT派遣により英語教育の一層の充実（園生活の中での英語に触れる体験）を図りながら小学校への接続を推進する。

02 GIGAスクール構想の推進(ICT事業)

【事業予算額：62,502千円】
GIGAスクール構想において、ICT活用が本格化する中、効率的な学習を体制の強化が必要となっている。
今年度、効果的・効率的な運用を目指すため、ICTサポート業務を委託し専門的な知見により迅速な対応体制を整える。

03 放課後児童クラブ新設事業

【事業予算額：77,506千円】
放課後児童クラブの利用者に対して、施設が手狭となっている学校区の放課後児童クラブについて、受け入れ人数の増加に対応するため施設を新築し、子どもたちが安心して放課後を過ごせる環境を整える。

04 「子ども応援フェスタ」開催

【事業予算額：2,200千円】
安心して子どもを産み育てることができる社会づくりについて、市民や関係者が共に考える機会を提供し、子育てに夢を持て、次世代を担う子どもたちが健やかに育つ環境を推進する。

05 「総合芸術文化祭」開催

【事業予算額：2,476千円】
芸術鑑賞機会を提供するとともに、芸術の創造とその発展をはかり、もって芸術文化の振興を図ることを目的とし、市民でつくる総合芸術文化祭を実施する。
具体には、キッズからシニア、アマチュア、プロも含め全市民を対象に広く芸術や生活文化を含むイベントを開催する。

備前市まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：備前市HP

いばらし
井原市

輝くひと　未来創造都市　いばら

井原市は、の西南部に位置し、西は広島県に接しています。高梁川支流の小田川が、地域の南部を西から東へ貫流し、その流域の平野部に市街地が形成されています。デニムの聖地としても知られ、繊維業や電子工業などが主たる産業として知られています。

北部（美星エリア・芳井エリア）は、周りを山に囲まれた地域。農業が盛んで、のどかな里山暮らしを楽しめます。南部（井原エリア）は、主要道路やローカル線など交通の拠点となるエリア。周辺都市部へのアクセスが良好で、通勤・通学に便利な、ほどよいまち暮らしが実現します。

出所：井原市HP、移住・定住支援ポータルサイト

資料提供
岡山県　井原市
〒715-8601
岡山県井原市井原町311番地1
TEL：0866-62-9521

井原市

いま、私たちがしたいことはコレ！

企業版ふるさと納税活用事業 ①

いばらブランドの育成・ＰＲ

稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるまちをつくる！

地場産業であり、世界のハイブランドからも高い評価を得ている井原デニムをはじめ、特産品である葡萄や明治ごんぼうなど、品質のさらなる向上によりブランド化を図るとともに、異業種連携プラットフォームを構築し、企業の異業種連携による新製品等の開発から販路の確保までを一貫して支援することで、攻めの経営を後押しし、稼ぐ力の向上と安心して働けるまちづくりに取り組みます。

寄附活用事業の概要　**令和７年度事業費　１６，３５０千円**

★ 井原デニムによる地域活性化事業 1,950 千円

綿の種を無料で配布し、各家庭で綿花栽培に取り組んでもらい、市内の事業者や県立井原高等学校の生徒、ボランティアが、収穫した綿で井原ハートフルデニムバッグを製作。毎年、市内の小学校へ入学する子供たちにお祝いとしてプレゼントしています。また、井原デニムを活用した体験型のイベントを開催するなど、地域活性化に取り組みます。

★ いばら農産物産地化支援事業 4,400 千円

冬ぶどうをはじめ、明治ごんぼう、薬用作物の産地確立に向けて取り組む団体やワイン産業・農産物の６次化に取り組む事業者に対して補助金を交付し、その取り組みを後押しするとともに、農業後継者の就業を支援することで農業の担い手の確保と育成を図ります。

★ 産業支援・異業種連携促進事業 10,000 千円

企業が持つ事業計画や成長戦略を、スピード感を持って具現化する等の後押しを行うとともに、企業が業界を超えて連携する「異業種連携プラットフォーム」を構築し、異業種連携による新商品等の開発から販路の確保までを一貫して支援することで、本市の産業集積や成長発展を促進します。

企業版ふるさと納税活用事業 ②

関係人口の創出といばらぐらしの推進

つながりを築き、井原市への新しいひとの流れをつくる！

星空版の世界遺産と称されるダークスカイ・インターナショナルの「星空保護区・コミュニティ部門」にアジアで初めて認定された美星町の美しい星空などの地域資源に磨きをかけ、戦略的な情報発信により関係人口の創出を図るとともに、移住体験や住環境の確保支援など、移住者に魅力ある住宅施策を実施し、定住人口の増加を図ります。

寄附活用事業の概要　**令和７年度事業費　８０，７２９千円**

★ シティプロモーション事業 8,000 千円

特産品をはじめ、地場産業、文化、美しい自然等の優れた地域資源などを、市内外、国内外に向けて戦略的に発信することで、市民には愛着と誇りの醸成を、市外の方には本市の認知度及びイメージの向上を図ります。

★ ＤＭＯ設立支援事業 7,000 千円

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔となる法人組織（ＤＭＯ）の設立を支援します。

★ 星の郷まちづくり推進事業 2,229 千円

国際的な認定制度「星空保護区・コミュニティ部門」のアジア初認定(R3.11.1)を受けて、観光ＰＲイベントへの出展、国内認定地との連携による啓発活動など、官民一体となった取組を推進していきます。

★ いばらＬＩＦＥスタート応援メニュー 63,500 千円

移住者住宅新築等補助金、中古住宅活用補助金、就職者等移住支援補助金、分譲宅地開発助成金など、計８事業により、住居の確保を支援し移住定住を促進します。

企業版ふるさと納税活用事業 ③

未来を担うひとづくりの推進

自分と井原への確かな『ＩＤentity』をもった人財【井原“志”民】の育成

★自分とふるさと井原を愛（Ｉ）する"ひと"

★よりよい未来のために実行（Do）する"ひと"

星空版の世界遺産と称される「星空保護区（コミュニティ部門）」にアジアで初めて認定された井原市美星町では、地域住民が一体となって世界に誇れる星空環境を守る取組を行っています。

そうした「志（思い）」を子どもたちに受け継ぐとともに、子どもたちがふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと」に出逢い、地域の大人たちと一緒に新たな仕掛け・価値の創造や、抱える課題の解決に参画することで、持続可能な“まちづくり”を支える“ひとづくり”を進めます。

寄附活用事業の概要　**令和７年度事業費　１４，２００千円**

★ ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業 12,200 千円

官学産民の代表者及び有識者で組織した井原市ひとづくり実行委員会を立ち上げ、地域や学校、家庭、企業等が連携・協働して、ふるさと井原を自らの活躍の場として選んでよりよい未来を創り出そうとする高い志と熱い想いをもった〈井原“志”民〉の育成と〈志縁コミュニティ〉づくりに取り組みます。

柱１：ひとづくりのまち「井原」の発信
まち&ひとづくりフェスタの開催、夢&志づくり応援 Laboratory『ゆめここ☆ラボ@井原』による共学共創コミュニティの形成等（井原“志”民塾、“夢&志”アクション助成等）

柱２：社会に開かれた教育課程の実現
ふるさと教育・起業家教育の視点を取り入れたカリキュラム・マネジメントの促進等

柱３：地域社会・企業との連携
地元企業・事業所との連携による地場産業魅力発信プログラムの開発・導入等

柱４：高等学校及び大学との連携
高校生・大学生の活躍の場の創出、大学との連携促進等

柱５：家庭教育の支援
ライフステージに応じた子育て講座、子育てサポーターの養成等

柱６：読書活動の推進
絵本ガイドブックの作成、絵本作り講座及び読み聞かせ講座の実施等

★ いばら就職支援事業 2,000 千円

ワーク＆ライフキャリア教育を重視したインターンシップや合同企業説明会を開催します。

第2期 井原市まち･ひと･しごと創生推進計画
出所：岡山県　井原市

企業版ふるさと納税活用事業 ④

子育てしやすい環境づくり

結婚・出産・子育ての希望をかなえる！

本市の合計特殊出生率は全国平均、岡山県平均ともに下回っています。
このため、若者に出会いや交流の場を提供するほか、妊娠・出産・子育て期の保護者への相談・支援体制の充実、子育ての費用負担軽減に努めるなど、結婚・出産・子育てがしやすい環境づくりに取り組みます。

寄附活用事業の概要　**令和７年度事業費　３７７，６２５千円**

★ 出会いと交流の場づくり事業 500 千円
出会いや交流の機会が減少した若者たちの仲間づくり、絆づくりの場を創出します。

★ こども家庭センター運営事業 33,746 千円
妊娠期から子育て期のこどもと家族からの相談を、保健師や社会福祉士等の専門職が、関係機関と連携して切れ目のない支援を行います。

★ つどいの広場事業 9,485 千円
乳幼児の親子や乳幼児同士が交流し、子育て中の保護者が子育てアドバイザーや保護者同士で気軽に相談できる憩いの場を提供します。

★ 保育園・幼稚園保育料等無償化事業 153,894 千円
国の無償化対象とならない園児の保育料及び給食副食費を市独自に完全無償化し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

★ 子ども医療費無償化事業 180,000 千円
満 18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日まで、医療費の自己負担分を無償化（小学生通院、中学生から 18 歳までの入通院を市独自で無償化）し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

企業版ふるさと納税活用事業 ⑤

子どもの教育環境の充実

子どもたちの豊かな心の育成と学力向上を図る！

これからの情報化社会の進展に対応できる人材を育成するため、ＩＣＴ機器を活用した教育を推進し、子どもたちの学習意欲を高めるとともに、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。
また、複数教職員による指導により、教員の教材研究の時間確保、指導内容の充実ときめ細かな指導に努めます。

寄附活用事業の概要　**令和７年度事業費　２９８，０３９千円**

★ 学校ＩＣＴサポート体制整備事業 22,900 千円
市内全ての小・中学校、市立高校、大山塾へＩＣＴ支援員を配置して、ＩＣＴ教育の推進を図ります。

★ 学習支援員の配置　101,994 千円
学習支援員（42 名）を配置して、通常学級に在籍し、一人での学習が困難な児童・生徒に対するサポートを行います。

★ 学習者用端末整備事業 154,000 千円
令和 2 年度に整備した学習用端末(一人一台)を更新し、ＩＣＴ機器を活用した教育を推進することで主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。

★ いばらっ子伸びる学力支援事業 19,145 千円
少人数指導及び専門性を生かした学習指導を充実させるため、小・中学校に非常勤講師を配置します。また、学校生活のスムーズなスタートに向け、小学校 1 年生の 30 人以上の学級に小 1 支援員を配置します。

企業版ふるさと納税活用事業 ⑥

ひとが集い安心して暮らせる魅力的な地域づくり

多様な協働の仕組みづくりや持続可能なまちづくりを進める！

市民の皆様と行政が連携し、互いの役割分担を図りながら、地域が自主的、主体的に活動することができるよう、協働によるまちづくりを推進します。
また、「自助・共助・公助」が連携し、災害に強いまちづくりを進めるとともに、利便性の高い公共交通の確保に努め、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

寄附活用事業の概要　**令和７年度事業費　２３６，１８１千円**

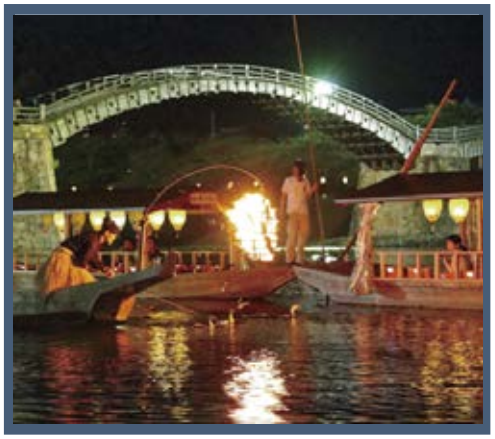
★ 協働のまちづくり事業 30,141 千円
市内小学校区単位に設立された「地区まちづくり協議会」の運営及び地域課題の解決やよりよい住民生活を送るために「地区まちづくり協議会」が企画立案し実施するまちづくり事業を支援することで、住民の皆様が「住んでいてよかった、住み続けたい」と思えるまちの実現を図ります。

★ 災害に強いまちづくり 4,367 千円
地域における自主的な防災活動を推進するため、自主防災組織等が実施する資機材整備事業等を支援するとともに、地域の防災リーダーとなる「防災士」の資格取得を支援します。また、南海トラフ地震における目標備蓄量を確保するため、非常用食糧及び災害応急物資を整備します。

★ 利便性の高い公共交通の確保 201,673 千円
誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を保つため、鉄道井原線や路線バス、市内循環バスの運行を支援するほか、地域の生活交通として予約型乗合タクシーを運行し、公共交通の確保・維持を図ります。

第2期 井原市まち･ひと･しごと創生推進計画
出所：岡山県　井原市

いわくにし
岩国市



豊かな自然と都市が共生した活力と交流にあふれる県東部の中核都市

岩国市は、国指定の名勝である木造橋「錦帯橋」を有する自然豊かなまちです。

錦帯橋は、5連アーチの反り橋構造をしており、この構造は1673年に創建されたのにかかわらず、現代の橋梁工学からみても日の打ちどころがないといわれるほどであり、その構造と周囲の豊かな自然によって色鮮やかな景観を 楽しむことができます。また、錦帯橋では夏に鵜飼が行われております。

また、国の天然記念物「白ヘビ」の生息地としても知られており、市内では白ヘビの博物館が作られており、保護、養殖に努めています。

出所：岩国市HP、観光サイト

資料提供
山口県　岩国市
〒740-8585
山口県岩国市今津町1丁目14-51
TEL：0827-29-5000

岩国市

いま、私たちがしたいことはコレ！

1．乗合タクシー「よべるん」運行プロジェクト

乗合タクシーの運行

路線バスに替わる新たな地域公共交通機関として、乗合タクシーを運行します。

2．ブランド牛産地づくりプロジェクト

岩国ブランド牛産地づくり

優良で血統の良い雌牛を市有牛として購入し、貸付けを行い、黒毛和種繁殖雌牛の改良増殖を促進し、岩国和牛としてのブランド化の基盤作りを行います。

3．岩国のお土産統一ブランド「つまんでちょんまげ」プロジェクト

特産品の地域ブランド化

統一ブランド商品「つまんでちょんまげ」を軸とした特産品のブラッシュアップ、販路拡大、プロモーション等を行います。

4．錦帯橋保存管理事業

錦帯橋の継承

錦帯橋の技術と美しさを広く情報発信することにより、後世に伝えていくための取り組みを進めます。

※100万円以上の寄附で感謝状贈呈式を行っております。

岩国市まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：岩国市HP

よしのがわし

吉野川市

世代を越えて、夢紡ぐまち
新・生活創造都市
まかせてみんで！吉野川市

吉野川市は藍より青し吉野川とうたわれた、四国三郎「吉野川」を有するまちです。

吉野川は四国のいのちとして全長194ｋｍと日本でも有数の大河であり、市内の吉野川には各時代を象徴した橋が架かりその風景は橋の博物館ともいわれています。また、ニンニク、すだち、ぶどう、ゆず、みょうがといった名産品の生産にも優れています。

また、市民が生き生きと活動する利便性の高いまちづくりを目標に子育て世代が住みやすいように図書館やアリーナ、トレーニング施設、地域スポーツクラブ等を複合した吉野川市市民プラザを設立し、ベッドタウンとしての需要が高まっています。

出所：吉野川市HP

資料提供
徳島県　吉野川市
〒776-8611
徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL：0883-22-2222
FAX：0883-22-2244

吉野川市

いま、私たちがしたいことはコレ！

国内サポーター：
徳島大正銀行

吉野川市では人口減少に歯止めをかけ、持続可能な地域社会を実現するため、『第２期吉野川市まち・ひと・しごと創生総合戦略』に基づき、地方創生事業に取り組んでいます。
企業の皆さまのご支援をよろしくお願いします。

吉野川市の地方創生に向けた取り組み

●しごとをつくり、安心して働けるようにする事業

創業・起業支援や企業誘致などの新しいしごとづくりや地域の商工業の活性化に資する取組みを進め、地域の雇用の場を確保して安心して働ける環境づくりを進める。

【具体的な事業】
・商業地域活性化支援事業・吉野川市コワーキング・シェアオフィス（Ｋｉ－Ｄａ）の運営
・ＹＹターン移住創業支援事業　等

●ひとの定住・環流・移住の新しい流れをつくる事業

市移住コーディネーターと連携した移住者の受入体制のさらなる充実を進め、若者世代の定住人口の増加・転出抑制や県外からの移住促進を図り、地域の活性化や各分野の担い手確保を進める。さらに、本市の魅力を発信し、本市を訪れる交流人口の増加や本市とのつながりのある関係人口の増加に向けた取組みを推進する。また、定住促進に資する情報や市の魅力を発信する。

【具体的な事業】
・ホームページ等による情報発信・ＦＣ徳島スポーツクラブのホームタウン推進事業
・中山間地域交流拠点事業　等

●若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる事業

働きながら子どもを産み育てやすい環境づくりを推進し、若い世代の結婚、妊娠、出産、子育てに関する希望が実現できるよう、切れ目のない支援体制を構築する。
また、小・中学校においては、未来を担う子どもたちが時代に適応し活躍できるよう基礎学力向上の取組のほか、ＩＣＴを活用した教育の推進や英語学習の強化を推進する。

【具体的な事業】
・特定不妊症治療費助成事業（母子保険事業）・子育て世代包括支援センター事業
・ＧＩＧＡスクール構想による一人一台端末等の個別最適化された学びの推進　等

●持続可能なまちをつくる事業

人口減少が進む中、持続可能なまちづくりのため、まちを支えるひとづくりや地域力の強化、令和２年に完成したアリーナを最大限活用したスポーツ・健康まちづくりの推進、既存施設のストックマネジメントの推進や災害に強いまちづくりを進める。
また、高齢化が進む中、地域交通の確保を図り、安心して暮らせるまちづくりを進める。

【具体的な事業】
・消防団運営事業・企業及び大学との連携協定に基づく事業
・高齢者等外出支援タクシー料金助成事業　等

●多様な人材の活用を推進する事業

地方創生の実現は、取組みを担う多様な人材の活躍によってもたらさせるため、本市地方創生の基盤を成す多様な人材（市職員を含む）の活躍を推進するとともに、市と市民による協働のまちづくりを推進する。また、地域コミュニティは、まちづくりの根幹をなすものであり、共助・互助の考え方も踏まえ、つながりを持って支え合う体制づくりがこれからの急激な人口減少社会の中で重要となっていく。このことから、地域コミュニティの維持・強化の取組みを推進する。

【具体的な事業】
・市民提案型まちづくり推進事業・自治会加入促進事業　等

吉野川市まち･ひと･しごと創生推進計画

こまつしまし

小松島市

未来へ輝く希望と信頼のまち こまつしま

小松島市は、徳島県東部の沿岸に位置し、かつては「四国の東門」と呼ばれ、いまでもコンテナターミナルや10万トン級のクルーズ船も停泊する四国を代表する、小松島港という天然の良港を持つ港湾都市です。

また、その地形を活かした、物資流通の拠点都市としてのまちづくりに取り組んでいます。全国有数の鱧（はも）の水揚げ量を誇っており、ちりめ ん漁やわかめ養殖も盛んに行われています。他にも、全菌床しいたけやオクラ、みかんをはじめ、様々な農作物、海産物の生産を行っております。

また、古くから狸伝説が多く残るまちで知られています。これは、民話「阿波狸合戦」に由来しており、神社やまちのいたるところに狸が居り、多くの人々が参拝、観光に訪れます。

出所：小松島市HP、観光サイト

資料提供
徳島県　小松島市
〒773-8501
徳島県小松島市横須町1番1号
TEL：0885-32-2111

親子が安心して遊べる空間づくり

◎「本港地区活性化プロジェクト」
目標金額：8,000千円

徳島小松島港本港地区のにぎわい創出を図るため、地区全体のリデザインとしての基本計画策定を行います。
また、親子が安心して遊べる「場」づくりを進めてまいります。

直面する課題

■ **施設の老朽化への対応**
・施設更新と配置の検討による利用促進

■ **植栽の適正化**
・緑の量と景観だけではなく明るさや風通しなど利用面や維持管理面への配慮

■ **安全・安心の向上**
・防犯面に配慮した地域防災計画に基づいた防災機能の確保

■ **バリアフリーへの配慮**
・バリアフリー、ユニバーサルデザイン政策大綱等に配慮した利用目線による見直し

■ **レクリエーション機能の改善**
・子どもの遊びなど、地域のニーズを捉え、特色ある機能強化や地域活動に寄与する新たな機能
・利用が少ない空間や施設などの改善を検討

■ **機能の連携**
・本港地区と小松島ステーションパーク、図書館などの機能の分担などの連携強化
・本港地区と公園、図書館との一体的な利用

子どもの教育環境の充実
◎「外部人材活用事業」
スポーツや芸術等、様々な分野において、専門性、技術性の高い講師を招へいします。

子育てと両立しやすい職場環境づくり
◎「雇用対策推進事業」
子育てと仕事の両立を図るためのテレワーク普及推進や、新たな雇用創出の企業誘致等に取り組みます。

子育て世代向けイベント等の開催
◎「地方創生推進事業」
出会いの場の創出イベントや絵本をテーマにしたイベントを開催します。

小松島市にご寄附いただくと
こんなメリットがあります！！

〇感謝状の贈呈
〇感謝状贈呈式の開催（市長出席）
〇市HPでの企業名の掲載等（贈呈式の様子等も含む）
〇市広報誌での企業名の掲載等（贈呈式の様子等も含む）
〇県内報道各社へプレスリリース
〇施設整備事業への寄附の場合、銘板等への企業名の掲示
（※寄附金額や施設規模、内容により大きさや材質等は事業担当課と要相談）

とくしまし

徳島市

おどる街 つながる笑顔 水都とくしま

徳島市は阿波おどり、人形浄瑠璃、藍染・阿波しじら、木工製品、すだちなど、徳島の風土と歴史が育んだ個性的な文化を有しているまちであり、「四国三郎」と呼ばれる吉野川をはじめ、大小合わせて134本の河川が流れており、古くから水運が発達し、それらを活かした藍産業を中心に全国有数の商業都市として発展しております。そのため川と共に発展してきた「水都」でもあります。

また、数多くのご当地グルメやスイーツがあり、その中でも豚バラや生卵をトッピングしたスープに茶系、黄系、白系などの種類のある「徳島ラーメン」や甘く煮た金時豆を入れた「豆天玉」が人気になっております。

出所：徳島市HP、観光サイト

資料提供
徳島県　徳島市
〒770-8571
徳島県徳島市幸町2丁目5番地
TEL：088-621-5111
FAX：088-654-2116

徳島市

いま、私たちがしたいことはコレ！

国内サポーター：
徳島大正銀行

政策１　「魅力あふれる都市空間の創造」に資する事業　～ 市街地、自然景観、環境 ～

住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、都会的な利便性と自然が調和した「魅力あふれる都市空間の創造」に取り組みます。

具体的な施策

- コンパクトで機能的なまちづくり
- 多機能な都市空間の創出
- 環境の保全と向上
- 循環型社会・廃棄物処理の推進
- 汚水対策の推進

令和7年度に実施する主な取組

LEDによる景観整備

地域資源であるLEDを活用した景観整備に取り組み、徳島市の魅力ある夜間景観を創出します。

眉山未来プロジェクト

徳島市のシンボルである眉山の魅力アップを図るため、ハード・ソフトの両面から整備を行います。

ゼロカーボンシティの推進

ゼロカーボンシティの実現に向けて、再生可能エネルギーの導入拡大など、脱炭素まちづくりに取り組みます。

政策２　「持続可能な徳島経済の創出」に資する事業　～ 産業、労働、関係人口 ～

人口減少・少子高齢化による地域経済の縮小などの諸課題に対応し、将来にわたって「持続可能な徳島経済の創出」に取り組みます。

具体的な施策

- 農林水産業の振興
- 商工業等の振興
- 働く環境づくりの推進
- 観光・交流の促進
- 全国との多様なつながりの拡大

令和7年度に実施する主な取組

とくしま動物園の魅力創出

とくしま動物園のイベント等を充実させるほか、入園者施設及び動物福祉に配慮した獣舎等の整備を推進します。

インバウンドの誘客

大阪関西万博の開催を見据え、県とも連携して海外でのPRを行うとともに、外国人旅行客の受入体制を整備します。

SDGs未来都市の実現

水都とくしまの象徴であるひょうたん島周遊船の電動化など、SDGs未来都市の実現に向けた取組を推進します。

政策３　「安全安心な生活環境の整備」に資する事業　～ 消防・防災、防犯、インフラ ～

災害時を想定したインフラ整備や防災力の向上、防犯対策・消費者教育の推進など「安全安心な生活環境の整備」に取り組みます。

具体的な施策

- 防災・減災対策の推進
- 消防・救急体制の充実
- 生活安全の推進
- 生活道路の整備
- 上水道の整備
- 雨水対策の推進
- 住環境の整備

令和7年度に実施する主な取組

避難所環境の充実

簡易ベッドの整備など避難所環境の充実を図るとともに、住民主体の避難所運営体制の構築に向けた支援を行います。

インフラの計画的な更新

道路や橋りょう、上下水道などのインフラについて、人口減少社会を見据えて長寿命化など計画的な更新を行います。

空き家対策の推進

人口減少で増加が危惧される空き家を適正に管理するため危険廃屋の除却や空き家相談などに取り組みます。

政策４　「生涯健やかな暮らしの実現」に資する事業　～ 健康・医療、福祉、社会保障 ～

住み慣れた地域で健康的に、心穏やかに過ごせるよう、多様な主体と連携しながら「生涯健やかな暮らしの実現」に取り組みます。

具体的な施策

- 健康づくりの推進
- 社会保障の充実
- 地域福祉の充実
- 高齢者福祉の充実
- 障害者福祉の充実

令和7年度に実施する主な取組

地域医療体制の充実

救急医療体制の健全な運営を維持するとともに、市民が適切に医療を受けられる地域医療体制の充実を図ります。

シルバー人材センターの活性化

高齢者が自身の経験と能力を生かして就労する機会を確保するため、シルバー人材センターの活性化に取り組みます。

障害者の就労促進

障害福祉サービスや地域活動支援センター及び障害者地域共同作業所への支援を通じて、障害者の就労促進を図ります。

政策５　「こどもまんなか社会の推進」に資する事業　～ 子育て、学校教育、青少年 ～

子どもの最善の利益を考え、誰一人取り残さない子育て支援や教育環境の充実など「こどもまんなか社会の推進」に取り組みます。

具体的な施策

- 子ども・子育て支援の充実
- 「生きる力」を育む学校教育の推進
- 信頼される教育環境の実現
- 心豊かでたくましい青少年の育成

令和7年度に実施する主な取組

保育士確保の実施

保育士IJU等就労支援事業や労務負担軽減のための助成事業などにより、市全体の保育士の確保を図ります。

学童保育事業の充実

学童保育事業の安定的な運営に向けた支援拡大や学童保育会館の整備などにより、学童保育事業の充実を図ります。

学びサポーターの配置

児童生徒一人ひとりに合ったきめ細かな対応を実現するため、退職教員などによる学びサポータを配置します。

政策６　「誰もが活躍できる場の提供」に資する事業　～ 人権、文化芸術・スポーツ、地域 ～

一人ひとり考え方や生き方が尊重される社会を育み、それぞれが望む分野において「誰もが活躍できる場の提供」に取り組みます。

具体的な施策

- 人権尊重・多文化共生社会の実現
- 男女共同参画社会の実現
- 文化芸術・スポーツの振興
- 生涯を通じた学びと文化財の継承
- 地域自治・協働の推進

令和7年度に実施する主な取組

人権啓発・研修活動の推進

市民（各地区住民団体）や企業を対象に人権問題に対する意識啓発を目的とした講演会等を開催します。

プロスポーツの応援

官民が連携して応援イベントを開催するなど、市民が身近にプロスポーツに触れられる機会を提供します。

共創のまちづくりの推進

公・民・学が連携して社会課題を解決する新たな事業を共創するとともに、まちづくりに参画する人材を育成します。

SDGs 未来都市 徳島市

徳島市 企画政策部 企画政策課

TEL：088-621-5085

E-mail：kikaku_seisaku@city-tokushima.i-tokushima.jp

企業版ふるさと納税HP

さ な ご う ち そ ん

佐那河内村

四季の自然。もうひとつのふるさと

佐那河内村は、美しい里山の風景と、人・地域とのつながりを大切に想う気風が、悠久の時を経た今も静かに息づいており、美しい川と棚田の風景が見られる徳島県内唯一の村です。

佐那河内村には全国に誇るいちごブランド
「さくらももいちご」があります。
爽やかで上品な甘みが特徴のこのいちごは、初売りの値段が10万円を超える高値で取引されるほど、全国的に高い評価を得ております。

また、みかんは、佐那河内村で広く作られる代表的な農産物のひとつで、11月中旬から翌3月下旬まで全国に出荷されます。その美味しさに加え、収穫期に村の山々をオレンジ色に彩る非常に美しい風景をもたらしてくれる、村にとって欠かせない要素になっています。

出所：佐那河内村HP

資料提供
徳島県　佐那河内村
〒771-4195
徳島県名東郡佐那河内村下字西ノハナ31番地
TEL：088-679-2111
FAX：088-679-2125

佐那河内村

いま、私たちがしたいことはコレ！

国内サポーター：
徳島大正銀行

01 しごと・雇用を創出する事業

【具体的な事業】
1. IT 系、デザイン系分野企業誘致事業
2. 移住者継続支援事業
3. 佐那河内ブランド PR 強化事業

▲新たな村づくりの旗印である「シンボルマーク」

02 新しいひとの流れをつくる事業

【具体的な事業】
1. 村内の空き家の利活用及び新築を促進するための支援事業
2. 移住を促進するための住宅供給や宅地造成事業
3. 「関係人口」創出のための事業

▲中尾谷地区の宅地分譲地完成予想図

▲さなごうち大川原高原ヒルクライム事業

03 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

【具体的な事業】
1. 専門家による出産・子育てのアドバイス事業
2. 11時間保育や学童保育など、保育サービスの充実
3. 小中一貫教育の充実

▲村の子どもたち

04 交流拠点の充実や地域連携などの村づくりを進める事業

【具体的な事業】
1. 移住定住推進事業の強化
2. 高齢者の移動支援事業
3. 郷土料理等食や文化の伝承事業

▲嵯峨地区にある多目的地域交流施設

寄附目標金額：25,000千円

佐那河内村まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：佐那河内村HP

いしいちょう

石井町

太陽と緑の田園都市 石井

石井町は吉野川と四国山地の間の地域にあるまちです。その為、夏鳥、冬鳥、漂鳥合わせて47種類の鳥が観察される「野鳥の森」や吉野川に代表される自然環境といった豊かな自然を有し、また「国分尼寺跡」に代表される寺院・文化財などの歴史や文化にも恵まれた町です。

また、古くから農業が盛んなこともあり、ほうれんそう・ブロッコリー・ねぎ・小松菜・スイートコーン・枝豆・ゴボウなど様々な新鮮な野菜を栽培しており、多くの方がそれらを求め訪れるまちです。また、春には、樹齢２００年余りの紫藤を用いた「藤まつり」では毎年、多くの人が集まります。

出所：石井町HP

資料提供
徳島県　石井町
〒779-3295
徳島県名西郡石井町高川原字高川原121-1
TEL：088-674-1111
FAX：088-675-1500

住みたい、住み続けたい　選ばれるまち石井町の実現

子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進事業

子どもはまちの未来を創造する担い手であるとともに、地域の宝です。石井町ならではの充実した子育て環境に磨きをかけ、情報発信や気軽に相談できる体制づくりなど、子どもとその家族、地域が輝く取組を推進します。また、石井町が全国から選ばれる町であるために、恵まれた自然環境を活かしたまちづくりを推進するとともに、移住希望者や住宅取得希望者の負担軽減を図り、移住・定住を促進します。

産業の振興と雇用の場の創出事業

石井町の恵まれた地域資源を活用しながら、若者に的を絞った”しごと”の創出や産業振興を推進することにより、まちの活力のさらなる向上を図ります。また、付加価値の高い農産物・加工販売物づくりの推進や農業就業者への支援を行い、都市部に売り込むことができる「価値」を創り出す若者を育成・応援します。町出身者や町外在住の人を対象に総合的な環境整備・起業支援を行い、新産業の創出を促します。

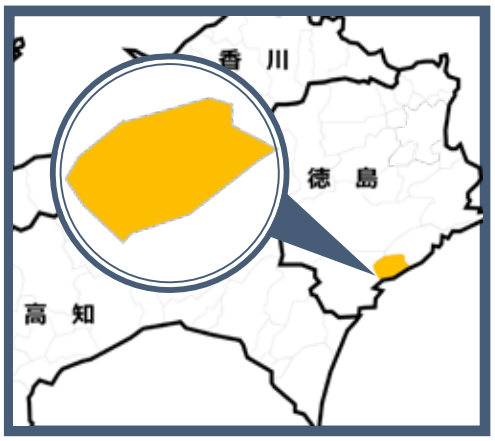
暮らしやすい生活環境の形成事業

住民がいつまでも健康な生活を営むことができ、安全で安心した生活を送ることができるよう、保健・医療・福祉などの各分野の充実を図るとともに、利便性の高い道路環境の整備や、石井町と近隣自治体との連携の強化による社会資本の整備を推進します。また、時代にあった地域コミュニティの再構築を行うことで、今後も住みやすいまちづくりに取り組みます。

寄付目標金額:1,770,000千円

石井町まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：石井町HP

むぎちょう
牟岐町



夢と緑と黒潮のまち　牟岐町

牟岐町は海だけでなく、見晴らしの良い「五剣山」や「八坂八浜」と呼ばれる景勝地、沖合には出羽島、磯釣りのメッカ牟岐大島・津島を保有する自然豊かな漁師町です。

牟岐町は海・川・山・島がぎゅっとつまっている為、牟岐大島で通年体験できる「磯釣り」をはじめ、毎年旧暦の七夕の時期に各家庭の軒下にあんどんを飾る習慣があることから「あんどんづくり体験」、夏の時期には牟岐川でのカヌーやＳＵＰ、シャワークライミング、牟岐大島での無人島BBQや無人島SUPなど様々なレジャーを体験することができます。

また、牟岐大島の湾内には「千年サンゴ」と呼ばれる高さ9m、外周約30mのクリスマスツリー形をした巨大なコブハマサンゴが生息しており、ダイビングスポットとして人気があります。

出所：牟岐町HP、観光サイト

資料提供
徳島県　牟岐町
〒775-8570
徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村7-4
TEL：0884-72-1111
FAX：0884-72-2716

いま、私たちがしたいことはコレ！

国内サポーター：
徳島大正銀行

01 牟岐町への新しい人の流れをつくる事業

【具体的な事業】

1. 交流の促進と移住への展開
2. 定住の促進
3. 新規就業（農業・林業）の支援による移住促進
4. 「関係人口」創出・拡大
5. 地方の暮らしの情報発信の強化
6. 大学づくり等による地域における若者の修学・就業の促進
7. 地方おこし協力隊の拡充：地方おこし協力隊の拡充

02 牟岐町で安心して働ける雇用の場をつくり、これを支える人材をつくる事業

【具体的な事業】

1. 中小企業が活躍できるビジネス環境の創出（エコノミックガーデニングの実現）
2. 農林水産業の推進もうかる農林水産業の推進
3. 牟岐ブランドの確立
4. 観光の振興と産業としての確立
5. 教育機関・研究機関との連携による新たな仕事づくり
6. 「海外から稼ぐ」地方創生
7. 新しい産業の社会的課題に対応する地域経済社会システムの構築
8. 観光地域づくり・ブランディング等の推進
9. 地方創生を担う人材・組織の育成

03 結婚・出産・子育ての希望を叶え誰もが活躍できる地域社会をつくる事業

【具体的な事業】

1. 出会いの機会創出
2. 子育て支援・保育サービスの強化
3. 若い世代の雇用拡大
4. 仕事と子育てが両立する働き方の実現
5. 個々人の希望を叶える少子化対策
6. 女性、高齢者、障がい者、外国人等が共生するまちづくり

04 時代にあった地域をつくり、安心して暮らしを守るとともに、地域の連携をつくる事業

【具体的な事業】

1. 牟岐町の抱える課題の解決への挑戦
2. 多様な人材が活躍する地域づくり
3. 持続可能なまちづくり
4. 既存ストックの活用
5. Society5.0 の実現に向けた技術の活用
6. スポーツ・健康まちづくりの推進
7. 地方創生ＳＤＧｓの実施などの持続可能なまちづくり
8. コンパクト・プラス・ネットワーク の本格的推進等
9. 地域交通を取り巻く課題への対応
10. 集落生活圏維持のため「小さな拠点」及び地域運営組織の形成

牟岐町まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：牟岐町HP

なるとし
鳴門市

いきいき 未来に輝く
交流拠点都市なると

四国の東部、徳島県の東北端に位置しており鳴門海峡をへだてて淡路島に面し、本州と結ぶ四国の東玄関と呼ばれています。特に市北部は瀬戸内海国立公園に指定され、北に播磨灘東に紀伊水道をのぞみ、鳴門海峡の急流と逆巻く渦潮でその名を知られた景勝地です。

温暖な瀬戸内気候に属し、一年を通して過ごしやすいのが特徴です。周辺は海に囲まれ、豊かな特産品や観光資源に恵まれています。

出所：鳴門市HP、プロモーションサイト

資料提供
徳島県　鳴門市
〒772-8501
徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170
TEL：088-684-1111

いま、私たちがしたいことはコレ！

国内サポーター：
徳島大正銀行

01 「鳴門」らしさを活かして人の流れをつくる事業

本市ならではの自然や食、体験、伝統文化から構築されたモノ・コトなどの“鳴門らしさ”を活用し、「足を運んでみたい」「何度も訪れたい」「住んでみたい」と思われるまちを目標に、「稼ぐ力」も高める交流人口や、鳴門に住んでいなくても地域づくりに関わる関係人口の拡大、さらには、移住・定住を促進する事業。また、文化や歴史、創業等の「はじまりのまち」として若者が「チャレンジ・活躍できる」場としてのイメージアップを図るとともに、シティプロモーションを通して市の魅力や良さへの共感を育み、自ら情報発信元となる市民を増やすことで、地域内外に本市の魅力を発信し、人口の流出抑制や定住に繋げる事業。

【具体的な事業】

- 四国のゲートウェイ推進プロジェクト
- サイクリング推進事業
- 「半農半Ｘ」推進シェアハウス事業
- イメージアップ戦略推進事業 等

02 「鳴門」に仕事をつくる事業

生産年齢人口、特に人口減少の大きな要因となっている若年層の転出 傾向の改善のほか、中長期的な人口減少を見据えた消費活動の縮小も勘案した、新たなイノベーションを誘発する「スタートアップ」の創出や地域の発展に寄与する企業誘致の推進、地場産品の魅力向上等、働く場の確保や産業振興を図る事業。また、多様化する価値観やワークスタイルも踏まえ、子育て世代や女性への就業支援等を行い、働きがいの向上や「仕事」と「子育て」などを両立できる環境づくりに取組む事業。

【具体的な事業】

- スタートアップ創出事業
- エコノミックガーデニング推進事業
- 企業誘致推進事業
- 農漁業六次産業化推進事業 等

03 「鳴門」で結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える事業

『県内随一の子育て応援都市』として、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てに至るまで、切れ目のない支援体制を整えることで、ライフステージごとに必要なサポートが受けられる環境整備を図り、結婚や出産等を契機とした定住の促進に繋げる事業。また、教育環境の充実を図り、未来の鳴門市を担う人材育成や若い世代の定住意識の向上に取組む事業。

【具体的な事業】

- 地域婚活支援事業
- 子どもの居場所づくり推進事業
- 「なると学力調査」実施事業
- ＫＯＢＡ式体幹☆バランストレーニング普及推進事業 等

04 魅力的な「鳴門」をつくる事業

商業や交通等の生活に必要な機能をはじめ、市民の生活満足度を高め、まちの魅力向上や活力の衰退を防止する取組。また、人口減少に適応したまちづくりを推進するため、都市計画マスタープランに基づくオープンゲート構想やフェーズフリーの推進等、「あらたな なると」づくりを加速する事業。

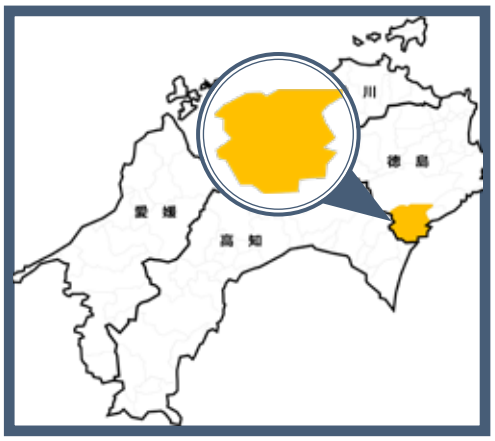
【具体的な事業】

- 健康福祉交流センター改修事業
- 公共交通対策事業
- 災害対策事業
- 市民協働のまちづくり推進事業 等

第２期なると未来づくり計画
出所：徳島県　鳴門市

かいようちょう

海陽町



自然いっぱい、夢いっぱいのまち

徳島県の最南端、四国の右下に位置し、南東の海岸線は太平洋を臨み、北は那賀町、東は海部郡牟岐町に、西は高知県東洋町と隣接しています。

青く美しい海岸は室戸阿南海岸国定公園に指定され、数々の岬や入り江を有する美しいリアス式海岸となっています。

また、滝や海岸などの景勝地が多いことに加え、川や山などの自然を生かしたレクリエーションが盛んで、ありのままの自然にふれあえる拠点として親しまれています。

出所：海陽町HP、移住情報サイト

資料提供
徳島県　海陽町
〒775-0295
徳島県海部郡海陽町大里字上中須128
TEL：0884-73-1234

海陽町の地方創生

〈４つの基本目標〉

本町に魅力あるしごとを創る
産業振興による地域創造戦略

地域資源を活かした魅力のある仕事や地場産業の振興、情報発信、若い世代が働くことができる魅力ある雇用の創出を図る

本町への新しいひとの流れを創る
人に選ばれる地域創造戦略

移住・定住の受け皿となる雇用や住まい・子育て等の総合的な環境整備、情報提供・発信。地域資源やスポーツを活かした観光の魅力を発信し、交流人口増加を目指す

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
子育て世代に選ばれる地域創造戦略

切れ目のない子育て支援、安心して子育てができ、「しごと」も確保され、若い世代が希望どおりに、結婚・妊娠・出産・子育てのできる社会環境の実現、子どもの幸せを優先に考えられる地域づくりの構築

地域を創り直し、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する
住み続けることができる地域創造戦略

住まい・医療・介護・保健・予防・生活支援等、地域包括ケアシステムの深化・推進、地震、津波、風水害等の防災・減災対策、「持続可能なまちづくり」の実現

海陽町は、令和7年３月に「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」に係る地域再生計画について内閣府から認定を受けました。『海陽町デジタル田園都市国家構想総合戦略』に紐づく事業が本町の企業版ふるさと納税の対象となっています。

出所：徳島県　海陽町

特に寄付を募集している事業

徳島県海陽町

地元高校育成支援プロジェクト

▶事業概要

生徒数の減少で存続の危機となっている地元「海部高校」に対し、ＩＣＴを活用した学習支援や文化教養を高める活動、部活動支援など、地域内外の生徒に選ばれるような特色ある教育・学校の活性化などを図るべく、地域ぐるみで高校魅力化に取り組んでいます。郡内唯一の高校を守り、地域の新たな活力を創造するため、ご支援をお願いします。

寄付受入上限：5,000,000円

竹ヶ島海域公園魅力化プロジェクト

▶事業概要

珊瑚の産卵・卵の捕獲、定着研究や藻類を中心とした地域産業に結びつく海洋資源の研究を行い、海域公園の環境整備を行うとともに、研究過程を観光産業に結びつける取り組みを進めています。
毎年地元の小学生が珊瑚の移植活動を行うなど、子どもたちの環境学習としても大変有意義な事業です。

寄付受入上限8, 000, 000円

出所：徳島県　海陽町

みまし
美馬市

美しく駆ける　活躍都市　美馬
～住み続けたいまちをめざして～

美馬市は、2005（平成17）年3月1日に旧美馬郡内の脇町、美馬町、穴吹町、木屋平村が合併してできた、豊かな自然と数多くの文化財が残る歴史情緒あふれるまちです。徳島県の西部（県都徳島市から約40km）に位置し、西側が三好市、美馬郡つるぎ町と、北側が阿讃山脈の山頂で香川県と、東側が阿波市、吉野川市、名西郡神山町と、南側が那賀郡那賀町と接しています。

市のほぼ中央を東西に四国三郎「吉野川」が流れ、穴吹川など幾多の川が吉野川に流れ込み、その沿岸の平野部が主な可住地となっています。北側の阿讃山脈、南側の剣山をはじめ、ほとんどが山地で、総面積の約8割が森林となっており、清らかな水と豊かな緑に囲まれた自然の美しい地域です。

出所：徳島県　美馬市

資料提供
徳島県　美馬市
〒777-8577
徳島県美馬市穴吹町穴吹字九反地5番地
TEL：0883-52-8009

美馬市は企業版ふるさと納税を募集しています

美馬市では、「しごと」と「ひと」が好循環し、誰もが「幸せ」を感じながら安全に暮らし続けられる地域社会の実現を目指し、様々な取組を進めています。
それらのうち、主な事業についてご紹介いたします。

01　子育て応援ポイント付与事業

子育てに係る経済的負担を軽減するため、多子世帯や小・中学校入学時に、デジタル地域通貨「MIMACA」のポイントを付与します。

02　中学校部活動移動支援事業

生徒数の減少で、単独校での部活動が困難になっています。そこで、拠点校や合同チームでの活動が可能となるよう送迎の支援を行います。

03　デジタル学習教材活用事業

GIGA スクール構想で整備された端末等を活用して、子どもたちに個別最適な学習環境を提供するため、AI 搭載の学習教材を導入します。

04　コンディショニングエクスパート養成・活動支援事業

コンディショニングについての一段高い知識や実技を身につけた市民等を「コンディショニングエクスパート」として認定し、市内各地で開催する「コンディショニング教室」において、地域おこし協力隊と共に、普及活動に取り組みます。

せいよし

西予市

「ここにしかない」を育むまち

西予市は、平成16年に5つのまちが合併して誕生しました。愛媛県で2番目の広さの面積に、約4万人がゆったりと暮らしています。海のまちは、明浜町と三瓶町。里のまちは宇和町。山のまちは野村町と城川町。各地域には歴史的建造物や古墳群など数多くの文化遺産のほか、民俗芸能や伝統行事が保存伝承されています。

特産品は、愛媛の代表みかんのほか、魚介類、米、ぶどう、栗、乳製品、牛肉類など四国一ともいえる多品目産地でもあります。

出所：西予市HP

資料提供
愛媛県　西予市
〒797-8501
愛媛県西予市宇和町卯之町三丁目434番地1
TEL：0894-62-1111
FAX：0894-62-1968

01 若者が戻ってくる雇用創出

- ジオブランド推進事業
- 空き家を利用した若年層・子育て世帯移住定住促進事業
- 移住交流促進事業
- 柑橘農業就農支援

02 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 高校魅力化プロジェクト
- せいよ地域づくり事業
- 異業種交流スキルアップ事業
- 不妊治療費等補助事業

西予市まち・ひと・しごと創生総合戦略
出所：西予市HP

きほくちょう
鬼北町

森がすくすく、川がいきいき、人が元気
～自然満足都市　きほく～
豊かな自然と人が響きあうまちづくり

鬼北町は全国の自治体の中で唯一「鬼」の文字がつくまちです。そのため、「鬼のまちづくり」を推進しており、そのシンボルとして、道の駅森の三角ぼうしに「鬼王丸」、道の駅日吉夢産地に鬼王丸の母である「柚鬼媛」が設置されています。

また、足摺宇和海国立公園に指定されている春はお花見、夏は沢遊び、秋は紅葉、冬は雪見と四季により違った姿 を楽しめる「成川渓谷」、縄文土器片5,000点、石器167点が発見された「岩谷遺跡」、動物の化石約26種が採集された「安森鍾乳洞」といった豊かな自然や歴史のあるまちです。

出所：鬼北町HP

資料提供
愛媛県　鬼北町
〒798-1395
愛媛県北宇和郡鬼北町大字近永800番地1
TEL：0895-45-1111
FAX：0895-45-1119

いま、私たちがしたいことはコレ！

国内サポーター：愛媛銀行

01 豊かな地域資源を活かした基幹産業の再生事業

【具体的な事業】

1. 農業の振興事業
2. 林業の振興事業
3. 雇用の創出事業

02 つながりを大切にし、鬼北町へ新たなひとの流れをつくる事業

【具体的な事業】

1. グリーン・ツーリズムの推進事業
2. 交通環境の充実化事業
3. 空き家対策推進事業

03 みんなの力で、結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

【具体的な事業】

1. 地域保健、医療体制の充実化事業
2. 子育て支援策の充実化事業
3. 交通安全、防犯対策事業

04 ともに支え合い、安心して暮らすことができる持続可能な地域をつくる事業

【具体的な事業】

1. エネルギー対策の推進事業
2. 情報基盤の整備、活用事業
3. 資源循環型社会の推進事業

鬼北町まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：鬼北町HP

う わ じ ま し
宇 和 島 市

ココロまじわうトコロ
Hearts meet

宇和島市は、四国の南西部に位置し、海と山が人々のすぐそばにあり、気候と地形を生かした産業で繁栄してきました。

柑橘栽培や鯛・ハマチ・真珠の養殖は全国有数の生産量を誇り、「じゃこ天」や「鯛めし」などの郷土料理や、牛と牛とが突き合う闘牛も観光客に人気となっています。

また、宇和島は伊達政宗の長男である伊達秀宗が初代宇和島藩主となって以来、宇和島城を中心とした城下町が形成され、独自の文化を育んできたまちでもあります。

宇和島市は、この宇和島に息づく魅力、「日常にある豊かさ」を多くの人と一緒に楽しみ、心からわかちあいながら、これからも、人と人とがつながりあい、ココロが通いあう、喜びに満ちたトコロとして、未来へ向かって、新しい価値を共に創り、志高く歩んでいくことを目指しています。

出所：テキストテキストテキストテキスト

資料提供
愛媛県　宇和島市
〒798-8601
愛媛県宇和島市曙町１番地
TEL：0985-24-1111

UWAJIMA SIGHTS

宇和島フォトフェスティバル 2025

UWAJIMA PHOTO FESTIVAL 2025

会期：2025年10月25日（土）－ 11月24日（月・祝）　　会場：宇和島城、中心市街地

Islands in Motion　動き出す故郷

入り組んだリアス式の海岸線と、島のように点在する小さな集落。
宇和島の風景は、まるで海に浮かぶ「動く島々」のように、
ひとつひとつが独立しながらも、見えない絆でつながっています。

「Islands in Motion｜動き出す故郷」は、そんな宇和島の地理的・文化的特性に焦点を当て、
そこに暮らす人々の営みや視点の変化に光をあてる写真フェスティバルです。

過疎化や高齢化、社会の分断が語られる現代において、この地には動きがあります。
移動、対話、記録、再生。写真家たちが見つめるのは、静かな風景の中に潜む小さな変化、
そして未来への兆しです。

かつては内に閉じていた場所が、いまゆっくりと外へと開かれていく。
「動き出す故郷」は、そんな宇和島の現在形をとらえるための、新しい視点を提示します。

UWAJIMA PHOTO FESTIVAL ｜ UWAJIMA ART PROJECT

アートの力を使って、まちの賑わい・付加価値を創出

宇和島フォトフェスティバル（UWAJIMA SIGHTS）は、宇和島が持つ魅力を国内外に発信するアートフォトの祭典です。“写真”を切り口にした宇和島の新たな「魅力づくり」「人づくり」「場づくり」につながる施策をALL宇和島体制で行なうことで、「住みたくなる・帰りたくなる・連れて行きたくなるまち」を目指します。

【宇和島フォトフェスティバル 2025｜UWAJIMA SIGHTS 2025 パートナープログラム】

趣旨にご賛同いただける企業や団体の皆様からのご寄附やご協賛に対して、特別なプランをご用意しています。

ご寄附プラン（企業版ふるさと納税）

ご寄附額	ベネフィット						
	お礼状の送付	市HPへの寄附情報の掲載	市HPへの企業情報の掲載	感謝状の送付	感謝状の贈呈（贈呈式）	市長との懇談	紺綬褒章への推薦
¥10,000,000～	○	○	○	○	○	○	○
¥1,000,000～	○	○	○	○	○	○	
¥300,000～	○	○	○	○	○		
¥100,000～	○	○	○				

1 本プランは「芸術文化を活用した地域振興事業」へのご寄附となるため、有効期間は特に設けていません。
2 宇和島市へのご寄附となります。
3 企業の皆様が企業版ふるさと納税を活用するメリット⇒「社会貢献」「新事業展開」「税軽減効果」
・地域に寄附を行うことで、CSR活動に取り組まれる企業ブランディング、SDGｓの達成に向けた取組の推進が期待できます。
・企業版ふるさと納税を通じた連携により、当市と企業との間で新たなパートナーシップ構築や多様な主体との新たな関係構築の可能性が広がります。
（地域資源を活用した働き方改革の展開も可能です）

（参考）ご協賛プラン

ご協賛プラン	ご協賛金額（税込/口）	企業名掲載特典							その他特典
		公式ウェブサイト	公式記録集【冊子】	公式記録集【映像】	会場メインボード	パンフレット	ポスター	フライヤー	公式記録集【冊子】進呈
特別プラン	¥3,000,000～	ロゴ大	ロゴ大	ロゴ大	ロゴ大	ロゴ大	ロゴ大	ロゴ大	5冊
Aプラン	¥1,000,000～	ロゴ中	ロゴ中	ロゴ中	ロゴ中	ロゴ中	ロゴ中	ロゴ中	3冊
Bプラン	¥300,000～	ロゴ小	ロゴ小	ロゴ小	ロゴ小	ロゴ小			1冊
Cプラン	¥100,000～	テキスト小1	テキスト小1	テキスト小1	テキスト小1	テキスト小1			
Dプラン	¥50,000～	テキスト小2	テキスト小2	テキスト小2					
Eプラン	¥10,000～	テキスト小3							
お申込み期限別の特典適用	～2025/8/20	○	○	○	○	○	○	○	○
	～2025/9/12	○	○	○	○	○			○
	～2025/10/15	○	○	○					○

1 本プランは「宇和島フォトフェスティバル2025」へのご協賛となるため、お申込みの期間は2025年10月15日までとなります。
2 宇和島ARTプロジェクト（実行委員会）へのご協賛となります。
3 お申込み期限により、適用される特典の内容が変わります。
4 特別プラン・Aプランへのお申込みは、原則として、1業種1社様に限ります。（物品によるご協賛の場合は、この限りではありません）
5 ロゴの掲載が適用される場合でも期日までにロゴデータのご支給が無い場合は、テキストでの掲載に変更となります。
6 物品によるご協賛の場合、物品の価額に応じて適用プランが変わります。
※協賛申込の期限等については今後変更になる可能性があります。

こうちし

高知市

森・里・海と人の環
自由と創造の共生都市 高知

高知市は、太平洋に開かれた豊穣の地にあり、豊かな自然と長い歴史の中で培われた、明るく闊達で慣習にとらわれない、自由と創造の精神に満ちた土佐の風土の中で発展を続けてきているまちです。

また、坂本龍馬の生誕地、よさこい祭り発祥の地でもあり、高知城から約1キロにわたって、約300店もの露店が軒を連ねる300年以上の歴史をもつ「日曜市」は、毎回多くの来店者でにぎわっています。

出所：高知市HP、観光サイト

資料提供
高知県　高知市
〒780-8571
高知県高知市本町5丁目1-45
TEL：088-822-8111

鏡川流域関係人口創出事業

分 野 関係人口の創出・拡大
環境保全　人材育成

鏡川上流域では、様々な分野での担い手不足から、人による自然への適切な関わりが薄れ、流域の美しい景観や自然環境が失われつつあります。こうした課題に対応するため、鏡川流域の自然と人、人と人をつなぐ「関係人口」の創出・拡大を図ります。
高知市・市民の皆様と一緒にＳＤＧｓの達成に向けて協働で取り組んでいただける企業様をお待ちしています！

主な取組

〇鏡川流域の自然と人，人と人をつなぐ「鏡川流域関係案内人」の育成
〇まちのコイン『ぽっちり』を活用した，鏡川流域の多様な「関わりしろ」の可視化と「関わり」の創出・拡大

目指す姿 鏡川を軸にした高知市版地域循環共生圏（ローカルSDGs）の実現

鏡川流域関係人口講座受講生

鏡川流域生物多様性保全事業

分 野 環境保全

鏡川は、約33万人が暮らす高知市の市街地を流れる川でありながら、その流域には河川規模がはるかに大きい仁淀川に匹敵する82種の魚類をはじめ、多種多様な生物が生息・生育しています。
専門業者による清流のシンボル「アユ」の調査に加え、環境学習を通じた水生生物の調査、スマホアプリを活用した市民参加型の動植物の調査等、市民科学も取り入れ、鏡川流域の生物多様性保全に取り組んでいます。

主な取組

〇スマホアプリを活用した市民参加型生物多様性調査
〇鏡川清流保全環境調査
〇鏡川わくわくツアー関連事業

環境学習の様子

長浜・御畳瀬・浦戸地域振興推進事業

分 野 関係人口の創出・拡大
人材育成

高知市の沿岸部にある長浜・御畳瀬・浦戸地域は、それぞれ長宗我部元親初陣の地や、観光名所の「桂浜」、漁師町の風情残る街並みを有する地域です。
閉校となった旧御畳瀬小学校を拠点に、地域おこし学校「こうちみませ楽舎」を開校し、地域内外から多様な人財を発掘・育成するとともに、地域の魅力の情報発信や地域協働イベントの開催等により、賑わいを創出します。

主な取組

〇地域おこし学校「こうちみませ楽舎」の開校
〇ＳＮＳで地域情報、活動を発信
〇３地域それぞれの特色を活かしたイベント開催

こうちみませ楽舎教室「ものづくりデザイン教室」の様子

高知市民図書館 図書館資料購入事業

分 野 人材育成　文教施設

高知市民図書館は、全国初の県市合築によるオーテピア高知図書館を本館とし，21分館室，67ステーションを巡回する移動図書館バスで地域に密着した図書館サービスを展開しながら，情報提供機関の役割を果たしています。
図書・雑誌などの「資料」は、知的情報基盤としての図書館の命です。いただいた寄附金は図書館資料の購入に充てさせていただきます。

主な取組

〇誰でも使える多種多様な資料と専門性の高い司書を活用し、「課題の解決」や「学び」をサポートしています。
〇情報社会の水先案内人
情報が氾濫する今日、正しい情報を選び、活用する能力（情報リテラシー）の向上を支援しています。
〇セーフティネットとして学校と連携し、児童・生徒の学習活動や読書活動を支えるとともに、不登校、ひきこもり等の課題に対して図書館の資源を活用した支援をしています。

ホームタウンチーム地域活動推進事業費補助金

分 野 地域スポーツ振興
生涯スポーツの推進

高知市では、さまざまな世代がライフスタイルに応じて気軽にスポーツを楽しむことができる生涯スポーツを推進しています。
この推進のため、本市に活動拠点を置くトップレベルの競技団体等が、生涯スポーツ・地域スポーツの振興を図る事業を実施する際、補助金交付による支援を行い、スポーツを通じた人々のつながりを生み出し、気軽にスポーツを楽しめる社会の実現を目指します。

主な取組

〇トップアスリート等との交流による地域性化
〇年齢・性別・障害の有無に関わらない市民のスポーツ機会の創出
〇地元クラブチームのホーム戦観客動員等に向けた支援
〇スポーツ人口の裾野の拡大

共創プロジェクト事業

高知商業高校

分 野 人材育成　文教施設

高知商業高校は、100年以上の歴史と伝統を誇る高知市立一校の高校として、校是「報本反始」と校歌「鵬程万里」に込められた情熱を胸に、商業教育を推進し、高知と社会に貢献する人材の育成に努めています。
「探究学習の推進」では、生徒の視野を広げるために、外部講師による探究講座や、生徒主体の地域貢献活動を行っています。また、教職員のスキルアップを目的に、探究学習実践校への視察も行っています。さらに、地域や企業と交流しやすい探究ルームや、スポーツ施設の整備を進めています。これにより、子どもたちがより良い環境で学び、成長できるよう努めています。

主な取組

〇生徒主体の地域貢献活動の実施等、探究学習の推進
〇地域や企業との交流拠点として学校教育環境の整備

目指す姿 高知商業高校の認知度の向上を図るとともに、高知で活躍する人材育成を目指す。

木曜市フィールドワークの様子

むなかたし
宗像市

ときを紡ぎ　躍動するまち

宗像市は、福岡市と北九州市の中間に位置する人口約97,000人のベッドタウンです。周囲三方を緑豊かな山に囲まれ、北部は玄界灘に面し、大島・地島などの有人島もあります。2017年には「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」が世界遺産に登録され、大島や宗像大社は観光スポットとしても人気です。

自然の豊かな宗像市は海の幸・山の幸が豊富な食のまちでもあります。「道の駅むなかた」は九州の道の駅の中で、最大規模の売上と来場者数を誇っており、宗像の新鮮な食材をたっぷり味わえる道の駅です。

出所：宗像市HP

資料提供
福岡県　宗像市
〒811-3492
福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
TEL：0940-36-1192

いま、私たちがしたいことはコレ!

01 地域の「稼ぐ力」を強化する事業

地域の稼ぐ力を戦略的に支援し、産業基盤の強化や６次産業化、商品ブランド化などの推進を行う事業。産業基盤の強化に取り組むことで、長期的には域内での消費を喚起することで、店舗誘導や起業の促進、雇用の創出を図る事業。加えて、地域産業の担い手に対して育成や支援を行う仕組みを構築し、地域産業を支える人材の確保を図る事業。

【具体的な事業】
- 創業希望者への支援
- 市内外への効果的なシティプロモーション 等

02 多様なつながりを契機とした、宗像へのひとの流れをつくる事業

本市が有する歴史、自然、文化、芸術、スポーツ等、多様な資源を活用し、新しいひとの流れを創出する事業。情報発信にマーケティング手法を積極的に活用し、加えて、市内回遊性向上のため、新技術を活用した移動手段等の導入に係る事業。若い世代の定住化に向けた支援や移住希望者に対して相談から移住までの一括支援を行うなど本市へのＵＩＪターンによるひとの流れを創出するとともに、国の支援制度を活用した東京圏からの移住促進に係る事業。

【具体的な事業】
- 新MaaSや自動運転などの実施に向けた調査、検討
- スポーツ大会や合宿の誘致 等

03 出産・子育て・教育環境づくり事業

子育て世代が、安心して出産、子育てできる環境づくりを推進する事業。子育て支援や多子世帯支援、教育支援など出産、子育てに対して切れ目のない、総合的な支援を推進する事業。小中一貫教育に代表される宗像ならではの教育の充実を図る事業。

【具体的な事業】
- グローバル人材育成の推進
- むなかた子ども大学の開催 等

04 まちづくりと安心なくらしの提供を行う事業

集約型都市構造を実現するため、駅周辺や交通拠点等に都市機能の集約を図るとともに、市民が安心して暮らせる安全なまちづくりを推進する事業。地域特性を活かしたコミュニティづくりや魅力ある地域づくりと、それを支えるひとづくりを推進する事業。

【具体的な事業】
- 広域拠点への都市開発の誘導
- 緊急情報伝達システムの構築 等

まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：宗像市

ありたちょう
有田町

歴史と伝統が息づく『ものづくりの町』

有田町は佐賀県の西部に位置する町で、美しい景観を誇る田園風景や黒髪連山など変化に富む豊かな自然に恵まれた温暖な気候の地域です。

伝統工芸品、有田焼の産地であり、日本磁器発祥の地として国内外に有名です。内山地区と呼ばれる地区は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、歴史的な雰囲気を感じることができます。
「日本の棚田百選」に選ばれた"岳の棚田"、「名水百選」や「水源の森百選」に選ばれた"竜門峡"をはじめ、美しい自然景観に恵まれ、棚田米や、ありたどりなど農畜産業も盛んです。

出所：有田町HP、移住定住サイト

資料提供
佐賀県　有田町
〒849-4192
佐賀県西松浦郡有田町立部乙2202番地
TEL：0955-46-2111

①安心して働ける、魅力ある雇用を創出する事業

本町を代表する産業である窯業や農業を取り巻く環境は厳しいものがあります。有田で育った若者が町内で働くことができるよう環境づくりに努め、若者に魅力ある産業の育成支援や多様な働き方への支援を推進します。

基幹産業である窯業を再興するために窯業関連企業の創業・事業継承の支援や、6次産業化促進を図り、農業経営の多角化の推進などを行います。

《主な事業》

■企業誘致対策としての立地奨励金

■未来へつなぐ有田焼支援事業

■創業支援事業

②行ってみたい、住みたいまちをつくる事業

歴史や文化、自然など多くの地域資源の再発見・磨き上げにより観光資源としての価値を高め、関係機関と連携した情報発信を行い、他市町との連携を図りながら多角的に観光事業を推進します。

また、町外からの移住を推進し定住を促進するため、短期住宅の整備・継続や定住のための諸制度の整備、就業支援を行います。

《主な事業》

■定住促進事業

■観光協会事業

■内山地区振興事業

有田町まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：有田町

③若い世代が希望をもって結婚・出産・子育てできる環境をつくる事業

少子化の進行により、労働力人口の減少や経済規模の縮小など、社会経済全体に深刻な影響をもたらすことが懸念されています。若い世代の結婚や出産の希望をかなえるために、出会いの場の創出や妊娠、出産への支援に取り組みます。また、共働き世帯の増加に伴い、保育サービスに対するニーズも多様化しているため、安心して子どもを育てることができるよう、子育て支援事業の充実を図ります。

《主な事業》

■有田っ子出産・子育て応援ニコッと給付金

■小中学校ICT機器活用事業

■多世代交流センター事業

④ひとがつながる安全・安心な地域をつくる事業

人口減少や高齢化による、担い手不足や自治会が抱える課題を解決するため、女性や若者が活動しやすい環境を整え、地元定着と地域の活性化を推進します。

また、地域全体の防災力、防犯力の強化を図り、町民が安全で安心に暮らせるまちづくりを展開します。

《主な事業》

■コミュニティバス等運行事業

■防犯事業

■自主防災組織の育成・支援

※当パンフレットに記載した主な事業以外にも、寄附対象事業としてご提案させていただく場合もございます。

有田町まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：有田町

よしのがりちょう

吉野ヶ里町

ひとよし・まちよし・住んでよし
快適ふるさと吉野ヶ里

佐賀県吉野ヶ里町は、人口約16,000人の小さな町です。しかし、日本を代表する遺跡「吉野ヶ里遺跡」や、栄西禅師が日本で初めてお茶栽培を始めた霊仙寺の「茶樹栽培発祥の地」など、歴史と自然を活かしたまちです。

北部は脊振山系の山々に囲まれ、豊かな自然を活かした観光資源が多くあり、露天風呂から町を一望できる温泉「山茶花の湯」や、新鮮な農産物や天然の湧き水が人気の道の駅「さざんか千坊館」、多彩なアウトドアアクティビティが楽しめる複合型パーク「フォレストアドベンチャー吉野ヶ里」などの施設があります。
福岡から車で40分とアクセスも良いコンパクトなまちです。

出所：佐賀県　吉野ヶ里町

資料提供
佐賀県　吉野ヶ里町
〒842-8501
佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321番地2
TEL：0952-37-0336

いま、私たちがしたいことはコレ!

01 稼ぐ地域をつくり、安心して働けるようにする事業

○ 交通の利便性を活用し、積極的に企業誘致を行い、働く場を確保する。

○ 既存企業の振興と存続を図るとともに、後継者がいない企業や農業者に対する事業承継が行われるよう支援を行う。

○ 地域資源・産業を活かした本町の競争力強化を図る。

○ 農業者の高齢化・担い手不足を解消するため、新規就農者の技術習得を支援し、担い手の育成を図る。

【具体的な事業】

- 企業誘致事業
- 担い手育成支援対策事業 等

02 つながりを築き、新しいひとの流れをつくる事業

○ 吉野ヶ里歴史公園、山茶花の湯などの観光拠点や、アドベンチャーバレーＳＡＧＡなどの新しい施設との連携を図り、観光客誘致のためのプロモーションを実施し、文化体育館でのイベント誘致など、関係人口の創出・拡大を図るとともに、ふるさと納税や、オンラインで繋がるなど、直接訪れない形での新たな関係人口の創出に取り組む。

○ 移住・定住のため、空家バンクの利用促進を図り、PR活動を行う。

○ 大学との連携促進による新しい関係人口の創出と、町民サービスの向上を図る。

【具体的な事業】

- 広域観光連携事業
- 移住定住支援事業 等

03 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

○ 若い世代が希望どおりに結婚・出産・子育てができるよう、結婚から子育てにいたるまで切れ目のない一貫した支援を充実するとともに、子どもや子育てを地域全体で見守り、支援する環境づくりを進め、子育てと仕事が両立できるよう男女共同参画セミナーなどの啓発活動を行う。

○ 子育て世代の移住・定住に繋がるよう、魅力ある教育環境の充実に努める。

【具体的な事業】

- 子育て支援体制の強化と環境整備
- 学校施設整備事業 等

04 安全・安心で快適に暮らせるまちをつくる事業

○ 地域のなかで誰もが生涯にわたって健やかな生活を営むことができるよう、快適な生活環境を整備し、質の高い暮らしのためのまちの機能の充実を図る。

○ 防犯や交通安全は、地域ぐるみで安全性を向上させる必要があるため、ハード・ソフト両面にわたる取り組みを進め、デジタル化を推進する。

○ 交通弱者対策としてのコミュニティバス・デマンドタクシーについて、利便性の向上に努める。

○ 地球温暖化防止のため、可燃ごみ搬出量削減に努め、資源ごみ回収量の増加を図ります。また、地方創生ＳＤＧｓの普及促進活動など、持続可能なまちづくりに向けた取り組みを進める。

【具体的な事業】

- 情報通信を活用した防災体制の機能強化
- 福祉サービスの充実と環境整備 等

吉野ヶ里町まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：吉野ヶ里町HP

壱岐市（いきし）

―海とみどり、歴史を活かす 癒しのしま、壱岐―

壱岐市、「麦焼酎」発祥の地であり、神々の島とも呼ばれており島内には150社以上も由緒ある神社が点在しており、また、海水浴場やビーチが10か所以上ある自然と歴史のあるまちです。

壱岐市では、古くから穀物作りが盛んだったこともあり壱岐独自の麦焼酎が誕生しております。この麦焼酎は玄武岩層を、長い年月をかけて磨かれミネラル豊富な地下水で作られて老いるためおいしいと評判です。

また、150社以上も由緒ある神社、古墳280基と歴史的な資産を観ることができます。離島なこともあり、周りには美しい海が広がっており、絶景を船で巡る遊覧や、シーカヤック、シュノーケリングなど多くのマリンアクティビティを体験できます。

出所：京丹後市HP、観光サイト

資料提供
長崎県　壱岐市
〒811-5192
長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触562番地
TEL：0920-48-1111

いま、私たちがしたいことはコレ!

01 希望の仕事があり安心して働くことができ、起業もできるまちづくり事業

- IoT や AI などの先端技術の活用、学生や移住希望者等に対する職業体験の実施及び各種講座・研修会の開催
- 大都市圏等への流通コストに関する助成
- 農（漁）業用施設の長寿命化
- 地場産業等との連携による加工商品の開発
- 藻場の再生
- 効果的かつ安定的な種苗放流
- 雇用機会拡充事業等の運用による創業及び事業拡大の支援
- キャッシュレス環境やネット通販などの販売環境整備の支援
- 立地意欲のある企業に対する用地情報の提供及び現地案内等の実施
- 若者等の地元就職及び定着促進のための支援
- ソフトウェア・情報通信関連企業等の誘致
- 個人・団体・外国人等各ターゲット向けの旅行商品開発
- 宿泊施設の充実及び更新の支援、HPや SNS の活用等による情報発信の強化

02 地域コミュニティが守られ、安心して健康に暮らせるまちづくり事業

- まちづくり協議会の設立と活動支援、ボランティア団体や NPO 等の活動支援
- 各種健康診断の受診や生活習慣改善についての啓発活動の充実
- 持続可能な地域医療を担う看護師などの医療人材の確保・育成強化
- 地域ケアマネジメント体制の充実、関係機関・団体との連携強化及び民間サービス事業者への情報提供や支援
- ボランティアセンターの活動支援
- 高齢者が専門知識・技能を活かせる環境整備
- 住民による福祉活動に対する支援や基盤づくり
- バリアフリー化等の住宅改修支援
- 介護サービスを支える人材の養成・確保
- 相談支援体制の充実・強化
- 障がい者の就労の場の確保及び経済的自立支援、建築物・公共交通機関等のバリアフリー化の推進
- 壱岐市公民館教室の開催
- スポーツ関係機関・団体等との連携によるスポーツ交流の拡充
- 各種文化団体・サークルの活動支援、夜間パトロールなど青少年の健全育成活動の実施
- 男女共同参画に関する情報発信や各種講座・研修会の開催
- 生活保護制度の適切な運用

03 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる事業

- 婚活支援事業の拡充
- 自分磨き講座等の人材育成事業の企画・開催
- 妊産婦及び乳幼児健診の実施や家庭訪問・予防接種などによる母子の健康づくり支援
- 子育て支援関係機関の安定的な運営、認定こども園の整備
- 子育てサークルや NPO 等の活動支援及び育成
- 外国語教育・ふるさと教育の充実
- 地域と連携・協働した学校づくり
- ICT を活用した授業づくり、離島留学生の受入体制充実

壱岐市まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：壱岐市HP

04 関係人口を増やし、壱岐への新しい人の流れをつくる事業

- 移住相談会の開催や移住フォーラムなどの各種イベントの開催・参加
- お試し移住体験のための滞在費用の一部助成
- 空き家バンクの充実
- 賃貸住宅の家賃・引っ越し・空き家改修等にかかる費用の一部助成
- ワーケーションの受入環境の整備とプロモーション活動の実施
- 大学や企業と連携した各種研究開発や人材育成

05 地域コミュニティが守られ、安心して健康に暮らせるまちづくり事業

- 指定管理者制度・アウトソーシング・PFI/PPPの導入など官民連携による効率的・効果的な行政運営
- 人事評価制度と連携した職員の断続的なスキルアップと人材育成のための各種研修等の実施
- 政策評価の結果を活用した費用対効果の検証
- ふるさと納税制度の拡大に向けた情報発信の強化や推進体制の充実
- 公共施設の空きスペースの他用途への転換や民間等への貸与

06 自然・歴史文化が調和した持続可能な社会基盤を整える事業

- 官民連携による地球温暖化防止活動の推進
- 水素エネルギーなどの新たな再生可能エネルギーの活用・導入
- 生ごみリサイクルの推進
- 下水道事業の普及に向けた取組の推進、持続可能な水の安定供給のための体制づくり
- ICT の進歩による情報通信基盤の高速・大容量化、市民向け情報活用教室の開催
- 島外通勤・通学者への交通費等支援
- 利用者ニーズに応じた路線バスのダイヤ・ルート等の断続的な見直し
- フェリーみしまのリプレイスの推進
- 市道等の計画的な維持・補修
- 景観条例等の適正な運用による良好な景観の保全と整備
- 老朽化した消防防災施設・設備の計画的な整備・更新
- 交通安全施設の適切な維持管理
- あらゆる犯罪を未然に防ぐまちづくりの推進
- 新たな感染症等への対策の充実、島内に存在する歴史文化遺産の調査・研究
- 貴重な歴史文化遺産の計画的な保護・整備、歴史文化施設の適正な管理運営

壱岐市まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：壱岐市HP

とぎつちょう

時 津 町

うみと、やまと、カイテキあふれる
進化を続けるまち　時津町

時津町は、長崎市の北部に位置し、穏やかな内海である大村湾や崎野半島などの緑に満ちた山々に囲まれながらも、主要道路沿いには大型商業施設や飲食店などが軒を連ね、豊かな自然と便利な都市機能の双方がバランスよく存在するまちです。

そんな時津町は、地域を結ぶ交通の要衝として発展を続けてきました。古くは、江戸時代、長崎を北上して時津に至り、時津港から海路で彼杵へとたどる“時津街道”があります。現在でも、長崎空港までを25分で結ぶ高速船や、長崎市街地と約25分でつながる路線バスなどが通っており、今も昔も交通の要衝として発展を続けています。

また、波が穏やかで、海底が砂質な大村湾で獲れるナマコやシャコ、サザエなどの海産物、県内でも有数の巨峰の産地でもあるため、高糖度な巨峰やシャインマスカットなどの名産品にも恵まれています。

出所：長崎県　時津町

資料提供
長崎県　時津町
〒851-2198
長崎県西彼杵郡時津町浦郷
274-1
TEL：095-865-6805

時津町企業版ふるさと納税　寄附募集事業

1 子どもの笑顔があふれるまちづくり

子育て家庭が安心して子どもを産み、子どもたちが健やかに暮らすことができる環境づくりを目指します。第二子の保育料無償化や、小中学生のインフルエンザ予防接種の無償化など、時津町独自の取り組みを行い、子どもたちの笑顔があふれ、子育て世代の方が「時津町で子育てをしたい」と思えるようなまちを創ります。

【具体的な事業例】
- 出生記念証贈呈事業（こんにちは　赤ちゃん事業）
- 第二子（同時在園）保育料無償化及び第三子以降育料無償化事業
- 福祉医療費現物給付（小中学生・高校生世代）
- インフルエンザ予防接種無償化事業（乳幼児・小学生・中学生）

2 シティプロモーションの強化～現代版時津街道を軸とした観光プロジェクト～

時津町は長崎市の北部に隣接し、古くは、長崎を北上して時津に至り、時津港から大村湾を船で渡って彼杵港へとたどる“時津街道”がありました。この街道は、大名や幕府の役人に多く利用され、港町や宿場町として栄えてきた歴史があります。現在も、長崎空港までを25分で結ぶ高速船があり、県外から訪れる人たちの玄関口としての役割を担ってきました。

しかしながら、コロナの影響や西九州新幹線の開通により、利用者の減少傾向が続いています。そこで、空港で降りた人たちを高速船で本町に立ち寄ってもらうよう動線を強化するとともに時津港を起点に、徒歩やサイクリングで観光スポットや文化・歴史を肌で感じてもらうための基盤づくりを行います。

【具体的な事業例】
- モニターツアーの実施
- 大村湾一周観光船の可能性調査研究
- 新たな特産品の開発

第3期時津町まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：時津町HP

3 デジタルイラストマップ制作～現代版時津街道を軸とした観光プロジェクト～

町内に点在する地域資源、地元商店、飲食店、ぶどう狩りなどのコト消費などを繋ぎ合わせたルートをデジタル上に落とし込み、時津町の魅力を視覚的に楽しんでいただくため、デジタルイラストマップの制作を行います。日常の延長線上にあるちょっと上質なモノ、コト、トキを体験できる周遊性・滞在型のぶらり観光を楽しんでいただき、本町の魅力向上、地域消費の拡大を図ります。

【具体的な事業例】
・デジタルイラストマップ制作
・デジタルイラストマップを活用したプロモーション
・デジタルイラストマップを活用したイベント実施

4 生きがいづくり、健康づくりの推進

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続するとともに、生きがいを持って地域でお互いに支え合い、いきいきと暮らすことができるよう、介護予防事業の推進や高齢者福祉事業の充実を図り、高齢者の社会的活動への参加について支援するとともに、支援の必要な高齢者を地域全体で支える活動などの取り組みを積極的に行います。

【具体的な事業例】
・地域支えあい活動、高齢者サロン及びシニアクラブへの支援拡大
・高齢者交通費助成事業
・健康奨励金
・長寿祝金支給事業

5 ベネフィット

100万円～の寄附
・感謝状贈呈及び町ホームページ、SNS、広報紙へ掲載（贈呈式について）
・寄附企業名を表示した銘板（ウォーキングコースに設置するスツール）の設置
【現代版時津街道を軸とした観光プロジェクト限定】
・町から報道機関へプレスリリース
・町ホームページにて寄付企業の情報の紹介
・町広報紙にて寄付企業名の紹介

50万円～の寄附
・寄附企業名を表示した銘板（ウォーキングコースに設置するスツール）の設置
【現代版時津街道を軸とした観光プロジェクト限定】
・町から報道機関へプレスリリース
・町ホームページにて寄付企業の情報の紹介
・町広報紙にて寄付企業名の紹介

10万円～の寄附
・町ホームページにて寄付企業の情報の紹介
・町広報紙にて寄付企業名の紹介

第3期時津町まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：時津町HP

ひ　じ　ま　ち
日　出　町

豊かな自然と共生し未来にわたり
愛着をもって暮らせる日出町

日出（いづ）る町と書いて、「ひじまち」と読む日出町は、別府湾に南向きに面しており、文字どおり陽光あふれる温暖な気候の町です。

　大分県の中部、国東半島の南端に位置する日出町（ひじまち）は、サンリオキャラクターパーク「ハーモニーランド」や大分むぎ焼酎「二階堂」が有名ですが、山を背に、海が広がり、「城下かれい」に代表される海の幸やホワイトコーン「白雪姫」に代表される野菜、その他みかん、かぼす、梨、巨峰などたくさんの美味しいものがあり、さらには、湧水も豊富に湧き出している自然と調和したコンパクトシティです。

　人口およそ２７，７００人の小さな町ですが、住んで良し、訪れて良し、未来にわたり持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

出所：大分県　日出町

資料提供
大分県　日出町
〒879-1592
大分県速見郡日出町2974番地1
TEL：0977-73-3116

いま、私たちがしたいことはコレ!

01 つながる幸せを感じ 住み続けたくなるまちづくり

住み慣れた地域で誰もが健康でいきいきと暮らすことができる仕組みづくりを行うことで、安心して生涯住み続けたくなる持続可能なまちを目指します。

そのために、①地域コミュニティの活性化、②産官学など多様な主体との連携によるまちづくり、③健康づくりと生きがいづくり、④地域共生社会の実現、⑤自然環境の保全と脱炭素化の推進、⑥防災・防犯・安全対策の強化に取り組みます。

02 未来に輝く『ひと』を みんなで育むまちづくり

子育て支援の充実と教育環境の整備により出生数の増加を目指します。

そのために、①妊娠前からのきめ細かな子育て支援、②地域や家庭と協働した教育体制の充実に取り組みます。

03 魅力を生み出し 『ひと』がつどうまちづくり

本町への人の流れを生み出すため、本町が有する恵まれた自然や交通の利便さ等の優位性の発信により効果的な移住施策に取り組み、人口の社会増を目指します。

そのために、①移住・定住に向けた効果的な支援、②関係人口・交流人口の拡大、③インフラ整備による快適なまちづくりに取り組みます。

04 夢を叶え魅力ある 『しごと』を創り出すまちづくり

大学進学や就職をきっかけとした東京圏や福岡県への転出が多い若者が、本町に引続き住み続ける、または本町に再び戻りたいと思える魅力ある雇用の場の確保や創業するための施策を推進するとともに、就業人口が大幅に減少している第１次産業への新たな担い手や後継者の確保、また付加価値の高い商品開発や６次産業化による販路拡大により魅力ある農林水産業を目指します。

そのために、①中小企業育成と起業・創業支援、②第１次産業の振興に取り組みます。

日出町デジタル田園都市構想総合戦略
出所：大分県　日出町

わどまりちょう

和泊町

活力と潤いと魅力あふれる花の町

和泊町は、『敬天愛人』の理念を持ち、美しいエラブユリの咲き誇る「笠石海浜公園」や、国頭小学校にそびえる枝張り約22mもの「日本一のガジュマル」など花卉園芸を中心に生産性の高い農業に取り組むとともに，恵まれた地域資源を活用したタラソテラピー施設を整備し，『心と体と癒しの島』づくりにも取り組んでいるまちです。

また和泊町/沖永良部島は、サンゴ礁の広がる美しい海に囲まれており、ウミガメを多く見ることができるビュースポットも有しております。和泊町では、奄美群島専売品の黒糖焼酎をはじめ、周辺の海で獲れた新鮮な魚やエビ、夜光貝などの貝類、農業の島沖永良部ならではの、とりたて野菜や特産品であるジャガイモ、フルーツなどが食べられます。

出所：和泊町HP、観光サイト

資料提供
鹿児島県　和泊町
〒891-9112
鹿児島県大島郡和泊町和泊10
TEL：0997-92-1111

D. 基本目標と推進プロジェクト

4つの柱 1　地域資源をフル活用し、安定した仕事をつくる

- 地域資源高付加価値化事業（水産）
- 起業・開業等支援事業
- みへでぃろプロジェクト（環境保全型農業推進事業）
- みへでぃろプロジェクト（農林畜産業未来創造プロジェクト事業）
- 有機栽培推進事業

4つの柱 2　国内外からの交流人口の増加を目指す

- 移住・定住相談窓口支援
- 観光振興事業
- ようていあしばープロジェクト事業
- ようていあしばープロジェクト事業（ソフト）
- まちゅんどプロジェクト「つながりづくり」
- まちゅんどプロジェクト「環境づくり」

4つの柱 3　安心・夢・ゆとりのある子育て環境づくりを目指す

- まちゅんどプロジェクト「人づくり」
- むぅーるし、ふでぃらさープロジェクト
- 子ども・子育て支援事業

4つの柱 4　町民みんなが健康で、安心安全、自立した地域づくりを目指す

- みじらしゃエリアプロジェクト
- 癒しで健康づくり事業
- むぅるほうらしゃプロジェクト（自転車まちづくり）
- あたらむープロジェクト

E. 各プロジェクトの概要

4つの柱 1　地域資源をフル活用し安定した仕事をつくる

地域資源高付加価値化事業（水産）

実現したい未来	島内産水産物の船上活け締め・脱血手法の統一化による沖永良部島産鮮魚のブランド化及び漁業所得の向上。
実施内容	実施主体、行政が一体となって、鮮度保持技術の普及並びに産地PRを実施。現場では技術指導を通して高鮮度処理や出荷時における衛生管理手法の検討及び実践を行い、課題点等のブラッシュアップに努め、付加価値向上及び市場での信頼獲得を目指す。
数値目標［KPI］	平均漁業所得　1,486千円 → 1,634千円 島内流通量割合　30% → 33% （鮮度保持技術の徹底による漁業所得の向上を目指すこととしている。また、鮮度保持により鮮魚の長期活用が可能となる点等のメリットを周知することで、鮮魚店や飲食店を含めた仲買人に対する理解醸成や消費者の需要喚起を図り、島内流通割合の向上も目指していく。）

起業・開業等支援事業

実現したい未来	地域経済活動を活発化させ、地域の魅力を高め、地域住民の生活を豊かにする。
実施内容	商工会への町内の空き店舗・空き家の情報共有や、商工会・関係団体が行う若い世代の起業・開業支援に対して支援を行う。
数値目標［KPI］	商工会と協議し、今後の方向性を決めていくため設定していない。

矢印表示（→）のある場合、現在値 → 目標値（R11）を記載

みへでぃろプロジェクト（環境保全型農業推進事業）

実現したい未来	減農薬・減化学肥料農作物栽培による安心安全な食の提供及び地産地消による島内自給率を高め、台風などの災害に強いまちづくり。
実施内容	家庭菜園を普及させることで、野菜を持ち寄る集いの場ができ、楽しみながら地産地消につながる。さらに町民の意識が高まり生産量が増えれば、地元野菜を使ったレストランを併設した直売所を開設する。あわせて、島内自給率が向上することにより災害時でも食料物資難に対応できる強い町づくりを目指す。
数値目標［KPI］	一人当たり地場産品使用量　5,681（g/人）→ 8,522（g/人） （学校給食での地場産野菜使用料を少しでも増やしていくことで、自給率の向上を目指す。）

みへでぃろプロジェクト（農林畜産業未来創造プロジェクト事業）

実現したい未来	農業を体験することで、進路や職業選択の幅が広がり、今後の農業に関わる人材の創出が期待できる。また、食農教育の一環として「命の大切さ」や「作物を育てることの難しさ」を学び、こどもたちの心豊かな感性を養うことで、和泊町の明るい未来の実現が期待できる。
実施内容	和泊町内のこどもたちが農業を体験することで、農業の魅力を感じてもらい、農業高校や農業大学校等への進学、将来の農家創出及び和泊町農業の魅力発信等が期待される。また、食農教育の一環として、生産から出荷までの過程を体験することで「作物を育てることの難しさ」や「命の大切さ」を学んでもらう。
数値目標［KPI］	農業（高校・大学）校進学人数　1名 → 2名 （農業校への進学による担い手の確保参加対象者の幅を広げることで、農業の魅力発信）

有機栽培推進事業

実現したい未来	減農薬・減化学肥料による有機栽培を推進することで、安心安全な食の提供及び環境に配慮した農業の実現。
実施内容	自給野菜の栽培研修や堆肥助成を通じて、農薬・化学肥料の低減を図ることで、安心安全な作物栽培の普及を目指す。
数値目標［KPI］	堆肥助成した直売所の栽培品目数　50品目 → 60品目 （堆肥を活用した地場産野菜作りの面積拡大を図る。）

4つの柱 2

国内外からの交流人口の増加を目指す

移住・定住相談窓口支援

実現したい未来	町内の空き家を利活用することにより住宅不足を解消し、移住定住者用の住宅が整備され移住者が増加する。
実施内容	●移住情報サイト「くらすわどまり」の運営管理。 ●移住促進プロモーション活動。 ●移住・定住相談対応。 ●移住・定住者向けの環境整備。
数値目標［KPI］	Uターン者数（年間）　105人 → 150人 Iターン者数（年間）　24人 → 30人 （移住相談員を1名配置し、きめ細やかなサポートを実施する。）

観光振興事業

実現したい未来	●観光振興による交流及び関係人口の増。 ●域外からの消費額増による地域内経済の活性化。
実施内容	●観光協会の育成支援（事業連携・管理）。 ●観光・特産品販路拡大事業の実施。 ●観光業のDXの推進（モニタリングシステムの更新・運用）。 ●観光誘客イベント（ジョギング大会等）の開催。
数値目標［KPI］	島内入込客数　80,526人 → 90,959人 島内観光客数　24,543人 → 27,288人 （両町及びおきのえらぶ島観光協会にて行っている「第２次観光基本計画策定事業」にて今後の具体的な活動計画や目標を設定していく。）

ようてぃあしばープロジェクト事業（ハード）

実現したい未来	新たに建設する総合交流施設において、スポーツ大会や各種イベントの開催に加え、こどもから高齢者まで様々な世代の町民が気軽に訪れ、集い楽しむ場を目指し交流人口の増加を図る。また有事の際には防災機能を備えた避難場所としての活用を見据えた総合交流施設の建設。
実施内容	総合交流施設の建設規模・場所、児童・生徒数減少に伴う学校の統廃合の協議等財政負担軽減のための有効な補助事業の設定。「和泊町総合交流施設建設を更に推進する会」において、事業手法・トータルコストまで含め協議・検討し建設に向け取り組む。
数値目標［KPI］	交流人口（年間）　20,000人 → 30,000人 （総合交流施設建設後は各種団体等へ施設の積極利用を呼びかけ、各スポーツ活動（スポ少やクラブ活動、社会人）等を重点的に開催し相互交流を図り、併せてスポーツキャンプや合宿等誘致を積極的に行い交流人口の更なる増加を目指す。）

ようてぃあしばープロジェクト事業（ソフト）

実現したい未来	●スポーツ、レクレーション、文化・芸術、教養などの生涯学習情報を、町民がいつでも手軽に入手できる環境の整備。 ●町内のスポーツ情報を広く町民に発信することにより、関心と支援のための気運醸成。
実施内容	●生涯学習ポータルサイトの構築：総合交流施設での活動団体情報、講座・講演会情報、人材情報などの様々な学習情報を手軽に入手できるホームページの構築。 ●スポーツ情報発信・広報支援：小学生から高齢者までの活動情報（大会結果等含む）を広く町民にポータルサイトにおいて発信する。
数値目標［KPI］	生涯学習ポータルサイト構築 スポーツ情報発信・広報支援　0回 → 12回 （生涯学習ポータルサイト構築により様々な情報発信やイベント等の広報支援を行い、町民が手軽に情報を入手できるよう取り組む。）

まちゅんどプロジェクト「つながりづくり」

実現したい未来	島を離れた若年層とのコミュニティの構築。
実施内容	●（一社）おきのえらぶ島観光協会、（一社）シマスキと連携した交流イベントの開催。 ●島外居住の20～40代の島出身者及び沖縄会とのオンライン交流。 ●島外の若者及び沖縄会から移住に関する相談や質問を受けやすい仕組みづくり。 ●島出身者のこども（2世等）や島外在住者を対象にしたサマーキャンプの開催。
数値目標［KPI］	Uターン者数（年間）　105人 → 150人 （島外に居住する島出身者や沖縄会の2世・3世、移住希望者と交流イベントを通じて「つながり」づくりを行い、関係人口の創出を目的とする。）

まちゅんどプロジェクト「環境づくり」

実現したい未来	仕事、働き方のバリエーションが提示でき、住宅の選択肢が豊富にある。
実施内容	●若者の就業・起業支援策の検討。 ●えらぶ島づくり事業協同組合との連携による仕事紹介及び安定した雇用環境の確保。 ●住宅や土地情報を空き家バンクに登録し、情報発信を行い住環境の整備に努める。 ●移住者や地域住民とのつながりやコミュニティを形成するための移住者交流会の実施。
数値目標［KPI］	Uターン者数（年間）　105人 → 150人 （町内の空き家調査を実施し、所有者の意向調査（売却・賃貸等）を行い、空き家バンク「くらすわどまり」を活用し、柔軟な情報発信を行う。）

4つの柱 3

安心・夢・ゆとりのある子育て環境づくりを目指す

まちゅんどプロジェクト「人づくり」

実現したい未来	進学や就職で島を離れたこども達が、将来、島にUターンし、活躍する人材の創出。
実施内容	●島の魅力を学ぶイベントの企画、開催。 ●島の課題解決プログラムの企画、開催。 ●最先端技術を体験するイベントの企画、開催。 ●企業版ふるさと納税等を活用した公営塾の運営。
数値目標［KPI］	Uターン者数（年間）　105人 → 150人 （和泊町内の地域資源をフル活用し、島のこどもたちに学びの機会を提供することにより、将来の選択肢を広げる取組を積極的に実施する。）

むぅーるし、ふでぃらさープロジェクト

実現したい未来	子育て応援団体・地域団体との関係を構築し、家族以外の人との関わりにより豊かな子育て環境を整え、社会全体でこどもを産み育て「子育てが楽しい」と感じる町。
実施内容	●子育て関連イベントの開催。 ●子育てセミナーの開催。
数値目標［KPI］	子育てが楽しいと感じるか　62.4% → 70% （子育て関連イベントへの参加者を子育て力向上に関心を持つ人として捉えることができるため。）

子ども・子育て支援事業

実現したい未来	手軽に様々な情報を入手（情報のデジタル化）し、子育てに関する不安を解消し、ゆとりある子育て環境の整った町。
実施内容	●子ども家庭センターの設立 ●子育て支援アプリの導入
数値目標［KPI］	子育て支援アプリの導入　100% （子育て支援アプリの導入により取りこぼしなく子育て支援の提供ができる。）

4つの柱 4

町民みんなが健康で安心安全自立した地域づくりを目指す

みじらしゃエリアプロジェクト

実現したい未来	すべての町民が互いに助け合い、生きがいを持って暮らせる、あたたかい町。
実施内容	賃貸物件の情報提供や、セーフティーネット住宅の登録サポート、家賃債務保証の仕組みの導入など、住宅確保要配慮者に対する居住支援の取組を促進。
数値目標［KPI］	居住支援協議会にて今後の具体的な活動計画や目標を設定していくため未設定とした。

癒しで健康づくり事業

実現したい未来	タラソおきのえらぶ施設・設備の適切な改修等を行い、利用したすべての人が、心身ともにリラックスして健康となる「癒しと健康の施設」を目指す。
実施内容	老朽化した施設・設備の補修・充実等を図るとともにサービススタッフの接遇向上のための研修や運動メニューを創意工夫する人材育成にも力をいれ、利用者が楽しく過ごせる環境作りや満足度向上・心身の健康増進を推進する。
数値目標［KPI］	体重減少者割合　50% → 65% 満足度　80% （補修診断を実施し計画的に補修を行うことにより、臨時休館を減らしたり、利用者が楽しく過ごせる環境をつくり、満足度の向上につなげる。）

むぅるほうらしゃプロジェクト（自転車まちづくり）

実現したい未来	町民が日常的に自転車を利用することで健康増進を図り、医療費の削減につなげる。自転車関連のイベントや事業が増え経済・産業の活性化に繋がる。自動車利用が減ることで環境負荷の低減につなげる。
実施内容	自転車レーンの設置等、自転車を利用しやすい交通環境づくりを行い自転車の活用を推進することで、町民の健康増進を図るとともに、車から自転車への移動手段の移行による環境負荷の低減を図る。また観光客の移動手段の選択肢を増やし、観光で町を訪れる人々も、この町に住む町民も、今まで見過ごしていた町の景色や自然に目を向け、ゆっくり町を移動することで、心豊かな空間と時間を創出します。そして新たなサービスの創出や暮らしを楽しく豊かにするための施策を実施します。
数値目標［KPI］	自転車利用によるCo2排出削減量　163kｇ （業務時間における出動回数を増やすことでCo2削減効果を高めることとなるため。）

あたらむープロジェクト

実現したい未来	●町民の意識転換が図られ、ごみの排出抑制、適正分別・適正処理が行われることによる再資源化の促進、循環型社会の構築。 ●ごみの減量化に伴うごみ処理施設の長寿命化及び二酸化炭素排出量の削減。
実施内容	●ごみの排出抑制、適正処理等に関する周知、啓発、広報。
数値目標［KPI］	ごみ排出量　1,990ｔ → 1,793ｔ （町民一人ひとりの意識改革と同時に、引き続きごみの減量化・分別等の再資源化を図っていく。両町・衛生管理組合とも連携をとり、周知・啓発運動・広報等にも引き続き取り組んでいく。）

いせんちょう
伊仙町

健康と長寿と子宝の島
～徳之島・伊仙町

伊仙町は、徳之島の南西部にあるまちです。島内には、数多くの鍾乳洞が存在し、琉球石灰岩の断崖の「犬田布岬」浅井岩場とサンゴの砂浜のある「喜念浜」、まち北部の犬田布岳の山林は奄美群島国立公園の一部に指定されるなふど自然にあふれたまちです。

また、美しい海に囲まれていることから「瀬田海海浜公園」や「喜念浜海岸」、「小原海岸展望台」といった多くのレジャー観光施設もあり、伊仙町の海では12月頃にはクジラを観ることもできます。

また、伊仙町では昔から闘牛の習慣があり、現在でも多くの観光闘牛場や闘牛の飼育を行っている家が数多く存在します。また、世界最高礼者泉重千代翁の出身地でもあり、その像は長寿を願って多くの観光客が訪れます。

出所：伊仙町HP、観光サイト

資料提供
鹿児島県　伊仙町
〒891-8293
鹿児島県大島郡伊仙町大字伊仙1842
TEL：0997-86-3111
FAX：0997-86-2301

伊仙町

いま、私たちがしたいことはコレ!

01 .地域の人的関係資源を基盤にした集落・小学校単位のまちをつくる事業

- 小規模校を残す集落単位のまちづくり
- 全世代・全員活躍型「生涯活躍のまちづくり」の推進（伊仙町版「新」ＣＣＲＣ）
- SDGs を見据えた持続可能なまちづくり
- 新庁舎建設と役場力の向上・公共施設の有効活用
- 地域と地域の連携

02 子宝日本一の伊仙町で地域に支えられた結婚・出産・子育て・教育を実現する事業

- 安心できる結婚・出産の環境整備
- 子育て環境の充実
- 子育てと仕事の両立支援
- 学校教育・地域教育の充実
- 伊仙町らしいきめ細かい地域アプローチ

03 多様な形で関わる「関係人口」を地域の力へ事業

- 伊仙町への多世代 UI ターンの推進
- 技能のある関係人口の受け入れと社会事業化
- 学び、人間再生の場としての関係人口創出
- 「子宝のまち」の魅力情報発信

04 稼ぐ地域を作り、安心して徳之島へ戻れる雇用を創出する事業

- 伊仙町農業振興計画の推進
- ６次産業化と販路拡大
- 人材育成・人材活躍支援
- 企業誘致・創業支援
- 民間との連携強化

05 新しい時代の流れを取り込み離島の強みをさらに伸ばす事業

- 伊仙町における Society5.0 の推進
- 地方創生・SDGs など持続可能で自立的なまちづくり

伊仙町まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：伊仙町HP

かごしまし

鹿児島市

つながる人・まち
彩あふれる
躍動都市・かごしま

鹿児島市は、九州の南端、鹿児島県本土のほぼ中央部にあり、北は姶良市、西は日置市、南は指宿市などと接しています。島津氏の城下町として発展し、個性にあふれた歴史と文化が築かれています。

市街地の眼前に広がる雄大な桜島と波静かな錦江湾をはじめ、多彩な自然資源に恵まれるとともに、業務・商業機能などの都市機能が集積した魅力ある都市空間が形成されています。

また、新幹線の南の発着点である鹿児島中央駅をはじめ、高速交通網、鹿児島港やマリンポートかごしま、本市と短時間で結ばれ国際線を有する鹿児島空港など、国内外とのダイナミックな交流を支える基盤を備えています。

出所：鹿児島市HP

資料提供
鹿児島県　鹿児島市
〒892-8677
鹿児島県鹿児島市山下町11番1号
TEL：099-224-1111

鹿児島市

いま、私たちがしたいことはコレ!

鹿児島市の地方創生に向けた４つの基本目標

・ＩＣＴ等を活用した地域産業の生産性向上
（スマート農業の推進等）
・事業承継を支援する体制の充実
・新事業・新産業創出の支援
・新規創業者等の育成支援
・若い世代をはじめとする雇用機会の拡大　など

稼げるしごとで活力を
「つくる」

・若い世代の経済的安定
・結婚の希望の実現
・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
・子育て支援の充実
・ワーク・ライフ・バランスの推進
・女性活躍の推進　など

結婚・出産・子育ての希望を
「かなえる」

あなたとわくわく
マグマシティ
鹿児島市

ひとが集うまちの魅力を
「みがく」

・鹿児島ユナイテッドＦＣトレーニング施設整備支援
・鹿児島レブナイズブースター拡大支援
・“世界に選ばれるまち KAGOSHIMA”づくりの推進
・自然、歴史・文化、食などの魅力活用
・花や緑、公園緑地の充実
・観光客受入体制の充実　など

ひと・まちを多彩に
「つなぐ」

〔かごしま創志塾（グローバル人材の育成）〕

・互いに支え合う温もりのある地域社会の形成
（合併５地域の魅力づくり・活力向上の推進）
・国内外の都市との連携・交流の推進
・移住の促進
・ふるさと教育の推進と大学との連携強化
・関係人口の創出・拡大　など

出所：鹿児島県　鹿児島市

しぶし

志布志市

志あふれるまち

志布志市は、鹿児島県東部、志布志湾の湾奥ほぼ中央に位置しています。東西約23km、南北に約18kmの扇形の区域で、総面積290.21平方キロメートルとなっており、隣接する大崎町に1.02平方キロメートルの飛地を有しています。北部から東部にかけて丘陵山間地帯で、市域面積の6割を占める森林地が広がる傾斜の多い地形となっています。中央部から西部にかけてはシラス台地が広がり、志布志湾に向けて穏やかな勾配となっています。

海岸部一帯は、日南海岸国定公園に指定されており、亜熱帯性の植物が繁茂し、沖合いの枇榔島亜熱帯性植物群落は国の特別天然記念物に指定されています。また、中央部には物流拠点港湾かつ九州唯一の国際バルク戦略港湾である志布志港があり、南九州地域の国内・国際物流拠点となっています。近年、志布志港の背後には、東九州自動車道や都城志布志道路の整備が進み、南九州各都市からの交通アクセスが向上し、今後、さらなる発展が期待されます。

出所：志布志市HP

資料提供
鹿児島県　志布志市
〒899-7192
鹿児島県志布志市志布志町
志布志二丁目1番1号
TEL：099-472-1111

企業の皆様へお願いしたい、「志布志市」の寄附対象事業を紹介します

第２次志布志市まち・ひと・しごと創生総合戦略（改訂版）で定める４つの基本目標と、取組の一部をご紹介します。

基本目標１　稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする

- 農林水産業の成長産業化
- 新規就農支援
- 志布志港の輸出拡大
- 企業誘致
- 国内貨物の志布志港利用促進
- 地元活躍人材育成

農林水産物・食品などの輸出支援

就職合同説明会開催など を通じた各種雇用支援

南九州の物流拠点「志布志港」の整備促進

市農業公社などでの新規就農支援

基本目標２　ひとや企業とのつながりを築く

- 都市住民向けPR
- 移住定住の拡充
- まち思い人材育成
- 関係人口創出・拡大
- 官民連携推進

志布志市移住・交流支援センター Esplanade（エスプラネード）中心とした各種支援

ふるさと納税を通じた特産品振興

移住イベントへの出展

官民連携の取組推進

基本目標３　結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

結婚新生活等の若年層支援

デジタル教科書の導入

市子育て支援センターでの各種支援

土曜教室（志学教室）の開催

- 結婚支援
- 妊娠・出産期の各種サポート
- 子育て支援
- 仕事と子育ての両立支援
- こころざしアップ教育推進

基本目標４　魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる

乗合送迎サービス「チョイソコしぶし」などの地域公共交通の確保

サッカーフェスティバル開催やスポーツ合宿の推進

志布志湾を一望！ダグリ岬公園をはじめとした観光地整備

歴史のあるまちづくりへ向けた取組（志布志城）

- 快適な生活支援
- 商工業のにぎわい創出
- 公共施設の最適化
- 広域連携の推進
- 観光のパワーアップ
- 安心な暮らしの推進
- 環境にやさしいまちの推進
- 地域防災力強化

いちき串木野市

ひとが輝き　文化の薫る
世界に拓かれたまち

本市は、日本三大砂丘の一つである吹上浜の北端に位置し、東シナ海と山々に囲まれた地形がもたらす清らかな地下水や温泉、温暖な気候など豊かな自然に恵まれ、金鉱業と遠洋まぐろ漁業のまちとして栄えてきた歴史を有しており、まぐろや焼酎等の特産品が豊富な「食のまち」です。

現在は、これまで築いてきた歴史や文化、地域資源を次の世代へと確実に引き継いで行くために、次代を担う子どもや若者の成長を支える環境づくりに力を注いでいます。

保育料、給食費、医療費の３つの無償化など多様な子育て支援策に加え、若者・女性が自己実現のために挑戦できる環境整備に取り組んでいます。こうした取組みを通じて、若者や女性から選ばれる魅力あるまちづくり、そして、すべての世代が安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

出所：鹿児島県　いちき串木野市

資料提供
鹿児島県　いちき串木野市
〒896-8601
鹿児島県いちき串木野市昭和通133番地1
TEL：0996-32-3111

01 住み続けられるまちづくり事業

（1）食を核とした産業基盤の強化（食のまちづくり）
（2）人材還流や雇用マッチングによる地元就業の推進
（3）再生可能エネルギー導入促進による地域振興（環境維新のまちづくり）

【具体的な事業】
- 国内外販路開拓支援事業
- 人材還流・移住促進推進事業
- ICTを活用した働き方創出事業
- ゼロカーボンシティ推進事業

02 子どもの未来を育むまちづくり事業

（1）利用者目線で行う子育て支援
（2）子どものやる気と才能を引き出すまちづくり

【具体的な事業】
- 長崎鼻公園リノベーション事業
- 出会いサポート事業
- 子育て安心サポート事業
- SATSUMA-STUDENT育成事業

03 自慢できるまちづくり事業

（1）まちの魅力を高めるシティプロモーションの展開
（2）多様な人材が活躍できる場の形成

【具体的な事業】
- 食のまち磨き上げ事業
- 食のまちツーリズム事業
- わがまち自慢推進事業
- 多文化共生推進事業
- 関係人口創出・拡大事業

第2期いちき串木野市まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：鹿児島県　いちき串木野市

チャレンジングなまち推進事業

【総事業費：30,000,000円】

若者が挑戦できるまちへ！

20代、30代の若者の流出に歯止めをかけるため、若い世代が、学びや多様な主体との交流を通じて、多様な働き方や自己実現のために新しいプロジェクトなどにチャレンジできる場を提供するなど、若者の挑戦を支援します。

座学やフィールドワークなどを通じて地域課題等の解決に取り組むローカルイノベーターの育成と、若者が集まり、交流などを行うコミュニティの形成により、若者が成長を実感し、仲間とともに多様なキャリア形成にチャレンジできる魅力あるまちづくりに取り組みます。

長崎鼻公園リノベーション事業

【総事業費：699,589,000円】

幅広い世代の憩いの場に！

長崎鼻公園は、吹上浜金峰山県立自然公園の一部で、東シナ海に突き出た松の緑と海の青が美しい景観を有し、昭和39年の開設以降、多くの人々に親しまれてきました。しかし、近年では遊具施設等の老朽化等により、憩いや交流の場としての魅力が低下し、利用者が減少しています。

そのため、天候に左右されず子どもたちが遊べる屋内遊戯施設やカフェを備えたにぎわい施設や、インクルーシブ遊具の導入、多目的広場の整備など幅広い世代が集い、交流し、誰もが快適に過ごせる空間へと整備します。

上記以外の事業については、いちき串木野市公式ホームページに掲載しています。

やえせちょう

八重瀬町

大地の活力とうまんちゅの魂が創り出す自然共生の清らまち

八重瀬町は都市化の傾向にある一方、都市近郊型の農業振興地域として農業が盛んに営まれており、緑豊かな田園の風景や朝日、夕日、青い海などの自然が人びとの心を癒してくれる町です。

産業としては、肥沃な土壌を活かした農業が盛んで「さとうきび、ピーマン、レタス、ゴーヤー、オクラ、紅いも、洋ラン、小菊、マンゴー、ドラゴンフルーツ」など彩り鮮やかな作物が数多く生産されており、養豚・酪農も盛んに行われています。太平洋という豊かな漁場を有していることもあり、海の幸も 豊富です。近年は、地ビール、泡盛、黒糖、染物、加工食品、資源リサイクル品の生産など商工業も活気付いています。

町内には現存する最古のシーサーといわれる富盛のシーサーがあり、沖縄県指定有形文化財に指定されています。

出所：和泊町HP、観光サイト

資料提供
沖縄県　八重瀬町
〒901-0492
沖縄県島尻郡八重瀬町字東風平1188番地
TEL：098-998-4745

いま、私たちがしたいことはコレ!

01 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望を叶え、いきいきと活躍できるまちづくり事業

1. 子育て支援員等を配置し、子育てにかかわる課題など総合的に支援す る。
2. 情報通信技術を活用し、各学校のニーズに合わせた遠隔授業を推進等

02 新しいひとの流れをつくり、都市と集落の共存するまちづくり事業

1. 良好な住環境を形成し、町内外の宅地需要を取り組む。
2. 南部広域で連携した観光振興の推進等

03 八重瀬町を舞台にチャレンジするひとや企業を応援し、新たな雇用創出事業

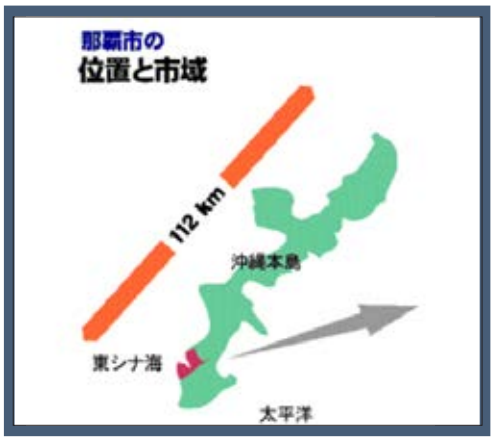
1. 農業の生産基盤整備等により生産性を高め、農家の所得を向上
2. 現状の商工業の強化と、新たな産業の創出等

04 ひとと自然が共生し、調和のとれた安全・安心なまちづくり事業

1. 様々なひとが安全・安心・快適な暮らし を享受可能なまち
2. 増大する自動車交通に依存しすぎない新交通システムの導入に向けた 交通環境の創造・検討等

八重瀬町まち・ひと・しごと創生推進計画
出所:八重瀬町HP

なはし
那覇市



夢をかたちに、笑顔をくらしに、元気をまちに。
なはが好き！みんなで創ろう
子どもの笑顔が輝くまち

那覇市は、観光が盛んな長い歴史や諸外国との交流の中で、人々の生活に根付いて育まれた独特な文化を持つまちです。

観光のメインスポットとして首里城公園があり、首里城は琉球王国の時代に造られたこともあり、中国と日本の築城文化が融合した独自の建築様式や石組み技術が用いられており、文化的・歴史的評価が高く人気なスポットになっております。

また、那覇市には琉球料理といった沖縄独自の調理法、材料を用いた歴史的に受け継がれてきた料理があります。名産品としては、伝統工芸の壺屋焼や泡盛があります。

出所：那覇市HP、観光サイト

資料提供
沖縄市　那覇市
〒900-8585
沖縄県那覇市泉崎１丁目１番１号
TEL：098-867-0111

01 子育てが楽しくなるまち「なは」事業

1. 保育サービスの需要に対応した供給確保
2. 就学前児の教育・保育の質の確保
3. 多様な保育サービスの充実
4. 妊娠・出産等に対する支援
5. 働き方を見直し社会全体で支える子育て環境の整備
6. NPO や地域の子育て人材等との連携による子育て支援策の推進
7. 子育てに希望がもてる情報の発信
8. 中心市街地への子育て世帯の誘導
9. 子どもの貧困対策の推進

02 希望と活力あふれ暮らし働けるまち「なは」事業

1. 那覇市の特色に応じた成長産業分野のさらなる成長促進
2. .創業支援、企業誘致等による新たな雇用の創出
3. 地元企業の競争力の維持・向上
4. 教育プログラムを通した“グローカル”な人材育成の推進
5. 幅広い世代のキャリア形成や就労支援の推進
6. ITCを活用した質の高い教育の提供
7. 生活者となる外国人の支援
8. 誰もが移動しやすいまちをつくる
9. 家族の介護を抱えている方々が安心して暮らせるまちをつくる
10. 高齢者が安心して暮らせるまちをつくる
11. まちの魅力をPRする
12. まちの魅力を磨く

03 みんなが健康で協働するまち「なは」事業

1. 生涯を通じた健康づくりの推進
2. 健康づくりを支える地域環境の整備促進
3. 市有財産等を有効活用した多世代交流の推進
4. シニアを含めた地域を支える人材の情報を集積し、次世代へ知恵をつなぐまちづくりの推進

那覇市まち・ひと・しごと創生総合戦略
出所：那覇市HP

よ な ば る ち ょ う

与 那 原 町

**「みんなで創ろう　活気あふれる
美らまち与那原」**

～平和と文化・伝統を未来へ綱げて～

与那原町は海と緑にあふれ、自然豊かでありながら、マリーナや公園、商業施設などが集まるコンパクトタウンであり、「与那原大綱曳」をはじめとした伝統文化も多く引き継がれているまちです。

「与那原大綱曳」は与那原で最大級の神事であり、440年あまりの歴史と伝統を誇り、東西あわせて90メートル、重さ5トンの大綱を「つくる」、「かつぐ」、「ひく」が体験できるお祭りです。また、大綱の担ぎ手は訪問客・観光客誰でもが参加ができるため、多くの方が観光に訪れます。

また、港町として栄えていたことからも多くの観光スポットを有し、特産品やグルメを堪能できるまちでもあります。

出所：与那原町HP、観光サイト

資料提供
沖縄県　与那原町
〒901-1392
沖縄県島尻郡与那原町字上与那原16番地
TEL：098-945-2201
FAX：098-946-6074

1 安心して働けるまち

稼ぐ地域をつくり安心して働けるようにするとともに、新しいひとの流れをつくる

地域の魅力を活かした観光振興、特産物を活かした商品開発・ブランド化や消費拡大に取組み、雇用創出、地元産業の育成を図ります。

事業例：与那原町魅力発信事業、水産業強化支援事業　など

2 子育てにやさしいまち

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

取組み例

妊娠から出産・子育てまでの一貫した支援やサポート体制の充実、教育の充実ときめ細かな支援に取組みます。

事業例：子ども医療費助成、子どもの居場所づくり事業　など

3 安心して暮らせるまち

人が集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる

取組み例

安全・快適な交通環境の整備、防犯・防災強化の取組などを行いつつ、環境に配慮したエコなまちづくりに取組みます。

事業例：交通安全施設整備事業、災害対策備蓄整備事業、公用車のＥＶ化　など

いま、私たちがしたいことはコレ！

笑顔あふれるやさしいまち 子育てにやさしいまちづくり

本町では、安心して子育てができるまちづくりを目指しており、すべての子どもに寄り添ったきめ細やかなサービスを提供します。

与那原町創生総合戦略　基本目標２
「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

寄附金の使途（取組例）

町の取り組んでいる事業の一例をご紹介します。

●子ども医療費助成の拡充継続

子育て世帯の経済負担の軽減を図るため、子どもの入院・通院にかかる医療費の自己負担分を助成する事業。高校生世代までの入院費助成を拡充して実施中。

●認可外保育園助成事業

認可外保育園の利用者に対して、保育料の一部を助成する事業。

●障がい児の受け入れ支援事業

障がいのある子どもの受け入れのため、保育士・職員を加配（かはい）した保育園に対して、補助金を交付する事業。

求めている企業様　町では、これらの取り組みを継続していくために、次のような企業様を求めております。

- 未来を担う子どもたちの成長を応援したい！
- 子育てにやさしいまちづくりを応援したい！

平和の心でつながる教育文化のまち 学校教育の充実

本町では、子どもたちが「確かな学力」を身に付けられるように、教育環境の充実を目指しています。

寄附金の使途（取組例）

町の取り組んでいる事業の一例をご紹介します。

●ＡＬＴ（外国人英語指導助手）の配置

小・中学校へのＡＬＴ配置による英語教育の充実を図る事業。

●海外短期留学派遣

国際性豊かな人材育成を目的として子供たちの海外短期留学派遣に対して、旅費の一部を助成する事業。

●電子黒板の整備

小・中学校へ電子黒板を整備することで学校ＩＣＴの充実を図る事業。

●各種検定補助金

中学生を対象に各種検定（英検、数検、漢検）の検定料の一部を助成する事業。

●学習支援員・特別支援教育支援員の配置

学習に遅れのある児童・生徒や特別な支援を必要とする児童・生徒に対して学力、学校生活の支援を目的として各種支援員を配置する事業。

与那原町創生総合戦略　基本目標２
「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

求めている企業様　町では、これらの取り組みを継続していくために、次のような企業様を求めております。

- 未来を担う子どもたちのため、教育環境の充実を応援したい！

安心・安全なエコタウン

本町では、町民が「安心」して暮らせるよう「安全」で「エコ」なまちづくりを目指しています。
自主防災組織の育成や強化、町内へのＬＥＤ防犯灯の整備、ごみの減量化などに取り組んでいます。

寄附金の使途（取組例）

町の取り組んでいる事業の一例をご紹介します。

●ＬＥＤ防犯灯の整備

町内各地へＬＥＤ防犯灯を設置し、夜間における歩行者の安全確保や犯罪防止を図る。

●防犯灯電気料金の補助

各行政区に対して、防犯灯の電気料金の一部を助成し、負担軽減を図る事業。

●自主防災組織への補助金

自主防災組織の育成推進のため、各行政区に対して活動費の一部を補助する事業。
現在、全１３自治区が組織を立ち上げ、活動中。

●太陽光発電システム設置補助

脱炭素社会を目指した取り組みとして、太陽光発電システムの設置料の一部を助成する事業。

●生ごみ処理機等購入補助

ごみ減量と再資源化を推進するため、生ごみ処理機等の購入費の一部を助成する事業。

●クリーンエネルギー自動車の導入

公用車の更新の際に、走行時の排出ガスが少ない、または全く出ない環境にやさしいクリーンエネルギー自動車を導入する。

与那原町創生総合戦略　基本目標３
「人が集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる」

求めている企業様

町では、これらの取り組みを継続していくために、次のような企業様を求めております。

- 脱炭素に向けた取り組みを応援したい！
- 安心・安全なまちづくりを応援したい！

おきなわし
沖縄市

国際文化観光都市

沖縄市は戦後、米軍基地の門前町として興隆した中心都市であり、民謡やオキナワンロック、エイサーなどの多くの芸能が生まれ、世界40数カ国の人々が暮らす国際色豊かな活気にあふれるまちです。

３日間で延べ３０万人の観客動員数を誇る沖縄県内最大のエイサーまつり「沖縄全島エイサーまつり」や沖縄の伝統文化とアメリカやアジアの文化が交じり合った、国際的で独特な風土を活かした「国際カーニバル」など大きぼなイベントが多く開催されております。

また、夏にはピースフルラブ・ロックフェスティバルといった音楽フェスが有名です。

名物においても沖縄県の「チャンプルー文化」を有して おり、しかしながら国際色の豊かさを活かした多国籍なまぜこぜの「沖縄市風」といった郷土料理が味わえます。

出所：沖縄市HP、観光サイト

資料提供
沖縄県　沖縄市
〒904-8501
沖縄県沖縄市仲宗根町26番1号
TEL：098-939-1212

沖縄市

いま、私たちがしたいことはコレ！

【基本目標１】
稼ぐ力を高めるとともに、
新しいひとの流れをつくる

【主な取組】
・地域を支える産業の競争力強化
・創業支援と人材の育成・定着
・多様な産業と連携する持続可能な農水産業の振興
・つながりを活かした交流の促進
・観光による交流の促進　　等

【基本目標２】
結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【主な取組】
・若い世代と子育て世代の就労支援
・質の高い保育を提供する
・地域におけるこどもの居場所づくりを推進する
・こどもたち一人ひとりの可能性を伸ばす
・親子の健康を守りこどもの発達を促進する
・こどもを大切に育てるための環境をつくる　　等

【基本目標３】
安心して暮らすことができる
魅力的な地域をつくる

【主な取組】
・地域の特性を活かした快適な都市を形成する
・市街地の機能向上を図る
・安全で快適な交通環境を整備する
・住生活の安定の確保に取り組む
・魅力あるレクレーションや憩いの場等と創出する
・健全で安定的な上下水道の事業を推進する
・文化によるまちづくりを推進する
・いつでもどこでもだれでも学び
　スポーツができる環境をつくる
・認め合い支えあう地域づくりを推進する
・人権を尊重する地域社会づくりを推進する
・地域共生社会を推進する
・高齢者が躍動する社会づくりを推進する
・障がいの有無にかかわらず自らの能力を
　最大限に発揮できるまちをつくる
・自立に向けた安定的な暮らしと社会参加を促進する
・ライフステージに応じた健康づくりを推進する
・強さとしなやかなさを備えたまちを築く
・消防、救急、救助体制を強化する
・防犯対策を推進し安全、安心なまちを築く
・地域とともに交通安全対策をすすめる　　等

いま、私たちがしたいことはコレ!

☆沖縄アリーナ推進事業☆

沖縄アリーナは、「未来を創り、地域を活性化するアリーナ」をコンセプトに、バスケットボールを中心とした、スポーツ興行を開催する「観せる施設」に加え、コンサートやコンベンション等を開催する「使いやすい施設」、そして、夢と感動を与える「1万人規模の施設」として、沖縄市活性化の起爆剤とすべく、R3年3月28日に供用開始しました。

沖縄アリーナに全国的なイベントを誘致し、県内外から人々が集う観光誘客施設とするため、駐車場等を含めた周辺環境の整備をすすめています。

☆沖縄こどもの国整備事業☆

沖縄こどもの国は、県内唯一の本格的な動物園として、市民をはじめ多くの県民に親しまれている施設です。

日本一ユニークな動物園をめざし、動物舎のリニューアルや新たな動物導入をおこなうとともに、誘客イベント等のソフト事業を展開しています。

☆(仮称)沖縄サーキット整備事業☆

沖縄市では、モータースポーツの振興による滞在型観光の推進及び雇用の創出等を目指し、本格サーキットとなる「（仮称）沖縄サーキット」の実現に取り組んでいます。

令和3年4月に、短期ビジョンであるモータースポーツ競技等で多目的に活用できる広場として「モータースポーツマルチフィールド沖縄」の供用を開始しました。モータースポーツマルチフィールド沖縄の管理運営をはじめ、モータースポーツの普及促進など、（仮称）沖縄サーキットの実現に向けた様々な事業を展開します。

う　る　ま　し

うるま市

人と歴史が奏でる自然豊かな
やすらぎと健康のまち

うるま市は、沖縄本島中部の東海岸に位置し、沖縄の古くからの文化や芸能が多く残る地域です。
世界遺産の勝連城跡をはじめ、歴史的な遺産も点在し、エイサーや闘牛などの伝統文化も豊富で、手つかずの自然や原風景が残る観光スポットとして広く愛されています。「

さんごの島」という意味を持つ沖縄の言葉「うるま」から名付けられたうるま市。景観の見事な沖縄の島々を示す言葉でもあることから、その名のとおり、コバルトブルーの海に囲まれた島々と美しい橋「あやはし」で結ばれる、『海』・『橋』・『空』が調和した風光明媚なまちとして知られています。

また、うるま市には「神の住む島」浜比嘉島、「かつての交易の地」平安座島、「透き通ったビーチが点在する島」伊計島、「風光明媚な高台の島」宮城島、「キャロット愛ランド」津堅島とそれぞれ特徴的な様々な島がありそれらを繋ぐ海中道路を利用した観光事業が発達しています。

出所：うるま市HP、観光サイト

資料提供
沖縄県　うるま市
〒904-2292
沖縄県うるま市みどり町一丁目１番１号
TEL：098-923-7612

うるま市が実施する地方創生プロジェクトについて

ア　魅力ある安定した雇用の場を創出する事業

（１）商工業の活性化支援
（２）農水産業の活性化と高度化
（３）観光関連産業の活性化

イ　本市への新しいひとの流れをつくる事業

（１）移住・定住の促進
（２）企業の地方拠点化と就労拡大

ウ　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

（１）結婚支援
（２）妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援
（３）教育環境の充実

エ　快適で安心して暮らせるまちをつくる事業

（１）利便性と快適性向上の生活基盤の整備
（２）生活サービス機能の充実
（３）安全・安心なまちづくり

いへやそん
伊平屋村

「てるしの」の島
うるおいと活気あふれるたのしい村

伊平屋村は手つかずの自然と歴史浪漫、伝説の残る島にあるまちです。

その為、自然を体感するマリンスポーツ、自然散策。さらに、史跡や伝説を訪ねることができます。

その伊平屋村の中でも、沖縄屈指のターコイズブルーの海を見ることができる「野甫港」や天の岩戸伝説の最南端の地ともいわれている沖縄県の天然記念物の「クマヤ洞窟」、国指定天然記念物に指定されている一本の末から枝が広がった松の「念頭平松」が有名です。

また伊平屋島はエイサーやマラソン、広大な美しい海を用いた伝統行事や祭りが一年中あふれていることから「民俗学の宝庫」といわれています。

出所：伊平屋村HP、観光サイト

資料提供
沖縄県　伊平屋村
〒905-0793
沖縄県伊平屋村字我喜屋251
TEL：0980-46-2001
FAX：0980-46-2956

伊平屋村

いま、私たちがしたいことはコレ!

01 島の未来は 教育がつくる

【具体的な事業】
1. 島発ち教育推進事業
2. 国際理解、郷土教育推進事業
3. 幼児教育・学校教育推進事業

02 女性と子どもが大切にされ、すべての住民が安心して暮らす島事業

【具体的な事業】
1. ジェンダー平等社会実現事業
2. 次世代・女性活躍支援室設置事業
3. 離島保育士確保対策事業

03 里山・里海を活用した産業が息づく島事業

【具体的な事業】
1. 伊平屋村産業経済活性化協議会設置事業
2. 各種協同組合等制度導入事業
3. インキュベーション施設機能強化事業

04 安全安心・快適な暮らしを支える しまづくり事業

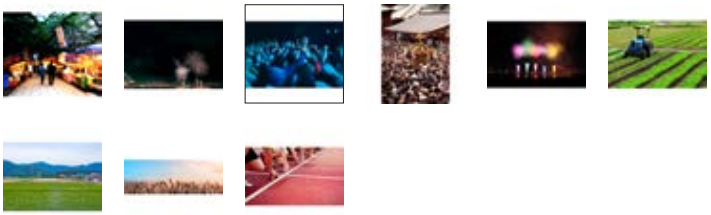
【具体的な事業】
1. 海上交通整備事業
2. 港湾施設整備事業
3. 島内交通整備事業

05 豊かな自然と歩み続ける島事業

【具体的な事業】
1. 環境教育推進事業
2. 海洋環境保全事業
3. 里山・里海の生態系保全活動推進事業

06 共創・協働によるむらづくり事業

【具体的な事業】
1. 共創・協働によるむらづくり推進事業
2. 移住定住促進事業
3. 地域おこし協力隊配置事業



伊平屋村まち・ひと・しごと創生推進計画
出所:伊平屋村HP

とみぐすくし

豊見城市

ひと・そら・みどりがつなぐ
響（とよ）むまち　とみぐすく

豊見城市は、地先等への企業誘致、雇用拡大を行うことで新たな活力が生まれ、全国の市を対象に集計された「全都市/成長力ランキング」において、常に上位にランキングされているほどの成長力のあるまちです。

また、土壌が保水性に富んでいるため、昔から農業の盛んであり、戦前はサトウキビ、戦後は葉野菜づくりが行われてきました。近年ではこれらに加え、ビニールハウス栽培などを中心に都市近郊型の農業がおこなわれ、マンゴー、トマトなどが栽培されています。さらに、サトウキビの葉、穂を染料とした「ウージ染め」が開発され、ウージの自然な風合いと優しいやすらぎの色が特徴の染物が本市の特産物になっております。

また、ウミカジテラスやオリオンECO美らSUNビーチなど、沖縄ならではの観光名所もあり、多くの方が訪れます。

出所：豊見城市HP、観光サイト

資料提供
沖縄県　豊見城市
〒901-0244
沖縄県豊見城市宜保一丁目１番地１
TEL：098-850-5876

寄附
募集中

豊見城市の地方創生プロジェクト
令和2年3月内閣府認定　地域再生計画

ワク・ドキこども未来プロジェクト

豊見城市は年少人口（0歳～14歳）の割合　日本一！

（令和3年１月1日現在、市区別）

このプロジェクトは、こどもが多く活気あふれる本市において、**グローバルに活躍できる人財を育成する**ことを目的としています。

未来を担うこどもたちが世界へ羽ばたく人財となるため企業の皆様からの応援をお待ちしています！

皆様からいただいた寄附金は、「豊見城市地域再生計画基金」に積み立て、ワク・ドキこども未来プロジェクトに活用させていただきます。

令和４年度から、こどもたちの非認知能力の育成を目的とした『とみぐすくミライアカデミー』を開講しました！

豊見城市まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：豊見城市HP

おんなそん

恩納村

恩(めぐみ)の青 豊かな緑 輝く人々
未来へつなごう恩納村

恩納村は沖縄本島のほぼ中央部西海岸側に位置し、北に名護市、東に宜野座村、金武町、うるま市石川地区（旧石川市）、南に沖縄市、読谷村の各市町村と隣接しています。うるま市石川地区（旧石川市）と隣接する部分は沖縄本島の東西にもっとも狭い地域にあたります。

西側は東シナ海に面し、東側は恩納岳を中心に、北から漢那岳、熱田岳、ブート岳、屋嘉岳、石川岳、読谷岳などの山々に囲まれ、さらにこれらの山々を源とする小さな川が40近くあり、山や川、海などの変化に富んだ自然豊かな村です。

出所：恩納村HP

資料提供
沖縄県　恩納村
〒904-0492
沖縄県国頭郡恩納村字恩納2451番地
TEL：098-966-1201

恩納村ってどんなとこ??

県内有数のリゾート地「恩納村」

【場所】
沖縄県の那覇空港より北に約50㎞、国道58号線を**車で1時間程度**

【地形】
西の海岸線全域が沖縄海岸国定公園に指定され、東側は丘陵地や山林

【概要】
- 表紙の「万座毛」、「真栄田岬」や「サンゴ礁」など**風光明媚な自然環境**
- 世界有数の「ハレクラニ」や「ハイアット」などの**リゾートホテルが18棟**
- 日本屈指の「PGMリゾート」などロングコースの**ゴルフ場が3ヶ所**
- 世界トップレベルの研究施設を目指す「**沖縄科学技術大学院大学**（通称：OIST）」が立地
- 2018年に「**サンゴの村宣言**」、2019年に「**SDGs未来都市**」に選定
- 人口1.1万人の恩納村に、年間 **約280万人の観光客**が来訪

恩納村の企業版ふるさと納税を活用したプロジェクト例

①『恩納村の綺麗な海を守る「サンゴの村宣言」SDGsプロジェクト』

【課題（環境・経済）】
恩納村の7割を占める第3次産業は観光関連のサービス業が主であり、観光客の多くは、サンゴ礁が織りなす美しい海に惹かれて訪れています。
サンゴがなくなることは、観光客の減少＝経済の衰退にも繋がるのです。
また、実際にサンゴが大量白化した年には、恩納村の名産品である養殖モズクの収穫量が減少したこともあり、漁業への影響も懸念されています。
また、観光客の増加に伴ったオーバーツーリズムによる環境破壊や客単価の低さも課題となっています。

恩納村の養殖サンゴ

【プロジェクトの内容】
1. 日本初として導入された「Green Fins」の推進
2. 親子でワークショップを楽しむ「サンゴの村フェスタ」の実施
3. 毎年3月5日（サンゴの日）に開催される「恩納村Save The Coralプロジェクト」（ビーチクリーン等）の実施
4. サンゴ保全活動（サンゴの植付等）の実施
5. 赤土流出防止対策の実施
6. 「サンゴの村宣言」、「SDGs」普及啓発活動の実施

サンゴの村フェスタ

恩納村Save The Coralプロジェクト

チェック！！

詳細な情報は「QRコード」にアクセスしてYouTube動画をご覧ください！

資料提供：沖縄県　恩納村

②『うんな中学生による地域課題解決プロジェクト“UNNA魂”』

【課題（環境・経済・社会）】

恩納村の人口は微増傾向にありますが、18歳未満の子どもは減少しており、少子高齢化が進んでおります。

そこで、子どもを増やすためには、恩納村独自の魅力ある教育環境づくりが求められています。

【プロジェクトの内容】

SDGsの発想で、村の地域課題に直に触れ、子どもたちの発想と産官学連携で解決していく授業（村内外の企業や団体、行政などが連携）を、様々なテーマで実施しています。

○ Project1“UNNA魂”（2021年度）
「パッションフルーツ酢」、「アテモヤのお菓子」、「サンゴにやさしい日焼止め」の3点を開発

○ Project2“UNNA魂”（2022年度）
「福祉災害に対応したアプリ」、「軽石のアクセサリー」、「アーサを使ったお菓子」の3点を開発

○ Project3“UNNA魂”（2023年度）
「下水道マンホール」「観光資源のCM」「防災食」の3点を開発

○ Project4“UNNA魂”（2024年度）
「環境学習プログラミング作成」「リサイクルの仕組み」「ダイバーシティ」テーマとした地域課題解決の取り組み

プロジェクトの内容は「QRコード」にアクセスしてYouTube動画をご覧ください!

Project1 “UNNA魂”　Project2 “UNNA魂”　Project3 “UNNA魂”　Project4 “UNNA魂”

③『学習塾がない村で学力を下支え 子どもたちに質の高い教育を』

【課題（社会）】

恩納村には、高校、大学、民間の学習塾がなく、近隣市町村と比べても教育環境が十分に整っておりません。そこで、村の子どもたちの学力維持向上が積年の課題となっています。

【プロジェクトの内容】

学習塾がない本村で、学力維持向上を図るため、行政で学習塾を提供しています。

○ 公民館を利用した居場所づくり

村内の自治会による「地域塾」という学習会で、保護者など地域の人材を講師として招き、夏休みに子どもたちを集めて宿題や学習の手助けをするものです。

○ 未来塾

村内唯一の中学校「うんな中学校」にて、近隣の大学生を講師に、高校受験に向けた学習塾を放課後に開いています。

詳細な情報は「QRコード」にアクセスしてご覧ください!

資料提供：沖縄県　恩納村

うらそえし
浦添市

50年の時を越え、
一歩また未来へ、浦添市

浦添市は、那覇市の北隣に位置する市民11万人規模のまちです。市民の緑化活動が盛んで、道路に面する街路樹に限らず各家々の塀やポケットパークには年中様々な花々が咲き、南国の蝶であるオオゴマダラが飛び交う人と自然がともに生きるまちであります。

さらには、イノーと呼ばれる遠浅の海は、里浜計画という市民協働の取組により子どもたちへのサンゴ礁の美しさとそこに命を育む生命を伝える教育の場となっております。そこには人工的なビーチでは見られない海藻や生きたサンゴに触れながら守っていく昔ながらの営みが生きづいております。最近では本土の桑よりもミネラルや栄養価の高いシマクワを名産品とし、葉を使った食品や化粧品、ポリフェノール豊富な実を使ったジュースやワイン、蚕を育てて取り出した絹を使った「うらそえ織」などで古の文化を伝えております。

出所：浦添市HP

資料提供
沖縄県　浦添市
〒901-2501
沖縄県浦添市安波茶一丁目1番1号
TEL：098-876-1234

いま、私たちがしたいことはコレ!

01 多くの住民の就業に向けた各種課題の解決、働きやすい社会の実現を目指す事業

労働力人口の維持・確保に向けた各種取組、サービス産業の労働性の向上による雇用の質の改善に向けた取組、育児・介護サービスの充実、等により、女性や高年齢者、障がい者などの社会進出、有資格者の再就職、首都圏からの移住、等の働きやすい社会に向けて環境を整備する事業。

【具体的な事業】

- 男女共同参画推進事業
- ファミリーサポートセンター事業 等

02 産業振興を通して域外からの収入の増加を目指す事業

産業振興を通して域外からの収入の増加を目指す事業企業誘致などを通して就業の場の確保、本市の観光産業の振興に向けた各種取組、６次産業化の推進と商品開発・販路拡大に向けた取組、等により、「ひと」の定住に繋がる地域の経済規模を拡大させるための産業・観光振興事業。

【具体的な事業】

- 企業誘致ＰＲ事業
- 空き店舗検索システム開発事業 等

03 出産、子育てにやさしく、健康に過ごせるまちを目指す事業

年少人口の増加に向けた各種取組、地域を担っていく子どもたちの将来の自立に向けた取組、健康長寿の延命に向けた各種取組、等により、「ひと」の定住に繋がる結婚・出産・子育て環境を充実させる事業。

【具体的な事業】

- 学校支援地域本部事業
- 放課後子ども教室推進事業 等

04 安全で快適な住みやすい地域社会の形成を目指す事業

既存の公共施設の維持・管理に向けた計画の作成、快適環境都市の実現に向けた各種施策、交通環境の改善ならびに高齢者や障がい者といった交通弱者の交通手段を確保する取組、等により、「ひと」の定住や「しごと」の創出に繋がる住みやすいまちづくり事業。

【具体的な事業】

- 那覇港における人流・物流拠点港湾整備事業 等

浦添市まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：浦添市HP

『浦添市市政施行５５周年花火大会』

本市は、1970年に浦添村から浦添市となり、古琉球の古き良き景観とコンパクトシティを目指した現代風のまちづくりが混合した魅力ある都市となっております。そんな本市が来年市政施行55周年を迎えるにあたり、市民の皆様方はもちろんのこと、大きくこれまでの市政の発展にご尽力されてきた先人への感謝の気持ちを込めて大花火大会を開催したいと思います。どうぞ、ご協力をよろしくお願いします。

浦添市長：松本　哲治

出所：浦添市

きただいとうそん

北大東村

古来（いにしえ）の伝説うふあがり島北大東村

沖縄本島の東方約360kmに位置する北大東村は、沖縄でもっとも早く朝日が昇る島で、北大東島と沖大東島の二つの島からなってます。農業や水産業が盛んで豊かな自然に恵まれており、約550人が暮らしています。

1903年に八丈島からの開拓者らによって開かれ、以降、八丈島と沖縄各地からの移民の文化がチャンプルー（混ざり合う）された独自の文化を築き上げ、御神輿や祭り太鼓、奉納相撲（江戸相撲・沖縄相撲）などが今も島を彩ります。また、15の春で島を離れる子供たちとの親子相撲は、非常に見ごたえのあるものとなっています。

出所：沖縄県　北大東村

資料提供
沖縄県　北大東村
〒901-3992
沖縄県島尻郡北大東村中野218
TEL：09802-3-4001

01 豊かな暮らしづくり支援事業

・妊婦健康診査受診や不妊治療にかかる渡航費・宿泊費支援、出産お祝い金（出産助成金）を継続し、出産・子育てに関する経済的支援を実施する。
・島内でも安心して妊婦期を過ごせるよう、診療所における医療体制強化を推進する。
・妊産婦、母子および父子のケア・サポート体制の充実を図り、安心して子育てができる環境づくりを推進する。
・子ども達が安全・安心して楽しく保育生活を過ごせるよう、こども園における保育環境の向上、保育士の確保及び質の向上を推進する。
・地域拠点（字集会所）等における子育て支援や交流を推進する。
・発達の遅れや障がいのあるこどもの相談体制や支援充実、多様性を認め助け合う社会づくりを推進する。
・島ぐるみで子育て世帯を応援する仕組みづくりを推進する。
・海底光ケーブルの開通により安定した通信環境を活用し、遠隔授業やICT を活用した授業の増進にむけて端末整備及び活用を推進する。
・島の経済を支える主要産業への職場体験や島内行事における子供達の役割等を通じて、北大東らしいキャリア教育を推進する。
・島外の高等学校進学にあたり、生活費や帰省にかかる交通費の補助を行い、保護者の経済的負担軽減策を継続します。
・青年会や地域の活動団体、村民有志が主導・提案するイベントづくりを推進し、その活動を支援する。
・海の資源をより気軽で安全に活用できるよう、マリンスポーツや海岸遊び、磯釣り拠点強化・充実を図ります。
・島内にいながら島外医療機関と繋がり、遠隔医療を受けることのできる環境構築向けて、先進地の調査を踏まえた方向性の検討やＩＣＴ機器の整備等を推進します。
・島外医療機関の受診にかかる医療費や交通費の負担を軽減する経済的支援をします。
・農福観連携による6 次産業化事業を継続的に取り組み、高齢者・障がい者等の就労・社会参画モデルとして定着させ、他の産業への展開を視野に連携先の拡大を図ります。
・高い住宅建設費のへの対応として、輸送費や設計費の負担軽減策に向けた支援を関係機関との連携を図り推進します。
・食料自給に向け、水耕栽培および家庭菜園を促進として共同販売所を含む出荷・流通体制の整備を図ります。
・南北大東両村で所有する船舶「だいとう」の海上輸送体制の強化に向け、新船舶への更新を南大東村と連携し、整備を図ります。
・安心で充実した暮らし実現のため、学校教育や医療福祉の分野において、情報通信およびICT 環境の強化を推進する
・中長期滞在施設の整備など、交流から定住に繋がる仕組みづくりを推進する。
・3 つの集落と主要な公共施設を公共交通でネットワークさせ、コンパクトに暮らせるしまづくりを推進する。
・情報通信インフラ（光回線）の島内充実を実現させ、暮らしや生業の質の向上を図る。

【具体的な事業】
- 特別医療質確保推進事業
- 離島航路安定化事業 等

北大東島しま・ひと・しごと創成推進計画
出所：北大東村

02 多様な働き方づくり支援事業

・農業生産基盤整備に取り組み、灌漑施設および貯水施設（水源施設）整備を推進する。
・生産性向上に向けた土壌改良（土づくり）による地力の増進を積極的に推進し、農薬や化学肥料の適正量の研究・分析を推進する。
・スマート農業を実現するため、ＩＣＴ・5Ｇ・ドローン・ＡＩ・自動化など先進的な農業技術の導入を図る。
・天候や季節に左右されないハウス栽培（水耕栽培含む）、植物工場など施設栽培の導入・機能拡大を検討し、野菜類の島内流通を図る。
・基幹産業であるサトウキビの生産量向上を図りつつ、併せて付加価値の高い農作物の栽培を推進する。
・サトウキビとの輪作として生産されるじゃがいも・カボチャは、高い市場評価・需要に基づく生産量及び品質向上、さらなる販路開拓を図る。
・6 次産業の推進を図るために、観光業や水産業など多様な産業と連携しながら、生産、加工、販売（販路開拓）など、北大東島ならではの付加価値の高い農産物生産システムの構築を図る。
・新規中型漁船の導入支援を実施するとともに、水産加工施設の機能強化・充実を図る。
・近海へのパヤオ新設など漁獲量の拡大と新規就業者の育成を図ります。
・観光事業者と連携を図り、遊漁やフィッシング大会、ブルーツーリズムを推進する。
・北大東島の自然や歴史・文化を活かした観光拠点やコンテンツ開発を実行し、付加価値の高い北大東観光づくりを推進する。
・多様な情報発信ツールを活用し、北大東島観光プロポーションを積極的に推進する。
・スマートな産業への対応、先進的な就業を実現するため、ICT の利活用を推進する。
・福祉施設運営、住宅供給、観光案内所やミュージアム（民俗資料館）などの公共施設の管理運営に民間活力（PPP/PFI）を活用し、柔軟性の高い利活用を推進する。

【具体的な事業】
- 土づくり推進事業
- 自給自足農園システムの普及促進
- 新規参入希望者に対する研修及び体験就業の実施 等

03 自然と共に生きる環境循環型社会支援事業

・外来種について適切な駆除を推進しつつ、地域資源としての有効活用を検討する。
・北大東島を特徴づける地形や地質・土壌については、その形成過程を研究機関と連携し調査するとともに、地域学習や観光資源としての活用を推進する。
・地域活動団体が主体的に実施する自然環境保全活動を推進する。
・全ての産業活動において、環境負荷がないよう、産業廃棄物の適切処理、産業排水の水質浄化を徹底し、可能な限りクリーンエネルギーの活用および低炭素化を促進する。
・地下浸透海水の取水及び成分分析、活用可能性調査等を適宜実施し、新たな産業づくり、地域おこしを推進する。
・字港集落内の歴史的建造物について、積極的な活用整備を図り、りんこう交流館を中心とした組積遺構が集積する範囲を「文化的景観拠点エリア」として、先行的な活用整備を推進する。
・玉置碑や各神社、地蔵さん、獣魂碑など、島の行事催行、コミュニティの拠点となる施設の維持管理・更新・整備を推進する。
・村民が自主的に実施する緑化・美化活動に対し積極的な支援を推進する。
・クリーンセンターについて、環境負荷に優しい新たなクリーンセンターへの更新を推進する。
・回収した資源ごみの適切な処理を推進し、島内リサイクルの可能性調査・検討を推進する。
・し尿処理について、適切な処理及びエネルギー（バイオマス）や農業用肥料転換への可能性を検討推進する。
・太陽光、風力などの再生可能エネルギー、水素やバイオマスなどの次世代型エネルギー活用に向け、北大東島に適したエネルギーを検討推進する。
・脱炭素やカーボンニュートラルな社会を目指し、公共施設の省エネ化、次世代モビリティの導入を推進する。
・島内移動や公共交通に新エネルギーを活用したモビリティの導入を検討する。

【具体的な事業】
- 深層地下海水利活用事業
- 島内エネルギーの低炭素化のための実証実験の推進 等